



## Cisco IP 電話 7800シリーズ マルチプラットフォーム電話 ユーザガイド

最終更新：2024年9月25日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター  
0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 目次

### 第 1 章

#### 電話機 1

Cisco IP 電話 7800 シリーズ	1
機能のサポート	2
新機能および変更された機能	2
ファームウェア リリース 12.0(4) の新機能および変更された機能	2
ファームウェア リリース 12.0(3) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.0(2) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 12.0(1) の新機能および変更された機能	3
ファームウェア リリース 11.3(7) の新機能および変更された機能	4
ファームウェア リリース 11.3(6) の新機能および変更された機能	5
ファームウェア リリース 11.3(5) の新機能および変更された機能	6
リリース 11.3(4) の新機能および変更された機能	7
ファームウェア リリース 11.3(3) の新機能および変更された機能	7
ファームウェア リリース 11.3(2) の新機能および変更された機能	8
ファームウェア リリース 11.3(1) の新機能および変更された機能	10
ファームウェア リリース 11.2(3)SR1 の新機能および変更された機能	11
ファームウェア リリース 11.2(3) の新機能および変更された機能	11
ファームウェア リリース 11.2(1) の新機能および変更された機能	12
ファームウェア リリース 11.1(2) の新機能および変更された機能	13
ファームウェア リリース 11.1(1) の新機能および変更された機能	13
電話機のセットアップ	13
ハンドセットレストを調整する	13
電話機の設置角度の調整	14
ネットワークに接続する	15

アクティベーションコードで電話を搭載する	15
短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする	15
初めて電話機を起動したときにパスワードを設定する	16
電話でユーザーパスワードを作成する	16
ユーザー認証制御	17
別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンション モビリティ)	17
別の電話機で内線からサインアウトする	18
ゲストとして電話機にサインインする	18
ゲストとして電話機からサインアウトする	19
電話機でのプロファイル ルールの設定	19
同僚の回線のステータス	19
BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する	21
個別回線のモニタリングを設定する	22
ラインキーに設定されている機能を削除する	23
ラインキーにメニューショートカットを追加する	23
ラインキーからメニューショートカットを削除する	24
ホーム画面でのサービス中断メッセージ	24
電話機の Web ページ	24
短縮ダイヤル番号	25
ボタンとハードウェア	26
電話機のキーパッド文字	28
ナビゲーション	29
ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン	29
電話画面の機能	30
電話画面のクリーニング	31
コールと回線の違い	31
電力要件	31
省電力	31
追加のヘルプと情報	32
アクセシビリティ機能	32
トラブルシューティング	32

電話機についての情報を取得する	33
電話機でカスタマイズ状態を表示する	34
ネットワークステータスを表示する	34
電話機のステータスを表示する	35
電話機でステータスメッセージを表示する	36
回線ステータスを表示する	36
コール統計のコールレコードを表示する	36
802.1X トランザクションステータスの表示	37
レポート履歴を表示する	38
Cisco MPP デバイスの電話機の問題をすべて報告する	38
電話を電話のウェブページから工場出荷時の状態へリセットする	39
サーバーから工場出荷時の状態へリセットする	39
電話機の Web ページで URL を使用して電話機の問題を特定する	40
電話機の接続の切断	40
電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する	40
移行ライセンスタイプの検索	41
MIC 証明書更新ステータスに関する情報の検索	41
Cisco 製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定	42

## 第 2 章

## 通話 43

コールの発信	43
コールの発信	43
スピーカーフォンによるコールの発信	44
ヘッドセットによるコールの発信	44
緊急コールの発信	44
番号のリダイヤル	45
スピードダイヤル	45
電話機の画面から短縮ダイヤル コードを割り当てる	45
短縮ダイヤル コードを使用して発信	46
ラインキーの短縮ダイヤルの設定	46

ラインキーから短縮ダイヤルを削除	47
フォーカスした回線を短縮ダイヤル コールに使用する	47
フォーカスした回線を短縮ダイヤル コールのチェックに使用する	48
国際番号のダイヤル	48
安全なコール	48
コールへの応答	48
コールに応答する	49
コール待機への応答	49
コールの拒否	49
着信通話を無音にする	49
応答不可をオンにする	50
スターコードを使用してDNDをオンまたはオフにします	51
同僚の電話機に応答する（コール ピックアップ）	51
グループ内のコールに応答する（ピックアップ）	51
コールのミュート	51
コールの保留	52
コールを保留にする	52
長時間にわたって保留されているコールに応答する	52
アクティブ通話と保留通話の切り替え	52
コール パーク	53
コールパークを使用してコールを保留にする	53
コールパークを使用して保留中コールを取得する	54
1つのラインキーを使用したコールのパークとパーク解除	54
□コール パーク内線番号とステータス	55
コールの転送	55
機能アクティベーション コード同期の不在転送をアクティブ化する	57
電話機の Web ページによるコール転送	57
通話の転送	58
別の担当者にコールを転送する	58
転送を行う前の会話	59
電話会議とミーティング	59

他の人をコールに追加する	60
スター コードを使用した会議	60
アドホック会議で参加者リストをホストとして表示する	60
参加者リストを参加者として表示する	61
アドホック会議でホストである参加者を削除する	61
通話の録音	62
インスタント メッセージおよびプレゼンスの連絡先	62
プレゼンス	63
IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信	63
プレゼンス状態の変更	64
電話機のグループのページング (マルチキャストページング)	64
XML アプリケーションとマルチキャストページング	65
XML アプリケーションの詳細を表示する	65
複数の回線	66
プライマリ回線でのすべてのコールの表示	66
最も古いコールから応答	66
電話機ですべてのコールを表示	66
マルチプラットフォーム デスク フォンの共有電話	66
共有回線のコールに参加する	67
コール センター機能	67
コール センター エージェントとしてのサインイン	68
コール センター エージェントとしてのサインアウト	68
コール センター エージェントとしてのステータス変更	69
コール センター コールの受信	69
エージェント コールの保留	69
コール センター コール中の処置コードの設定	70
コールをトレースする	70
スーパーバイザへのコールのエスカレーション	70

## 第 3 章

## 連絡先 73

## 個人用アドレス帳 73

個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加	73
電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加	74
個人用アドレス帳での連絡先の検索	74
個人用アドレス帳の連絡先へのコール	75
個人用アドレス帳の連絡先の編集	75
個人用アドレス帳から連絡先を削除する	76
の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索	76
社内ディレクトリ (Corporate Directory)	79
Webex ディレクトリ	79
Webex ディレクトリ名の編集	79
Webex ディレクトリにて連絡先を検索	79
すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索	81
Broadsoft ディレクトリ	82
Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索	83
BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプの編集	84
BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を管理する	84
BroadSoft ディレクトリ名の編集	86
Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集	87
のログイン情報のユーザ ID 編集	88
LDAP ディレクトリ	89
LDAP ディレクトリのログイン情報の編集	89
LDAP ディレクトリにて連絡先を検索	90
LDAP ディレクトリの連絡先に電話する	91
LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集	92
XML ディレクトリ	92
XML ディレクトリの連絡先に電話する	93
XML ディレクトリの連絡先番号の編集	93
着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ	94



最近の通話履歴を表示する	97
Webex 通話記録時間の表示	100
Webex 通話のスパムの表示	100
サーバーからの通話履歴を表示	101
最近の通話履歴に戻る	101
最近の通話履歴を消去する	102
通話履歴レコードからの連絡先の作成	103
通話履歴を削除する	104
全ての通話履歴を削除	104

---

## 第 5 章

### ボイスメール 107

パーソナルボイスメールアカウント	107
電話機でのボイスメールのセットアップ	107
新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するあなたのパーソナル	108
Your Personal 音声メールにアクセス	108
パーソナル音声ボイスメールへのアクセス	109
ボイスメールを設定した電話機の動作	109
ボイスメールと不在着信を設定した電話機の動作	110
監視されているボイスメールアカウントのボイスメッセージステータス	111
監視対象のボイスメールアカウントのメッセージへのアクセス	112

---

## 第 6 章

### 設定 113

電話設定の概要	114
呼出音の変更	114
電話機の Web ページによる着信音の割り当て	114
呼出音の音量調節	115
電話機からのコール転送	115
特定の回線に対して [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。	117
電話機のウェブページから DND をオンにする	118
非通知着信の拒否	118
発信者 ID のブロック	118

通話を安全化する	119
自動応答ページのセットアップ	119
コール待機を有効にする	120
ボイスメールのセットアップ	120
[HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)]	121
自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ	121
手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ	121
電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ	122
VPN 接続設定	124
VPN 接続のセットアップ	125
VPN 接続の有効化	126
VPN 接続の無効化	126
電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする	127
VPN ステータスを表示する	128
表示モードの変更	129
時間形式を変更する	129
日付形式の変更	130
スクリーンセーバーの変更	130
電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定	131
電話機の背景としてロゴを追加する	132
電話スクリーンのコントラストの調整	133
電話画面のバックライトの調整	133
電話機の Web ページからバックライト タイマーを調整する	134
通話用オーディオデバイスの指定	134
言語の設定	134
パスワードの設定	135
電話機のウェブページからのパスワードの設定	135
プロフィールアカウントのセットアップ	136
BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加	137
電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする	138
電話機の Web ページからコール待機を有効にする	138

電話機の再起動 138

---

第 7 章

**アクセサリ 141**

サポートされているアクセサリ 141

ヘッドセット 141

標準ヘッドセット 142

標準ヘッドセットの接続 142

ワイヤレス ヘッドセット 142

通話中にヘッドセットを切り替える 143

---

第 8 章

**製品の安全性とセキュリティ 145**

安全性とパフォーマンスの情報 145

停電 145

外部デバイス 145

電話機への電力供給方法 146

ネットワーク輻輳時の電話機の挙動 146

UL 警告 146

ENERGYSTAR 147

製品ラベル 147

準拠宣言 147

EU への適合宣言 147

CE マーク 147

適合宣言 (カナダ) 147

ニュージーランドへの適合宣言 149

接続許可 (PTC) 一般警告 149

適合情報 (ブラジル) 149

適合情報 (日本) 149

FCC 準拠宣言 149

FCC Part 15.19 宣言 149

FCC Part 15.21 宣言 150

FCC RF 被曝に関する宣言 150

FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言 150

シスコ製品のセキュリティの概要 150

重要なオンライン情報 151



# 第 1 章

## 電話機

- Cisco IP 電話 7800 シリーズ (1 ページ)
- 新機能および変更された機能 (2 ページ)
- 電話機のセットアップ (13 ページ)
- 別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンション モビリティ) (17 ページ)
- ゲストとして電話機にサインインする (18 ページ)
- 電話機でのプロファイルルールの設定 (19 ページ)
- 同僚の回線のステータス (19 ページ)
- ラインキーにメニューショートカットを追加する (23 ページ)
- ラインキーからメニューショートカットを削除する (24 ページ)
- ホーム画面でのサービス中断メッセージ (24 ページ)
- 電話機の Web ページ (24 ページ)
- ボタンとハードウェア (26 ページ)
- 電力要件 (31 ページ)
- 省電力 (31 ページ)
- 追加のヘルプと情報 (32 ページ)

## Cisco IP 電話 7800 シリーズ

Cisco IP 電話 7811、7821、7841、および 7861 は、使いやすく高度にセキュアな音声通信を可能にします。




表 1: Cisco IP 電話 7800 シリーズの主な機能

機能	7811	7821	7841	7861
画面	グレースケール、バックライトなし	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり	グレースケール、バックライトあり
線	1	2	4	16
固定機能キー	8	9	9	9

電話機はネットワークに接続され、コール制御システムに接続するように設定されている必要があります。コール制御システムに応じて、さまざまな機能が電話機でサポートされます。管理者が電話機をどのようにセットアップしたかによって、すべての機能を使用できるかどうかが決まります。

電話機に機能を追加した場合は、一部の機能に回線ボタンが必要になります。ただし、電話機の各回線ボタンは、1つの機能（回線、短縮ダイヤル、または機能）のみをサポートできます。お使いの電話機の手元ボタンがすでに使用されている場合は、電話機にそれ以外の追加機能は表示されません。

所有している電話機のモデルをチェックするには、[アプリケーション (Applications)]  を押して、[ステータス (Status)] > [製品情報 (Product information)] を選択します。[モデル番号 (Model number)] フィールドに、電話機のモデルが表示されます。

## 機能のサポート

このドキュメントでは、デバイスがサポートするすべての機能について説明します。ただし、すべての機能が現在お使いの構成でサポートされているとは限りません。サポート対象機能については、サービスプロバイダーまたは管理者に問い合わせてください。

## 新機能および変更された機能

### ファームウェア リリース 12.0(4) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
1回線に1回のコールをサポートするトピックを更新	<a href="#">通話の転送 (58 ページ)</a> <a href="#">転送を行う前の会話 (59 ページ)</a>

## ファームウェア リリース 12.0(3) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
工場出荷時の状態へのリセット後のサポートパスワードのセットアップについて言及する新しいトピックを追加。	電話でユーザーパスワードを作成する (16 ページ)
サーバーからの工場出荷時の状態へのリセットをサポートする新しいトピックを追加	サーバーから工場出荷時の状態へリセットする (39 ページ)
XML の呼び出しをサポートする新しいトピックを追加 マルチキャストページングからのアプリケーション	XML アプリケーションとマルチキャストページング (65 ページ) XML アプリケーションの詳細を表示する (65 ページ)

## ファームウェア リリース 12.0(2) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
アドホック会議の参加者リストをホストとして管理するタスクのためのトピックを新規追加しました	アドホック会議で参加者リストをホストとして表示する (60 ページ)
アドホック会議の参加者リストを参加者として管理するタスクのためのトピックを新規追加しました	参加者リストを参加者として表示する (61 ページ)
アドホック会議の参加者リストをホストとして削除するタスクのためのトピックを新規追加しました	アドホック会議でホストである参加者を削除する (61 ページ)

## ファームウェア リリース 12.0(1) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
Site Survivability Gateway (SGW) で新しいトピックを追加しました	ホーム画面でのサービス中断メッセージ (24 ページ)
Webex 通話記録時間を表示するための新しいタスクを追加しました	Webex 通話記録時間の表示 (100 ページ)

## ファームウェア リリース 11.3(7) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
Webex 通話のスパムの表示をサポートするトピックが追加されました	<a href="#">Webex 通話のスパムの表示</a> (100 ページ)
Webex 通話のトピックが更新されました	<a href="#">最近の通話履歴を表示する</a> (97 ページ)
トピックが更新され、VPN 接続が追加されました	<a href="#">電話機の Web ページ</a> (24 ページ)
VPN 接続の新しい機能に関するトピックが追加されました。	<a href="#">VPN 接続設定</a> (124 ページ) <a href="#">VPN 接続のセットアップ</a> (125 ページ) <a href="#">VPN 接続の有効化</a> (126 ページ) <a href="#">VPN 接続の無効化</a> (126 ページ) <a href="#">電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする</a> (127 ページ) <a href="#">VPN ステータスを表示する</a> (128 ページ)
トピックが更新され、ラインキーに関連した前提条件を削除されました	<a href="#">個別回線のモニタリングを設定する</a> (22 ページ)
電話機でコール統計を表示する方法に関するタスクが追加されました	<a href="#">コール統計のコールレコードを表示する</a> (36 ページ)
トピックが更新され、電話機のウェブページでパスワードを設定する方法について説明が追加されました	<a href="#">パスワードの設定</a> (135 ページ)
電話機のウェブページからパスワードを設定する方法に関するタスクが追加されました	<a href="#">電話機のウェブページからのパスワードの設定</a> (135 ページ)
トピックが更新され、HTTP プロキシが追加されました	<a href="#">電話機の Web ページ</a> (24 ページ)
HTTP プロキシ機能のトピックが追加されました	<a href="#">[HTTP プロキシ設定(HTTP Proxy Settings)]</a> (121 ページ) <a href="#">自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ</a> (121 ページ) <a href="#">手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ</a> (121 ページ) <a href="#">電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ</a> (122 ページ)



改訂	新規および変更されたセクション
Webex ディレクトリサポートの新しいトピックを追加しました	<a href="#">Webex ディレクトリ</a> (79 ページ) <a href="#">Webex ディレクトリにて連絡先を検索</a> (79 ページ) <a href="#">すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索</a> (81 ページ) <a href="#">Webex ディレクトリ名の編集</a> (79 ページ)
Webex 通話記録のサポートに関するトピックが更新されました	<a href="#">最近の通話履歴を表示する</a> (97 ページ) <a href="#">サーバーからの通話履歴を表示</a> (101 ページ)

## ファームウェア リリース 11.3(6) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
すべてのサービスの転送を呼び出すセットアップの新しい機能のアクセス許可のみについてのトピックを更新しました	<a href="#">コールの転送</a> (55 ページ)
すべてのサービスの転送を呼び出すセットアップの新しい機能のアクセス許可のみについてのトピックを更新してリファレンスリンクを追加しました	<a href="#">電話機の Web ページによるコール転送</a> (57 ページ)
すべてのサービスの転送を呼び出すセットアップの新しい機能のアクセス許可のみについてのトピックを更新しました	<a href="#">機能アクティベーション コード同期の不在転送をアクティブ化する</a> (57 ページ)
すべてのサービスの転送を呼び出すセットアップの新しい機能のアクセス許可のみについてのトピックを更新しました	<a href="#">電話機からのコール転送</a> (115 ページ)
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能のいくつかの手順を更新しました。	<a href="#">の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索</a> (76 ページ)
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能のトピックを更新して関連トピックリンクを追加しました	<a href="#">LDAP ディレクトリにて連絡先を検索</a> (90 ページ)
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいタスクを追加しました。	<a href="#">LDAP ディレクトリの連絡先に電話する</a> (91 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
LDAP ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいタスクを追加しました。	LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集 (92 ページ)
XML ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいトピックを追加しました	XML ディレクトリ (92 ページ)
XML ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいトピックを追加しました	XML ディレクトリの連絡先に電話する (93 ページ)
XML ディレクトリからの連絡先番号の表示機能の拡張機能の新しいトピックを追加しました	XML ディレクトリの連絡先番号の編集 (93 ページ)
着信音量を制御する方法に関する新しいタスクトピックを追加しました	呼出音の音量調節 (115 ページ)
<b>Continue</b> ソフトキーの非可用性に関するタスクトピックを更新しました	短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする (15 ページ) アクティベーションコードで電話を搭載する (15 ページ)
<b>Save</b> ソフトキーの非可用性に関するタスクトピックを更新しました	通話履歴レコードからの連絡先の作成 (103 ページ)
<b>Sign in</b> ソフトキーの非可用性に関するタスクトピックを更新しました	プロフィールアカウントのセットアップ (136 ページ)

## ファームウェア リリース 11.3(5) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
MIC 証明書のステータスを確認する方法に関するタスクを追加	MIC 証明書更新ステータスに関する情報の検索 (41 ページ)
STIR/SHAKEN をサポートするようにトピックを更新	最近の通話リスト (97 ページ)
STIR/SHAKEN に対応する新しいアイコンを紹介するトピックを更新	最近の通話履歴を表示する (97 ページ)
シングルステップ移行に使用されるライセンスタイプの検索をサポートするタスクを追加	移行ライセンスタイプの検索 (41 ページ)

## リリース 11.3(4) の新機能および変更された機能

このリリースは、このユーザガイドへの影響はありません。

## ファームウェア リリース 11.3(3) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
トピック内の連絡先を追加する方法の手順を更新しました	<a href="#">の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (76 ページ)</a>
1つの前提条件と個人用アドレス帳に連絡先を追加するもう 1つの方法でトピックを更新しました	<a href="#">個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 (73 ページ)</a>
BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を追加、編集、および削除する方法についてトピックを追加しました	<a href="#">BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を管理する (84 ページ)</a>
連絡先を追加する新しい手順でトピックを更新しました	<a href="#">通話履歴レコードからの連絡先の作成 (103 ページ)</a>
電話機での匿名通話をブロックする内容でトピックを更新しました	<a href="#">非通知着信の拒否 (118 ページ)</a>
電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にするトピックを追加しました	<a href="#">電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする (138 ページ)</a>
電話機でのコール待機を有効にするトピックを追加しました	<a href="#">コール待機を有効にする (120 ページ)</a>
電話機の Web ページからコール待機を有効にするトピックを追加しました	<a href="#">電話機の Web ページからコール待機を有効にする (138 ページ)</a>
トピックを更新し、新しいメニューテキストボックス <b>[利用不可 (Unavailability)]</b> に言及しました	<a href="#">コールセンターエージェントとしてのステータス変更 (69 ページ)</a>
通話履歴リストの新しいソフトキーについてトピックを更新しました	<a href="#">最近の通話履歴を表示する (97 ページ)</a>
トピックを更新し、新しいメニュー項目を追加しました	<a href="#">電話機についての情報を取得する (33 ページ)</a>

## ファームウェア リリース 11.3(2) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
ラインキーのメニュー ショートカットの追加と削除に関するトピックが追加されました。	<p>ラインキーにメニューショートカットを追加する (23 ページ)</p> <p>ラインキーからメニューショートカットを削除する (24 ページ)</p>
電話機のメニューにユーザ認証制御のトピックを追加しました。	ユーザー認証制御 (17 ページ)
アクティベーション コード同期のトピックが追加されました。	機能アクティベーション コード同期の不在転送をアクティブ化する (57 ページ)
ローカルディレクトリの名前の逆引き参照に関する情報を含めるように既存のタスクを更新しました。	サーバーからの通話履歴を表示 (101 ページ)
専用コールパークの延長およびコールパークのステータスにあるパーク コールに関する情報を含むトピックを追加しました。	<input type="checkbox"/> コール パーク内線番号とステータス (55 ページ)
電話機の設定の概要説明が追加されました。	電話設定の概要 (114 ページ)
ディレクトリ関連のタスクを更新しました。	<p>の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (76 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 (73 ページ)</p> <p>電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加 (74 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳の連絡先へのコール (75 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳の連絡先の編集 (75 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳から連絡先を削除する (76 ページ)</p>

改訂	新規および変更されたセクション
<p>ディレクトリ機能拡張機能のタスクを更新しました</p>	<p>の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (76 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索 (83 ページ)</p> <p>BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプの編集 (84 ページ)</p> <p>BroadSoft ディレクトリ名の編集 (86 ページ)</p> <p>Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集 (87 ページ)</p> <p>のログイン情報のユーザID編集 (88 ページ)</p> <p>LDAPディレクトリにて連絡先を検索 (90 ページ)</p> <p>IMおよびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信 (63 ページ)</p> <p>プレゼンス状態の変更 (64 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加 (73 ページ)</p> <p>電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加 (74 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳での連絡先の検索 (74 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳の連絡先へのコール (75 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳の連絡先の編集 (75 ページ)</p> <p>個人用アドレス帳から連絡先を削除する (76 ページ)</p>
<p>通話を転送するタスクを更新しました。</p>	<p>電話機の Web ページによるコール転送 (57 ページ)</p> <p>電話機からのコール転送 (115 ページ)</p>

改訂	新規および変更されたセクション
トピックタイトルを更新しました。	<p>パーソナルボイスメールアカウント (107 ページ)</p> <p>新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するあなたのパーソナル (108 ページ)</p> <p>Your Personal 音声メールにアクセス (108 ページ)</p> <p>パーソナル音声ボイスメールへのアクセス (109 ページ)</p>
監視対象のボイスメールのトピックを PLK に追加しました。	<p>監視されているボイスメールアカウントのボイスメッセージステータス (111 ページ)</p> <p>監視対象のボイスメールアカウントのメッセージへのアクセス (112 ページ)</p>
LDAP ディレクトリにアクセスするためのユーザーログイン情報の編集用トピックの追加	LDAP ディレクトリのログイン情報の編集 (89 ページ)
さまざまなユーザーのログイン情報を含む新しいステップを使用してタスクを更新しました。	LDAP ディレクトリのログイン情報の編集 (89 ページ)
タスクを更新して、ユーザーのログイン情報が含まれるようにしました。	LDAP ディレクトリにて連絡先を検索 (90 ページ)
LDAP キャッシュメカニズムを紹介または言及するようトピックを更新しました。	<p>LDAP ディレクトリ (89 ページ)</p> <p>LDAP ディレクトリにて連絡先を検索 (90 ページ)</p>
既存のトピックを更新して、ACD ステータスの同期が含まれるようにします。	コールセンター機能 (67 ページ)
コールセンターオペレーターの状態を確認するためにトピックを更新しました。	コールセンターエージェントとしてのサインイン (68 ページ)

## ファームウェア リリース 11.3(1) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
短時間のアクティベーションコードを使用した自動プロビジョニングをサポートするタスクが新規追加されました。	短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする (15 ページ)

改訂	新規および変更されたセクション
電話画面のディスプレイ UDI 機能をサポートするよう既存のタスクが更新されました	電話機についての情報を取得する (33 ページ)
プロビジョニングが失敗した場合の有用性向上メッセージをサポートするタスクが新規追加されました	電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する (40 ページ)
ワンボタンのコールパークをサポートするタスクの新規追加	1つのラインキーを使用したコールのパークとパーク解除 (54 ページ)

## ファームウェア リリース 11.2(3)SR1 の新機能および変更された機能

改訂	新規または変更されたセクション
アクティベーションコードのオンボードをサポートする新しいタスクが追加されました。	アクティベーションコードで電話を搭載する (15 ページ)
電話機のキーパッド文字をサポートする新しいトピックを追加しました。	電話機のキーパッド文字 (28 ページ)

## ファームウェア リリース 11.2(3) の新機能および変更された機能

改訂	新規および変更されたセクション
複数のディレクトリでの連絡先検索に関する新しいタスクを追加しました	の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索 (76 ページ)
SIP 資格情報またはログイン資格情報での再同期プロファイルをサポートするための、プロファイルアカウント設定に関するトピックを更新しました。	プロフィールアカウントのセットアップ (136 ページ)
同僚の電話回線の監視をサポートするようにトピックを更新	同僚の回線のステータス (19 ページ)
BLF リストの監視の有効化と無効化をサポートする新しいタスクを追加しました	BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する (21 ページ)
個々の回線の監視の設定をサポートする新しいタスクを追加しました	個別回線のモニタリングを設定する (22 ページ)
ラインキーに設定されている機能の削除をサポートする新しいタスクを追加しました	ラインキーに設定されている機能を削除する (23 ページ)

## ファームウェア リリース 11.2(1) の新機能および変更された機能

改訂	新規または変更されたセクション
BroadWorks XSI ユーザ向けの複数の場所（エニウェア）に対応する新しいトピックを追加	BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加（137 ページ）
XSI コールログ改善に関する新しい[次から最近のものを表示（Display recents from）]オプションを含めてトピックを更新	最近の通話履歴を表示する（97 ページ）
XSI コールログ改善に関する新しいトピックを追加	サーバーからの通話履歴を表示（101 ページ）
XSI コールログ改善に関する新しい[欠損（Missed）]ソフトキーを含めてトピックを更新	最近の通話履歴に戻る（101 ページ）
非選択回線の DND および転送通知に関する新規トピックを追加	着信通話を無音にする（49 ページ）
非選択回線の DND および転送通知に対応する、転送およびDND用アイコンのトピックを更新	コールの転送（55 ページ） 応答不可をオンにする（50 ページ）
XSI 発信者 ID ブロックに関するトピックを更新	発信者 ID のブロック（118 ページ）
HTTP 認証チャレンジでのユーザ名およびパスワードコレクションに関する新規トピックを追加	プロフィールアカウントのセットアップ（136 ページ）
ハンドセットとヘッドセット用のオーディオ（アコースティック オーディオ）をカスタマイズするためのオーディオイコライザに関する、着信音設定用のメニューナビゲーションを更新	呼出音の変更（114 ページ）
ハンドセットとヘッドセット用のオーディオ（アコースティック オーディオ）をカスタマイズするためのオーディオイコライザに関する新規トピックを追加	通話用オーディオデバイスの指定（134 ページ）
スクリーンセ이버 タイプのロック削除に関するトピックを更新	スクリーンセーバーの変更（130 ページ） 電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定（131 ページ）



## ファームウェア リリース 11.1(2) の新機能および変更された機能

機能	新規または変更されたセクション
緊急コール サポート	緊急コールの発信 (44 ページ)
名前の逆引きロックアップ	管理者がこの機能を有効および無効にします。この機能の詳細については、 <a href="#">着信コールおよび発信コールの名前の逆引きロックアップ (94 ページ)</a> を参照してください。

## ファームウェア リリース 11.1(1) の新機能および変更された機能

改訂	更新されたセクション
スライダでコントラストを調整する	電話スクリーンのコントラストの調整 (133 ページ)
コール録音サポート	通話の録音 (62 ページ)
インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先 プレゼンス	インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先 (62 ページ) プレゼンス (63 ページ) IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信 (63 ページ) プレゼンス状態の変更 (64 ページ)
コール センター サポート	コール センター機能 (67 ページ)
XSI 通話履歴 : [サーバのすべてのコール (Server All calls) ] メニュー	最近の通話履歴を表示する (97 ページ)

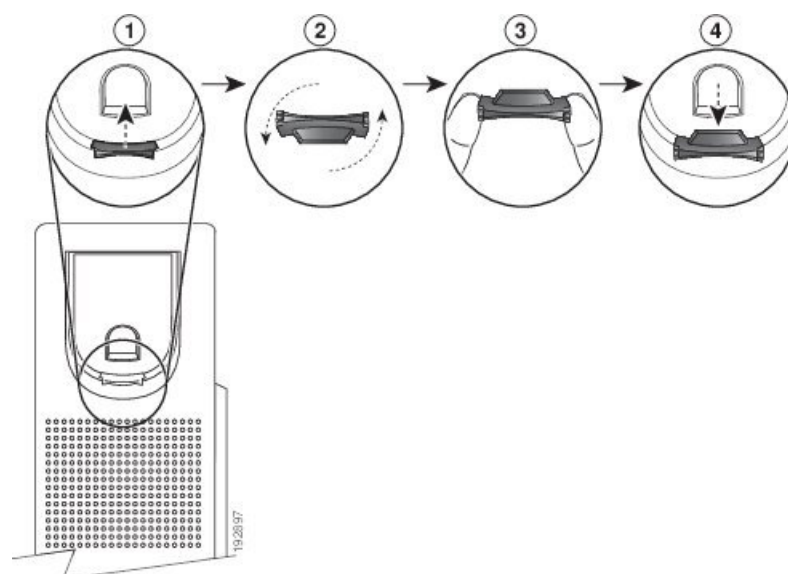
## 電話機のセットアップ

電話機のセットアップとネットワーク接続は管理者が行います。電話機の設定と接続が完了していない場合は、管理者に手順を問い合わせてください。

## ハンドセットレストを調整する

電話機が壁に取り付けられている場合、またはハンドセットが受け台からすぐに滑り落ちる場合には、受話器が受け台から滑り落ちないようにハンドセットレストを調整する必要があります。

図 1: ハンドセットレストを調整する



## 手順

- 
- ステップ 1 ハンドセットをはずし、ハンドセット受け台からプラスチックのタブを引き出します。
  - ステップ 2 タブを 180 度回します。
  - ステップ 3 コーナーのノッチを手前に向けて、2本の指でタブを持ちます。
  - ステップ 4 タブを受け台のスロットに合わせ、タブをスロット内に均等に押し込みます。回したタブの上部から突起が出ている状態になります。
  - ステップ 5 ハンドセットを受け台に戻します。
- 

## 電話機の設置角度の調整

画面が反射する場合は、電話機の角度を調節して反射を緩和できます（Cisco IP 電話 7811 を除く）。

## 手順

- 
- ステップ 1 電話機をネットワークから切り離します。
  - ステップ 2 キーパッドが机の表面を向くように電話機を配置します。
  - ステップ 3 一方の手でフットスタンドの片側を持ち、もう一方の手を電話機の上に置きます。
  - ステップ 4 電話機を押さえながら、フットスタンドを持ち上げます。
  - ステップ 5 フットスタンドをひっくり返します。

**ステップ6** フットスタンドが固定されるまでフットスタンドを電話機に押し込みます。

**ステップ7** 電話機を立ててネットワークに接続します。

---

## ネットワークに接続する

電話機を電話ネットワークに接続する必要があります。

- 有線接続：イーサネット ケーブルを使用して電話機をネットワークにつなげます。

## アクティベーションコードで電話を搭載する

電話機が起動すると、開始画面が表示され、そこでアクティベーションコードを入力できます。アクティベーションコードがない場合は、管理者に問い合わせてください。

### 始める前に

管理者は、xxxx-xxxx-xxxx-xxxx の形式で、16 桁のアクティベーションコードを提供します。

### 手順

---

**ステップ1** [開始(Welcome)] 画面に表示されているフィールドにアクティベーションコードを入力します。コードを入力する際に、ハイフン(-)を入力する必要はありません。

**ステップ2** [続行 (Continue) ]を押します。

(注) [続行] ソフトキーは、有効な 16 桁のアクティベーションコード、またはその最初の 3 桁の数字の後に # キーを入力した場合にのみ表示されます。[削除] ソフトキーは、[アクティベーションコードの入力] ボックスにアクティベーションコードの最初の 1 桁を入力した場合にのみ表示されます。

電話機は、オンボードプロセスを自動的に完了します。

**ステップ3** エラーメッセージが表示された場合は、コードをもう一度入力するか、管理者に新しいコードを問い合わせてください。

---

## 短時間のアクティベーションコードを使用して電話機を自動プロビジョニングする

電話機が起動すると、開始画面が表示され、そこでアクティベーションコードを入力できます。アクティベーションコードがない場合は、管理者に問い合わせてください。

### 始める前に

管理者は、次のアクティベーションコードを提供します。

### 手順

**ステップ1** ポンド記号（#）を押し、[開始 (Welcome)] 画面に表示されているフィールドにアクティベーションコードを入力します。

**ステップ2** [続行 (Continue)] を押します。

(注) **[続行]** ソフトキーは、有効なアクティベーションコードの最初の3桁を入力し、続けて#キーを押すまで表示されません。**[削除]** ソフトキーは、**[アクティベーションコードの入力]** ボックスにアクティベーションコードの最初の1桁を入力した場合にのみ表示されます。

電話機は、プロビジョニングプロセスを自動的に完了します。

**ステップ3** エラーメッセージが表示された場合は、コードをもう一度入力するか、管理者に問い合わせてください。

## 初めて電話機を起動したときにパスワードを設定する

初めて電話機を起動する際、パスワードの設定を求められる場合があります。設定が求められない場合は、管理者によってパスワードが作成済みです。

### 手順

**ステップ1** **[新規パスワード (New password)]** と **[新規パスワードの再入力 (Reenter new password)]** フィールドにパスワードを入力します。

**ステップ2** [保存] を押します。

## 電話でユーザーパスワードを作成する

管理者は、工場出荷時の状態へのリセット後に電話を再起動するたびに、**[パスワードの設定 (Set password)]** 通知画面のプロンプトを表示するようにしています。この機能により、電話のセキュリティが強化されます。

### 手順

**ステップ1** 次のいずれかを実行します。

- 工場出荷時の状態へのリセット後、電話が再起動し、[パスワードの設定 (Set password)] プロンプトが表示されます。
- を押します
  - [状況 (Status)] > [問題 (Issues)] を選択します。電話にユーザーパスワードが作成されていない場合、「ユーザーパスワードがありません」のメッセージが表示され、「ユーザーパスワードがありません」画面にアクセスする [選択 (Select)] ソフトキーが表示されます。

電話にユーザーパスワードがある場合は、[問題 (Issues)] メニューの値はなしと表示されます。
  - [作成 (Create)] を押します。

ステップ2 [パスワードの設定 (Set password)] 画面で、新しいパスワードを [新しいパスワード (New password)] ボックスに設定します。

新しいパスワードを作成すると、電話画面にロック解除アイコンが表示されます。

## ユーザー認証制御

管理者は、電話機のメニューにアクセスするために認証を要求するかどうかを設定できます。管理者は、すべての電話メニューにアクセスできるようにするには、認証をカスタマイズして無効にすることもできます。

この機能を使用する場合、電話メニューで認証を必要とするかどうかは、管理者によって制御されます。管理者がメニューにアクセスするための認証を設定している場合は、パスワードを入力し、ログインしてメニューにアクセスする必要があります。

## 別の電話機からの内線へのサインイン (エクステンションモビリティ)

エクステンションモビリティが設定されている場合は、ネットワーク内の別の電話機にサインインして、自分の電話と同じように操作することができます。ログイン後、電話機は個人の電話番号を使用します。

### 始める前に

管理者はプロビジョニング権限を設定します。

### 手順

---

**ステップ1** [サインイン (Sign in)] を押します。

**ステップ2** ユーザー名とパスワードを入力し、[サインイン (Sign in)] を押します。

パスワードフィールドでは、英数字と数字の2種類の入力方法を使用できます。パスワードを入力する際、電話機に[オプション (Options)] ソフトキーが表示されます。このソフトキーを使用して、現在のパスワードの入力タイプを変更します。英数字で入力する場合は[すべて入力 (Input all)] を選択し、数字を入力する場合は[数字の入力 (Input num)] を選択します。管理者は、電話機の Web ページでパスワードの入力方法を設定します。

---

## 別の電話機で内線からサインアウトする

### 手順

---

[サインアウト (Sign out)] を押します。

---

## ゲストとして電話機にサインインする

管理者が電話機でホテリングを有効にしている場合、電話機にゲストアカウントがあります。ネットワーク内の別の電話機にゲストとしてサインインすることができます。

### 手順

---

**ステップ1** [サインイン (Sign in)] を押します。

**ステップ2** ユーザー ID とパスワードを入力します。

パスワードフィールドでは、英数字と数字の2種類の入力方法を使用します。パスワードを入力する際、電話機に[オプション (Options)] ソフトキーが表示されます。このソフトキーを使用して、現在のパスワードの入力タイプを変更できます。英数字で入力する場合は[すべて入力 (Input all)] を選択し、数字を入力する場合は[数字の入力 (Input num)] を選択します。

**ステップ3** [保存] を押します。

---



- (注) 管理者は、緊急コールを発信するように電話機をセットアップできます。登録済み電話機にゲストとしてサインインすると、電話機は電話機の場所を取得する要求を転送します。緊急コールを発信する際、場所が緊急サービスに送信されます。


## ゲストとして電話機からサインアウトする

### 手順

- ステップ1 [ゲストアウト (Guest Out)] を押します。  
ステップ2 [サインアウト (Sign Out)] を押します。

## 電話機でのプロフィールルールの設定

### 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。  
ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [プロフィールルール (Profile rule)] を選択します。  
ステップ3 電話のキーパッドを使用してプロフィールルールを入力します。  
ステップ4 [再同期 (Resync)] を押します。

## 同僚の回線のステータス

同僚の回線をモニタリングするために、お使いの電話機にラインキーを設定できます。この機能は、あなたが同僚への電話を日常的に代わりに処理していて、同僚が通話に応答できるかどうかを知る必要がある場合に役立ちます。モニタリングラインキーは、ビジーランプフィールド (BLF) キーとして機能します。BLFは、モニタリング対象回線のステータスを示すために色が変わる LED です。

次の表で、ステータス LED の状態について説明します。

表 2: BLF キー LED の状態

LED カラー	意味
緑	モニタリング対象回線は使用可能です。
赤	モニタリング対象回線はビジー状態です。
赤色に点滅	モニタリング対象回線が鳴っています。
オレンジ	BLF キー設定にエラーがあります。

管理者は、あなたが必要な回線をモニタリングできるように、サーバと電話機に必要な設定を行います。

















あなたは2つの方法であなたの電話のモニタリングを設定することができます：

- 個々のユーザの回線のモニタリングを設定できます。
- 管理者から BLF リストが設定されている場合は、リスト全体のモニタリングを有効または無効にすることができます。BLF リストは、回線をモニタリングできるユーザのリストです。電話機は各ユーザを別々のラインキーでモニタリングします。電話はモニタリング用に使用可能なラインキーを自動的に割り当てます。

適切な設定では、BLF キーを使用してモニタリング対象回線に電話をかけ（短縮ダイヤル）、モニタリング対象回線への着信コールに応答する（コールピックアップ）ことができます。

設定が完了すると、BLF キーラベルのアイコンはキーに設定されている機能の組み合わせを示します。

表 3: ビジー ランプ フィールドのアイコン

	BLF	BLFとスピードダイヤル	BLF コール ピックアップ	BLF、短縮ダイヤル、コール ピックアップ
アイドル				
アラート				
利用中				
エラー (Error)				



## BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する

管理者があなたのために Busy Lamp Field (BLF) リストを設定している場合は、BLF リスト全体のモニタリングを有効または無効にできます。電話機は各ユーザを別々のラインキーでモニタリングします。モニタリングをアクティブにすると、電話機は BLF リストエントリをモニタリングするために使用可能なラインキーを順番に割り当てます。

BLF リストキーは、個々の BLF キーと同じように機能します。詳細については、[同僚の回線のステータス \(19 ページ\)](#) を参照してください。モニタリングをアクティブにすると、電話機は BLF リストキーにモニタ対象回線のステータスを表示し始めます。各 BLF リストキーを使用して、モニタリング対象回線に電話をかけ (短縮ダイヤル)、モニタリング対象回線への着信コールに応答する (コールピックアップ) ことができます。



- (注) BLF リスト内のユーザの順番は、管理者によって設定されます。対応する BLF リストキーは常にこの順番を維持します。BLF リストキーの短縮ダイヤルなど、別の機能をいつでも設定できます。ただし、ラインキーは BLF リストでは使用できません。


ラインキーの設定を変更するたびに、電話機は変更を考慮して BLF リストのキー割り当てをやり直します。電話機は、使用可能なラインキーを毎回同じ順序で割り当てただけです。これにより、BLF リストキーの位置が変わる可能性があります。

電話機は、使用可能なラインキーを使用してできるだけ多くのユーザをモニタリングします。オンラインキーを設定している機能を削除することで、リストをモニタリングするために使用できるラインキーを増やすことができます。詳細については、[ラインキーに設定されている機能を削除する \(23 ページ\)](#) を参照してください。

### 始める前に

管理者が BLF リストを設定します。

### 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [ユーザ設定 (User preferences)] > [アテンダント コンソール設定 (Attendant console preferences)] > [BLF リスト] を選択します。

- **BLF リストが表示**に設定されている場合は、モニタリングが有効です。電話機の BLF リストキーにモニタ対象回線のステータスが表示されます。
- **BLF リストが非表示**に設定されている場合は、モニタリングが無効です。

**ステップ 3** [設定 (Set)] を押します。

## 個別回線のモニタリングを設定する

同僚の回線ステータスをモニタリングするようにラインキーを設定できます。短縮ダイヤルを設定に追加すると、ラインキーを使用してモニタリング対象の回線に電話をかけることができます。コールピックアップを設定に追加すると、ラインキーを使用してモニタリング対象の回線への着信に応答できます。ラインキーは、ビジーランプフィールド (BLF) キーとして機能します。詳細については、[同僚の回線のステータス \(19 ページ\)](#) を参照してください。

使用可能な任意のラインキーを選択すると、この機能を設定できます。短縮ダイヤルキーまたは BLF キーとして機能しているラインキーを選択することもできます。設定を行うと既存のキー設定はすべて上書きされます。

管理者があなたの BLF リストを設定している場合は、あなたはそのリストにある人々の回線だけしかモニタリングできません。

お使いの携帯電話は既にリスト全体をモニタリングしている可能性があります。詳細については、[BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する \(21 ページ\)](#) を参照してください。回線をモニタリングするために個別のキーを設定することもできます。ただし、電話はリストの一部として自動的に回線をモニタリングしなくなります。個々の BLF キー設定を削除すると、電話機はリストの一部として自動的に回線のモニタリングを再開します。自動モニタリングのために回線を追加または削除する必要があるたびに、電話機は BLF リストのキー割り当てを調整します。これにより、BLF リストキーの位置が変更されます。

### 始める前に

- 関係する回線をモニタリングできるようにするために、管理者が必要な設定を行います。
- 管理者は BLF 機能オプションのオンラインキーを設定できます。

### 手順

**ステップ 1** ラインキーを 2 秒間押し続けます。

**ステップ 2** 機能選択画面で、次のいずれかのオプションを選択します。

- 回線をモニタリングするためだけにキーを使用したい場合は、**BLF の存在**を選択します。
- キーを使用して回線をモニタリングし、モニタリング対象の回線を短縮ダイヤルする場合は、**BLF +短縮ダイヤル**を選択します。
- キーを使用して回線をモニタリングし、モニタリング対象の回線への着信にも応答する場合は、**BLF +コールピックアップ**を選択します。
- 3つの機能すべてにキーを使用したい場合は、**BLF +短縮ダイヤル+コールピックアップ**を選択します。

**ステップ 3** 回線をモニタリングする相手のユーザー ID を **ユーザー ID** フィールドに入力します。

(注) ユーザー ID を入力してください。ユーザー ID は、個人の名前または内線番号ではない可能性があります。支援が必要な場合は、管理者にお問い合わせください。

管理者があなたの BLF リストを設定している場合は、リストからモニタリングしたい回線を持つユーザを選択できます。

a) **BLF リストを検索**を選択します。

リストに名前がグレーで表示されているユーザは、電話機が個別に設定された BLF キーですでにモニタリングしているユーザです。

b) 回線をモニタリングするユーザを選択します。

ユーザー ID が **ユーザー ID** フィールドに表示されます。

個別に設定されたキーですでにモニタリングされているユーザを選択した場合、新しい設定が以前の設定を上書きしてユーザをモニタリングします。

**ステップ 4** [保存]を押します。

## ラインキーに設定されている機能を削除する

ラインキーに設定されている機能を削除できます。

電話機がビジーランプフィールド (BLF) リストをモニタリングしている場合、ラインキーに設定されている機能を削除すると、そのラインキーを BLF リストのモニタリングに使用できるようになります。これは BLF リストキーの位置を変えることができます。詳細については、[BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する \(21 ページ\)](#) を参照してください。



(注) 管理者が設定した機能を削除することはできません。

### 手順

**ステップ 1** ラインキーを 2 秒間押し続けます。

**ステップ 2** 機能を選択画面で、**無し**を選択します。

**ステップ 3** 確認を求められたら、**OK**を押します。

## ラインキーにメニューショートカットを追加する

メニューショートカットを使用してラインキーを設定した後は、ラインキーを押すだけでメニューを開くことができます。

### 始める前に

管理者が、お使いの電話機でこの機能を有効にする必要があります。

### 手順

- ステップ1 ラインキーを2秒間押し続けます。利用可能な機能リストが表示されます。
- ステップ2 リストからメニューショートカットを選択します。使用可能な機能リストが表示されます。
- ステップ3 リストをスクロールして、ラインキーに追加するメニューを選択し、設定を押します。

## ラインキーからメニューショートカットを削除する

### 手順

- ステップ1 ラインキーを2秒間押し続けます。利用可能な機能リストが表示されます。
- ステップ2 一覧からなしを選択し、設定を押します。

## ホーム画面でのサービス中断メッセージ

Webex クラウドサーバーが利用できない場合、電話機のホーム画面にサービス中断通知が表示され、回線ステータスに生存性アイコンが表示されます。このような状況の場合、電話機は Site Survivability Gateway (SGW) に接続するので、少なくとも基本通話機能を使用できます。SGW サービスは、ローカルネットワークで展開されるので、電話機は、基本通話機能のみをサポートします。回線ステータスを確認すると、[中断 (Interrupted)] と表示されます。回線ステータスを表示するには、[回線ステータスを表示する \(36 ページ\)](#) を参照してください。

この問題が発生した場合は、管理者にお問い合わせください。

## 電話機の Web ページ

コンピュータからアクセス可能な電話機の Web ページで、いくつかの電話機設定をカスタマイズできます。このページの URL、ユーザー ID およびパスワードは管理者から与えられます。

電話機の Web ページでは、電話機の機能、回線設定、および電話サービスを制御できます。

- 電話機の機能には短縮ダイヤル、サイレント機能、個人用アドレス帳などがあります。

- 回線の設定は、電話機の特定の電話回線（電話番号）に影響します。回線設定には、コール転送、ビジュアルおよびオーディオメッセージインジケータ、呼出音のパターン、その他の回線固有の設定が含まれます。

電話機の Web ページを使用して設定できるいくつかの機能を次の表に示します。

機能	説明
コール転送	電話機でコール転送が有効になっている場合に、コールを受信する番号を指定します。電話機の Web ページを使用すると、より複雑なコール転送機能（回線がビジー状態の場合の動作など）をセットアップできます。
短縮ダイヤル	短縮ダイヤル番号に電話番号を割り当てると、その相手にすばやくコールをかけることができます。
呼出音	特定の回線に着信音を割り当てます。
パーソナルディレクトリの連絡先	電話機の Web ページでパーソナルディレクトリに連絡先を追加します。
HTTP プロキシ	電話機がインターネットに接続できるように HTTP プロキシをセットアップします。
VPN 接続	VPN サーバー経由でネットワークに接続するように電話機をセットアップします。

#### 関連トピック

[電話機の Web ページによるコール転送](#) (57 ページ)

[スピードダイヤル](#) (45 ページ)

[電話機の Web ページによる着信音の割り当て](#) (114 ページ)

[電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加](#) (74 ページ)

## 短縮ダイヤル番号

電話機で番号をダイヤルする際には、一連の数字（桁）を入力します。短縮ダイヤル番号をセットアップする際には、発信に必要なすべての数字（桁）を短縮ダイヤル番号に含める必要があります。たとえば、外線に接続するために9をダイヤルする必要がある場合は、9番を押してからダイヤルしたい番号を押してください。

また、ダイヤルする他のダイヤル番号を番号に追加することもできます。追加の数字（桁）の例として、会議アクセスコード、内線、ボイスメールパスワード、承認コード、課金コードなどがあります。

ダイヤル文字列に含めることができる文字はつぎのとおりです。

- 0～9
- シャープ (#)

- アスタリスク (\*)
- コンマ (,) : 一時停止記号であり、ダイヤリング中に 2 秒の遅延を挿入します。複数のカンマを連続させることができます。たとえば、2 個のカンマ (,,) は、4 秒間のポーズを表します。

ダイヤル文字列の規則は次のとおりです。

- ダイヤル文字列の各部分を分離するには、カンマを使用します。
- 短縮ダイヤル文字列では、常に課金コードの前に承認コードを含める必要があります。
- 文字列内の承認コードと課金コードの間に 1 つのコンマが必要です。
- 承認コードおよび追加の数字 (桁) を含む短縮ダイヤルには、短縮ダイヤルラベルが必要です。

短縮ダイヤルを設定する前に、数字 (桁) シーケンスを手動で少なくとも 1 回ダイヤルしてみても、内容が正しいことを確認してください。

短縮ダイヤルの承認コード、課金コード、および追加の数字 (桁) は、電話機の通話履歴に保存されません。短縮ダイヤルを使って宛先に接続した後に[リダイヤル (Redial)]を押すと、電話機に必要な承認コード、課金コード、または追加の数字 (桁) を手動で入力するよう求められます。

### 例

承認コードと課金コードが必要な状況で、特定の内線の相手に発信するために短縮ダイヤル番号をセットアップするには、次の要件を考慮してください。

- 外線の **9** をダイヤルする必要があります。
- 通話先の番号は **5556543** です。
- 承認コード **1234** を入力する必要があります。
- 課金コード **9876** を入力する必要があります。
- 4 秒ほど待機します。
- 電話がつながった後、内線 **56789#** をダイヤルする必要があります。

このシナリオでは、短縮ダイヤル番号は **95556543,1234,9876,,56789#** となります。

### 関連トピック

[電話機のキーパッド文字](#) (28 ページ)

## ボタンとハードウェア

Cisco IP 電話 7800 シリーズには、さまざまなハードウェア タイプがあります。












- Cisco IP 電話 7811：画面の両側にボタンなし
- Cisco IP 電話 7821：画面の左側に 2 つのボタン
- Cisco IP 電話 7841：画面の両側に 2 つのボタン
- Cisco IP 電話 7861：画面の右側に 16 個のボタン

次の図に、Cisco IP 電話 7841 を示します。

図 2：Cisco IP 電話 7800 シリーズのボタンと機能



1	ハンドセットとハンドセットライトストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイスメッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	☐ 電話回線、機能、コールセッションにアクセスできます。 詳細については、13 ページの「ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン」を参照してください。
3	ソフトキー ボタン	☐ 機能とサービスにアクセスします。 詳細については、13 ページの「ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン」を参照してください。

4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーションリングと選択  ボタン。メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。
5	保留/再開、会議、および転送	保留/再開  : アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。 会議  : 電話会議を作成します。 転送  : コールを転送します。
6	スピーカーフォン、ミュート、およびヘッドセット	[スピーカーフォン (Speakerphone)  ] : スピーカーフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカーフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ミュート (Mute)  ] : マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ヘッドセット (Headset)  ] : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンの場合、ボタンは点灯します。
7	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	連絡先  : 個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。 [アプリケーション (Applications) ]  : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。 メッセージ  : ボイスメッセージングシステムを自動的にダイヤルします。
8	音量 ボタン	 ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカーフォンの音量 (オフフック) と呼出音の音量 (オンフック) を調整します。

## 電話機のキーパッド文字

電話機のキーパッドでは、文字、数字、および特殊文字を入力できます。2~9キーを押して、文字と数字を取得します。特殊文字には、1、ゼロ (0)、アスタリスク (\*)、およびシャープ (#)



キーを使用します。次の表は、英語ロケール用の各キーの特殊文字を示しています。他のロケールにも独自の文字があります。

表 4: キーパッドの特殊文字

キーパッドキー	特殊文字を使用する
1	/ . @ : ; = ? _ & %
0	(space) , ! ^ ' "
アスタリスク (*)	+ * ~ ` < >
シャープ (#)	# \$ £ □ \ ( ) { } [ ]

## ナビゲーション

ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、メニューをスクロールし、回線間を移動します。ナビゲーションクラスタの内側の[選択 (Select)] ボタンを使用して、項目を選択します。



メニュー項目にインデックス番号がある場合は、キーパッドでインデックス番号を入力して項目を選択できます。





## ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を操作する方法がいくつかあります。

- ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。[その他... (More...)] ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示しています。
- スクリーンの両側にある機能ボタンと回線ボタンを使用すると、電話機能および電話回線にアクセスできます。
  - 機能ボタン：短縮ダイヤルやコールピックアップなどの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。
  - 回線ボタン：通話を始めたり、着信通話に応答したり、保留中のコールを再開するために使用します。ラインキーを使用して、コールセッションウィンドウを開いたり閉

じたり、コールセッションウィンドウをナビゲートすることもできます。回線上のコールを表示するには、コールセッションウィンドウを開きます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

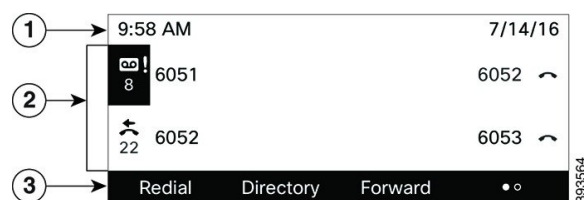
-  緑：回線がアイドル状態です。
-  赤、点灯：回線がアクティブ状態または使用中です。
-  赤、点滅：回線が保留中、または着信コールがあります。
-  オレンジ、点灯：回線が未登録です（使用できません）。

一部の機能をソフトキーまたは機能ボタンとしてセットアップすることができます。さらに、ソフトキーや関連するハードボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

## 電話画面の機能

電話スクリーンには、電話番号、アクティブコールと回線のステータス、ソフトキー、短縮ダイヤル、発信履歴、電話メニューのリストなど、その電話機に関する情報が表示されます。スクリーンにはヘッダー行、中央セクション、フッター行の3つのセクションがあります。

図 3: Cisco IP 電話 7800 の画面



1	スクリーンの最上部にはヘッダー行があります。ヘッダー行には、電話番号と現在の日時のほかに、さまざまなアイコンが表示されます。該当する機能がアクティブであるときに、アイコンが表示されます。
2	電話スクリーンの中央部には、電話機の回線と機能ボタンに関連した情報が表示されます。  2つ以上の回線が登録されている回線を選択する場合、選択した回線の周りが黒いボックスで強調表示されます。アクティブコールは強調表示されません。  アクティブコールと着信コールの画面では、21文字以上がサポートされています。Cisco IP 電話では、回線が非アクティブなときに電話画面に15桁表示できます。
3	画面の最下行にはソフトキーのラベルが表示されます。各ラベルは、スクリーンの下にあるソフトキーボタンのアクションを示しています。

## 電話画面のクリーニング

### 手順

電話機の画面が汚れた場合、乾いた柔らかい布で拭いてください。

**注意** 液体や粉末は電話機に対して使用しないでください。電話機の部品に入り込み、故障の原因になる可能性があります。

## コールと回線の違い

本書で電話機の使用法を説明する際に使っている回線 およびコール という用語には、かなり独特な意味合いがあります。

- 回線：回線は、他人が自分へのコールに使用できる電話番号またはインターコム番号にそれぞれ対応しています。回線の数は、電話番号および電話回線アイコンの数と同じです。
- コール：1本の回線で複数のコールをサポートできます。デフォルトで、お使いの電話機は1つの回線につき2つの接続通話に対応していますが、管理者は必要に応じてこの数を調整できます。

アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。

たとえば2つの回線があり、各回線で4つのコールがサポートされる場合、一度に最大8つの接続コールが存在する可能性があります。これらのうち1つだけがアクティブで、他の7つは保留中のコールとなります。

## 電力要件

Cisco IP 電話 7800 シリーズでは、次のシスコ承認の電源アダプタを使用する必要があります。

- Phihong 社製アダプタ (PSC18U-480)、定格：48 VDC 0.38 A
- Delta 社製アダプタ (EADP-18VB B)、定格：48 VDC 0.375 A

## 省電力

管理者は、電話画面で、電話機を使用していないときに使用される電力量を減らすことができます。管理者が設定できる省エネのレベル：

- 省電力：電話機が一定時間にわたって非アクティブ状態のままだとバックライトや画面がオフになります。

バックライトを管理することができます。

#### 関連トピック

[電話画面のバックライトの調整](#)（133 ページ）

## 追加のヘルプと情報

電話機で利用可能な機能について不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

シスコ Web サイト (<https://www.cisco.com>) には、電話機およびコール制御システムについての詳細情報が掲載されています。

- クイック スタート ガイドおよびエンドユーザー ガイド（英語）については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/products-user-guide-list.html>

- 英語以外のガイドについては、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-translated-end-user-guides-list.html>

- ライセンス情報については、次のリンクを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-7800-series-multiplatform-firmware/products-licensing-information-listing.html>

## アクセシビリティ機能

Cisco IP 電話は、視覚障がい者、聴覚障がい者、身体障がい者のために、ユーザ補助機能を備えています。

これらの電話機のアクセシビリティ機能の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/products-technical-reference-list.html> を参照してください。

アクセシビリティの詳細については、シスコの Web サイトを参照してください。

<http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html>

## トラブルシューティング

次のシナリオに関連した問題が発生する可能性があります:

- 電話機が通話制御システムと通信できない。
- 通話制御システムで通信または内部の問題が発生している。

- 電話機内部で問題が発生している。

問題が発生した場合は、管理者の支援のもとで問題の根本原因をトラブルシューティングすることができます。

## 電話機についての情報を取得する


管理者から、電話機についての情報を提供するように求められることがあります。この情報は、トラブルシューティングの目的で電話機を一意に識別します。

電話機には、すべての一意のデバイス識別子 (UDI) 情報が含まれています。UDIは、電話機に関連付けられた3つのデータ要素で構成されています。データ要素は次のとおりです。

- 製品ID(PID)
- バージョン ID (VID)
- シリアル番号(SN)

電話機の web インターフェイスにある [**Info > Status > Product Information**] に移動して、電話機に関する情報を検索することもできます。

### 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [**ステータス (Status)**] > [**製品情報 (Product Information)**] を選択します。

以下の情報を確認できます。

**製品名:** Cisco IP 電話を表す名前。

**[シリアル番号 (Serial number) ]:** Cisco IP 電話のシリアル番号。

**[MACアドレス (MAC address) ]:** CiscoIP 電話のハードウェア アドレスです。

**[ソフトウェアバージョン (Software version) ]:** CiscoIP 電話 ファームウェアのバージョン番号です。

**[Configuration version (設定バージョン) ]:** Cisco IP 電話設定のバージョン番号。この情報は、管理者が有効にしている場合に表示されます。

**[ハードウェアバージョン (Hardware version) ]:** CiscoIP 電話 ハードウェアのバージョン番号です。

**[VID] :** Cisco IP 電話のバージョン ID。

**[証明書 (Certificate) ]:** ITSPネットワークでCisco IP 電話を使用できる事を認証するクライアント証明書のステータス。このフィールドは、クライアント証明書が電話機に正しくインストールされているかどうかを示します。

**[カスタマイゼーション (Customization) ]:** RCユニットについて、このフィールドはユニットがカスタマイズされているかどうかを示します。[保留中 (Pending) ]は、プロビジョニング

の準備ができていない新しいRCユニットを示します。ユニットがすでにカスタマイズされたプロフィールを取得している場合、このフィールドにはカスタマイズ状態が[取得済み (Acquired)] として表示されます。

**ステップ3** [アプリケーション (Applications)] 画面に戻るには、[終了 (Exit)] を押します。


## 電話機でカスタマイズ状態を表示する

EDOS サーバからの RC のダウンロードが完了すると、画面上で電話機のカスタマイズ状態を表示できるようになります。

リモートカスタマイズ状態の説明は次のとおりです。

- [オープン (Open)] : 電話機が初めて起動し、設定されていません。
- [中断 (Aborted)] : リモートカスタマイズが、DHCP オプションなどの他のプロビジョニングのために中断されました。
- [待機中 (Pending)] : 電話機はプロフィールを EDOS サーバからダウンロードすることができません。
- [カスタム待機中 (Custom-Pending)] : 電話機が EDOS サーバからリダイレクト URL をダウンロードしました。
- [取得済み (Acquired)] : EDOS サーバからダウンロードされたプロフィールに、プロビジョニング設定のリダイレクト URL があります。プロビジョニングサーバからのリダイレクト URL のダウンロードが正常に完了した場合、この状態が示されます。
- [利用不可 (Unavailable)] : EDOS サーバが空のプロビジョニングファイルで応答し、HTTP 応答が 200 OK だったため、リモートカスタマイズが停止しました。

### 手順


**ステップ1** アプリケーション  を押します。

**ステップ2** [ステータス (Status)] > [製品情報 (Product information)] > [カスタマイズ (Customization)] を選択します。

**ステップ3** [戻る (Back)] を押します。

## ネットワークステータスを表示する

### 手順

**ステップ1** アプリケーション  を押します。


ステップ2 [ステータス (Status)] > [ネットワークステータス (Network Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- **[ネットワークタイプ (Network type)]** : 電話機で使用するローカルエリアネットワーク (LAN) 接続のタイプを示します。
- **[ネットワークステータス (Network status)]** : 電話機がネットワークに接続されているかどうかを示します。
- **IPv4 ステータス** - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。
- **IPv6 ステータス** - 電話機の IP アドレス。電話機の IP アドレス、アドレッシングタイプ、IP ステータス、サブネットマスク、デフォルトルータ、ドメインネームサーバ (DNS) 1、DNS 2 に関する情報を確認できます。
- **VLAN ID** - 電話機の VLAN ID。
- **[MAC アドレス (MAC address)]** : 電話機固有のメディアアクセスコントロール (MAC) アドレス。
- **[ホスト名 (Host name)]** : 電話機に割り当てられた現在のホスト名が表示されます。
- **ドメイン** - 電話機のネットワークドメイン名を表示します。デフォルト : cisco.com
- **[スイッチポートリンク (Switch port link)]** : スイッチポートのステータス。
- **[スイッチポート設定 (Switch port config)]** : ネットワークポートの速度とデュプレックスを示します。
- **[PCポート設定 (PC port config)]** : PCポートの速度とデュプレックスを示します。
- **[PCポートリンク (PC port link)]** : PCポートの速度とデュプレックスを示します。

## 電話機のステータスを表示する

### 手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- **[経過時間 (Elapsed time)]** : システムを前回再起動してから経過した時間の合計。
- **[Tx (パケット) (Tx (Packets))]** : 電話機から送信されたパケット。


- [Rx (パケット) (Rx (Packets))] : 電話機で受信されたパケット。

---

## 電話機でステータスメッセージを表示する

### 手順

---

**ステップ1** アプリケーション  を押します。

**ステップ2** [ステータス (Status)] > [ステータスメッセージ (Status messages)] を選択します。

プロビジョニングが最後に実行されてからの、さまざまな電話ステータスのログを表示できます。

(注) ステータスメッセージは UTC 時間を反映し、電話機のタイムゾーン設定の影響を受けません。


**ステップ3** [戻る (Back)] を押します。

---

## 回線ステータスを表示する

### 手順

---

**ステップ1** アプリケーション  を押します。

**ステップ2** [ステータス (Status)] > [電話ステータス (Phone status)] > [回線ステータス (Line status)] を選択します。

電話機の各回線のステータスを表示できます。

---

## コール統計のコールレコードを表示する

各通話レコードには、詳細を確認できる追加情報が含まれています。このトピックで説明されている手順に従って、最近の通話レコードの詳細情報を確認してください。

### 始める前に

電話機にサインインすると、[コール統計 (Call statistics)] メニューにアクセスできます。

メイン画面の右上隅にロックアイコンが表示されている場合は、まだ電話機にサインインしていません。



## 手順

**ステップ 1** [ステータス (Status)] > [電話のステータス (Phone Status)] > [コール統計 (Call statistics)] を選択します。

**ステップ 2** (任意) プロンプトが表示されたら、パスワードを入力し、[サインイン (Signin)] を押します。

電話機にサインインできない場合は、管理者にお問い合わせください。

**ステップ 3** リストからコール統計エントリを強調表示し、[選択 (Select)] を押します。

ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して、強調表示されたエントリの詳細を表示することもできます。

以下の情報を確認できます。

- [通話タイプ (Call type)] : 発信コールまたは着信コール。
- [ピア名 (Peer name)] : コールを行った人またはコールに応答した人の名前。
- [ピア電話 (Peer phone)] : コールを行った人またはコールに応答した人の電話番号。
- [エンコードコーデック (Encode codec)] : 発信オーディオを圧縮するための手段。
- [コーデックのデコード (Decode codec)] : 着信オーディオを圧縮解除するための手段。
- [コール時刻 (Call time)] : コールが行われた時刻またはコールに応答した時刻。
- [コール ID (Call ID)] : 発信者の ID。

コール統計には、カウンタ、統計、音声品質メトリックなどの追加情報が含まれている場合があります。このような情報はトラブルシューティングに活用できます。

## 関連トピック

[別の電話機からの内線へのサインイン \(エクステンション モビリティ\)](#) (17 ページ)

[ゲストとして電話機にサインインする](#) (18 ページ)


[コールセンター エージェントとしてのサインイン](#) (68 ページ)

[プロフィールアカウントのセットアップ](#) (136 ページ)

[パスワードの設定](#) (135 ページ)

## 802.1X トランザクション ステータスの表示

### 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。


ステップ2 [ネットワークの設定 (Network configuration)] > [イーサネットの設定 (Ethernet configuration)] > [802.1X 認証 (802.1X authentication)] > [トランザクション ステータス (Transaction status)] を選択します。

以下の情報を確認できます。

- トランザクション ステータス (Transaction status)
- Protocol (プロトコル)

## リポート履歴を表示する

### 手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [ステータス (Status)] > [再起動履歴 (Reboot history)] を選択します。

電話機が再起動したときに、その理由を問わず、いつでも日時の詳細を表示できます。


## Cisco MPP デバイスの電話機の問題をすべて報告する

エラー レポート ツール (PRT) を使用すると、通話記録を収集および送信し、管理者に問題を報告することができます。

### 始める前に

管理者は、Web サーバで電話機を有効にします。

### 手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [設定 (Settings)] を押します。

ステップ3 [ステータス (Status)] > [問題を報告 (Report problem)] を選択します。

ステップ4 [問題の発生日付 (Date of problem)] フィールドに、問題が発生した日付を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の日時が表示されます。

ステップ5 [問題の発生時刻 (Time of problem)] フィールドに、問題が発生した時刻を入力します。デフォルトではこのフィールドに現在の時刻が表示されます。

ステップ6 [問題の説明 (Problem description)] を選択します。

ステップ7 表示されるリストから説明を選択します。

ステップ8 [送信 (Submit)] を押します。

(注) 管理者が電話機の Web サーバを無効にした場合、電話機はサーバに問題レポートをアップロードできません。また、電話の画面には、エラー:109 または問題のレポートと利用できないダウンロードリンクが表示されます。この問題を解決するには、管理者にお問い合わせください。

---

## 電話を電話のウェブページから工場出荷時の状態へリセットする

電話機の Web ページから、電話機を製造者による初期設定に復元できます。電話機をリセットした後に、再設定できます。

### 手順

サポートされている Web ブラウザで URL を入力し、**Confirm Factory Reset** をクリックします。

次の形式で URL を入力できます。

```
http://<Phone IP>/admin/factory-reset
```

引数の説明

Phone IP = 電話機の実際の IP アドレスです。

/admin = 電話機の管理ページにアクセスするためのパスです。

factory-reset = 電話機を初期設定にリセットするために、電話機の Web ページで入力する必要があるコマンドです。

---

## サーバーから工場出荷時の状態へリセットする

管理者がサーバーから電話を工場出荷時の状態へのリセットしたときに、電話を製造元の設定に復元できます。電話機をリセットした後に、再設定できます。

管理者が電話を工場出荷時の状態へのリセットすると、電話画面には次の通知が表示されます。

- 電話がアイドル状態でアクティブコールがない場合、または電話がアップグレード中でない場合は、「**管理者からの要求により、工場出荷時の状態にリセットしています**」のメッセージが表示されます。その後、電話は工場出荷時の状態へのリセットを完了するために再起動されます。
- 電話がアクティブコールで通話中の場合、または電話がアップグレード中の場合は、「**管理者からの要求により、電話機はアイドル時に工場出荷時の状態にリセットされます**」のメッセージを表示します。電話がアイドル状態になると、「**管理者からの要求により、工場出荷時の状態にリセットしています**」が表示されます。その後、工場出荷時の状態へのリセットを完了するために電話が再起動されます。

## 電話機の Web ページで URL を使用して電話機の問題を特定する

電話機が機能しない場合や登録されていない場合、ネットワークエラーまたは不良構成が原因である可能性があります。原因を特定するには、特定の IP アドレスまたはドメイン名を電話機の管理ページに追加します。追加後にアクセスし、電話機から宛先に ping して原因を確認することができます。

### 手順

サポートされている Web ブラウザで、電話機の IP アドレスと ping する宛先 IP で構成される URL を入力します。URL は、次の形式で入力してください。

```
http://<Phone IP>/admin/ping?<ping destination>。次の意味があります。
```

<Phone IP> = 電話機の実際の IP アドレスです。

/admin = 電話機の管理ページにアクセスするためのパスです。

<ping destination> = ping を実行する任意の IP アドレスまたはドメイン名。

ping の宛先に使用できるのは、英数字、「-」および「\_」（下線）のみです。それ以外を使用すると、電話機の Web ページにエラーが表示されます。<ping destination> にスペースが含まれている場合、電話機はアドレスの最初の部分のみを ping の宛先として使用します。

たとえば、192.168.1.1 のアドレスに ping する場合、次のようになります。

```
http://<Phone IP>/admin/ping?192.168.1.1
```

## 電話機の接続の切断

電話機から電話ネットワークへの接続が切断されることがあります。接続が失われると、電話機にメッセージが表示されます。

アクティブコール中に接続が失われた場合、そのコールは継続します。ただし、通常の電話機能の中にはコール制御システムからの情報を必要とするものがあるため、すべての機能にアクセスできるわけではありません。たとえば、ソフトキーが正常に機能しないことがあります。

電話機がコール制御システムに再接続すると、電話機を再び通常どおりに使用できるようになります。

電話機の登録に関して詳しくは、『[電話機の手動登録](#)』を確認してください。

## 電話機にプロビジョニングの障害メッセージが表示されたときに詳細情報を取得する

電話機にメッセージが表示された場合は、プロビジョニング設定を確認するか、サービス プロバイダーに連絡してください。設定に問題があります。このメッセージは、電話機が起動した直後にしか表示されません。電話機がコール サーバに登録されていても、このメッセージは表示されません。

このメッセージは、すべての MPP 電話機に適用されます。

## 手順

---

**ステップ 1** 次のオプションのいずれかを選びます。

- **詳細:** ステータス メッセージのリストを表示します。
- **[キャンセル (Cancel)]:** メインの電話画面に戻ります。

(注) プロビジョニングアラートをキャンセルした場合、電話機が再起動されるまで、電話機は別のプロビジョニング アラートを表示しません。

**ステップ 2** 該当するステータスメッセージをリストから選択し、次のオプションのいずれかを押します。

- **[詳細 (Details)]:** ステータス メッセージ全体を表示します。
- **[クリア (Clear)]** メッセージの完全なリストを削除します。

**ステップ 3** この問題を解決するには、管理者にお問い合わせください。管理者によってアクセスが許可されている場合は、電話機の web ページでもメッセージを表示できます。

電話機の web ページで、**[情報 > ダウンロードステータス > プロビジョニングステータス]**に移動します。

---

## 移行ライセンスタイプの検索

管理者は、マルチプラットフォームファームウェアへの移行に使用するライセンスタイプに関する情報を尋ねる場合があります。

### 手順

---

**ステップ 1** [アプリケーション (Applications) ] ボタン  を押します。

**ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [製品情報 (Product Information) ] を選択します。

**ステップ 3** [移行承認タイプ] フィールドで、使用されるライセンスタイプを表示します。

---

## MIC 証明書更新ステータスに関する情報の検索

電話機の Web ページに更新ステータスと関連情報を表示して、Manufacture Installed Certificate (MIC; 製造元インストールされる証明書) の更新が完了したかを確認できます。管理者は、電話機のトラブルシューティング中にこの情報についてユーザに尋ねる場合があります。

### 始める前に

- 管理者から電話の Web ページへのアクセスが許可されました。

- 管理者は、ご使用の電話機で **Manufacture Installed Certificate (MIC; 製造元インストールされる証明書)** の更新をアクティブ化します。

#### 手順

---

**ステップ 1** 電話機の Web ページで、**情報 > ダウンロードステータス** をクリックします。

**ステップ 2** **MIC 証明書更新ステータス** セクションから情報を検索します。

- **MIC 証明書ステータス** : このフィールドには、実行した証明書更新の日時、HTTP リクエスト URL、および結果メッセージが含まれます。
- **MIC 証明書情報** : このフィールドには、証明書更新手順の全体ステータスが表示されます。通常、電話機の MIC 証明書が正常に更新されたかどうかを示します。

詳細については、管理者に連絡してください。

---

## Cisco 製品 (ハードウェア) に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。

シスコのソフトウェアに適用される保証およびライセンス契約を含む正式な保証書は、[製品保証](#)で提供しています。



## 第 2 章

# 通話

---

- [コールの発信 \(43 ページ\)](#)
- [コールへの応答 \(48 ページ\)](#)
- [コールのミュート \(51 ページ\)](#)
- [コールの保留 \(52 ページ\)](#)
- [コールの転送 \(55 ページ\)](#)
- [機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する \(57 ページ\)](#)
- [電話機の Web ページによるコール転送 \(57 ページ\)](#)
- [通話の転送 \(58 ページ\)](#)
- [電話会議とミーティング \(59 ページ\)](#)
- [通話の録音 \(62 ページ\)](#)
- [インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先 \(62 ページ\)](#)
- [電話機のグループのページング \(マルチキャストページング\) \(64 ページ\)](#)
- [XML アプリケーションとマルチキャストページング \(65 ページ\)](#)
- [XML アプリケーションの詳細を表示する \(65 ページ\)](#)
- [複数の回線 \(66 ページ\)](#)
- [コールセンター機能 \(67 ページ\)](#)

## コールの発信

電話機は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話を発信できます。

## コールの発信

お使いの電話機を他の電話機と同じように使用して電話します。

### 手順

---

番号を入力してハンドセットを持ち上げます。

---


## スピーカーフォンによるコールの発信

ハンズフリー通話にはスピーカーフォンを使用してください。同僚達にもあなたの通話が聞こえる可能性がある事ことに注意してください。

### 手順

---

**ステップ1** キーパッドを使用して番号を入力します。

**ステップ2** [スピーカーフォン (speakerphone) ] ボタン  を押します。

---

## ヘッドセットによるコールの発信

ハンズフリー通話にヘッドセットを使用すると、同僚の邪魔にならず、プライバシーも確保できます。

### 手順

---

**ステップ1** ヘッドセットを差し込みます。

**ステップ2** キーパッドを使用して番号を入力します。

**ステップ3** [ヘッドセット (headset) ] ボタン  を押します。

---

## 緊急コールの発信

他のコールと同じように電話機を使用して緊急コールを発信します。緊急番号にダイヤルすると、ユーザをサポートするために緊急サービスによって電話番号と場所が取得されます。



(注) コールが切断されると、緊急サービスからユーザに電話をかけなおすことができます。

---

### 始める前に

物理的な場所を取得するように電話機をセットアップする必要があります。緊急サービス担当者は、緊急コールを発信する際にユーザがいる場所を知っている必要があります。

### 手順

---

緊急番号を入力して、ハンドセットを持ち上げます。

---



## 番号のリダイヤル

最後にダイヤルした電話番号をもう一度発信できます。

### 手順

**ステップ 1** (任意) 回線を選択します。

**ステップ 2** [リダイヤル (Redial)] を押します。

(注) Webex Calling の場合、[ローカル通話 (Local Call)] の履歴がワークスペースのデバイスに設定されている場合、または FAC \*66 を使用している場合に、ワークスペースでリダイヤルがサポートされます。

**ステップ 3** [発信 (Placed calls)] リストから通話記録を選択して、連絡先を選択し、[コール (call)] を選択します。

[発信履歴 (Placed calls)] リストには、[情報と設定 (Information and settings)] > [通話履歴 (Recents)] > [発信履歴 (Placed calls)] からアクセスすることもできます。

## スピードダイヤル

短縮ダイヤルでは、ボタンを押し、事前に設定したコードを入力するかまたは電話機の画面項目を選択すると発信できます。短縮ダイヤルは電話画面と、電話機の Web ページから設定できます。

短縮ダイヤルコードを編集、削除、および承認できます。

### 関連トピック


[電話機の Web ページ](#) (24 ページ)

[短縮ダイヤル番号](#) (25 ページ)

## 電話機の画面から短縮ダイヤルコードを割り当てる

電話画面から短縮ダイヤルのインデックスを設定できます。また、電話機の Web ページから短縮ダイヤルコードを割り当てることもできます。

### 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [短縮ダイヤル (Speed Dials)] を選択します。

**ステップ 3** 割り当てられていない短縮ダイヤルのインデックスまでスクロールします。

**ステップ 4** [編集 (Edit)] を押して、次のいずれかを実行します：

- 名前と番号を入力します。
- **[オプション (Option)] > [連絡先から選択 (Select from contact)]** を選択して、アドレス帳から連絡先を選択します。

ステップ 5 [保存]を押します。

---

## 短縮ダイヤルコードを使用して発信

### 始める前に

電話機のウェブページまたは電話機の画面から、短縮ダイヤルコードをセットアップします。

### 手順

---

短縮ダイヤルコードを入力し、**[コール (Call)]** を押します。

---

## ラインキーの短縮ダイヤルの設定

キーを押したときに番号をダイヤルするように回線キーを設定できます。

使用可能な任意のラインキーを選択すると、この機能を設定できます。短縮ダイヤルキー、または回線をモニタしているビジーランプフィールド (BLF) キーとして機能している回線キーを選択することもできます。BLFの詳細については、[同僚の回線のステータス \(19 ページ\)](#) を参照してください。設定を行うと既存のキー設定はすべて上書きされます。

お使いの電話が BLF リストをモニタしている可能性もあります。詳細については、[BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する \(21 ページ\)](#) を参照してください。BLF リストキーを選択してこの機能を設定できます。ただし、BLF リストキーを選択すると、BLF リストキーの位置が変わることに留意してください。設定によってはキーが BLF リストで使用できなくなるため、BLF リストキーの位置が次に使用可能なキーに調整されます。

### 始める前に

- 管理者は短縮ダイヤルを回線キーに設定できます。
- この機能を設定するラインキーは内線として設定されていません。

### 手順

---

ステップ 1 ラインキーを 2 秒間押し続けます。

ステップ 2 **[機能を選択 (Select feature)]** 画面で、**[短縮ダイヤル (Speed dial)]** を選択します。

ステップ 3 **[ラベル (Label)]** フィールドにラベルを入力します。これは、電話機の画面上でキーの横に表示されます。

- ステップ4** [数 (Number) ] フィールドに、キーを押したときにダイヤルされる番号またはコードを入力します。
- ステップ5** [保存]を押します。

---

## ラインキーから短縮ダイヤルを削除

電話機のラインキーを押して、割り当てられた短縮ダイヤルを削除することができます。ラインキーの短縮ダイヤルが削除されます。短縮ダイヤルが削除されたことを確認するには、電話機の Web ページをチェックします。

### 手順

- 
- ステップ1** 短縮ダイヤルが設定されているラインキーを 2 秒以上押します。
- ステップ2** 電話画面の [短縮ダイヤル (Speed-Dial) ] ウィンドウで、[オプション (Option) ] > [削除 (Delete) ] を押します。
- ステップ3** [なし (None) ] を選択し、[OK] で確認します

---

## フォーカスした回線を短縮ダイヤルコールに使用する

音声プロフィール ID (VID) を使用して、または VID 使用せずに短縮ダイヤルを実行するラインキーを設定できます。両方設定されている場合、VID が優先されます。コールはその回線にルーティングされます。

VID を使用せずにラインキーが設定されている場合、フォーカスしている回線を使用するように短縮ダイヤル キーを設定できます。

### 手順

- 
- ステップ1** VID を使用せずに短縮ダイヤルを設定します。
- ステップ2** 目的の回線にフォーカスを変更します。
- ステップ3** 短縮ダイヤル キーを押してコールを発信します。

フォーカスした回線でコールが発信されます。

フォーカスしている回線でコールを発信する既存の番号が、電話機の Web ページの [回線ごとのコール アピアランス (Call Appearances Per Line) ] フィールドで設定した値と同じである場合、短縮ダイヤル コールは次に利用可能な回線から発信されます。

## フォーカスした回線を短縮ダイヤル コールのチェックに使用する

ラインキーが VID を使用せずに設定されている場合、チェックを実行して、フォーカスした回線でコールが発信されているかどうか確認できます。

### 手順

---

- ステップ1 VID を使用せずに短縮ダイヤルを設定します。
  - ステップ2 目的の回線にフォーカスを変更します。
  - ステップ3 短縮ダイヤル キーを押してコールを発信します。  
フォーカスした回線でコールが発信されます。
- 

## 国際番号のダイヤル

電話番号の前にプラス記号 (+) を付けると、国際電話をダイヤルできます。

### 手順

---

- ステップ1 アスタリスク (\*) を 1 秒間以上押したままにします。  
電話番号の先頭にプラス (+) 記号が表示されます。
  - ステップ2 電話番号を入力します。
  - ステップ3 [通話 (Call)] を押す、または最後にキーを押した後に10秒待つ事で自動的に通話を挿入します。
- 

## 安全なコール

電話機はすべてのコールを暗号化して、コールを保護します。ロックアイコンは、すべてのセキュアコールにて電話機の画面に表示されます。

また、電話機のパスワードを設定して、不正なアクセスを制限することもできます。

## コールへの応答

Cisco IP 電話は、通常の電話機と同じように動作します。より簡単な操作で通話に応答できます。

## コールに応答する

### 手順

---

赤色に点滅している回線ボタンを押します。

---

## コール待機への応答

アクティブコール中に別のコールがあると、ビープ音が1回鳴り、回線ボタンが赤色に点滅します。

### 手順

- 
- ステップ1** (任意) 複数のコール ウェイティングが発生した場合は、着信コールを選択します。  
**ステップ2** 回線ボタンを押します。
- 

## コールの拒否

アクティブ コールまたは呼び出し中の着信コールを、ボイスメール システムや設定済み電話番号に送信できます。

### 手順

---

次のいずれかの操作を実行して、コールを拒否します。

- [拒否 (Decline)] を押します。
  - 複数の着信がある場合、該当の着信を強調表示して、[拒否 (Decline)] を押します。
- 

## 着信通話を無音にする

忙しく仕事が中断されたくない場合には、着信通話をサイレント状態にすることができます。電話は鳴らなくなりますが、視覚的なアラートが表示されて着信通話に応答することができます。

### 始める前に

管理者は、あなたの電話機の [無視 (Ignore)] ソフトキーを設定します。

## 手順

---

いずれかの方法で、着信通話をサイレント状態にします。

- **[無視 (Ignore)]** ソフトキーを押します。このソフトキーを押すと、ソフトキーは電話機の画面から消え、次の着信通話で再び表示されます。



- **音量** ボタンを下に押します。このボタンを再度押すと、着信音の音量が下がります。

次の着信通話時にリンガの音量が元に戻ります。

---


## 応答不可をオンにする

電話に出たくない場合は、サイレント (DND) を使用して電話機をサイレントにし、着信コール通知を無視します。ただし、DND がオンになっていてもページングコールと緊急通話は常に受信します。

DND を有効にすると、着信コールがボイスメールなどの別の番号 (セットアップされている場合) に転送されます。

DND がオンの場合、電話画面の上部のバーに **[応答不可 (Do not disturb)]** と表示されます。

DND を有効にすると、デフォルトでは、その電話機のすべての回線が対象となります。また、**[初期設定 (Preferences)]** メニューから特定回線の DND を有効にすることもできます。

ラインキーで機能キーの同期と DND が有効になっている場合、DND アイコン  はラインキーラベルの横に表示されます。

## 手順

---

**ステップ 1** サイレントをオンにするには、**[サイレント (DND)]** を押します。

もし **DND** ソフトキーが電話画面にグレー表示されている場合は、管理者に連絡してください。

**ステップ 2** DND をオフにするには、**[DND の無効化 (Clr DND)]** を押します。

---

## 関連トピック

[電話機の Web ページ](#) (24 ページ)

[特定の回線に対して \[サイレント \(Do Not Disturb\)\] をオンにします。](#) (117 ページ)

## スターコードを使用してDNDをオンまたはオフにします

電話機用に設定されたそれぞれのスターコードをダイヤルすることによって、妨害防止機能をオンまたはオフにすることができます。管理者は、電話機のWebページの[DND有効化コード (DND Act Code)]フィールドと[DND無効化コード (DND Deact Code)]フィールドにそれぞれスターコードを入力します。

### 手順

**ステップ1** DNDをオンにするには、管理者から提供されたスターコードをダイヤルします。

**ステップ2** DNDをオフにするには、管理者に提供されたスターコードをダイヤルします。

## 同僚の電話機に応答する（コールピックアップ）

同僚との間でコール処理タスクを共有している場合、同僚の電話機に着信しているコールに応答することができます。まず、管理者が少なくとも1つのコールピックアップグループにユーザを割り当てる必要があります。

## グループ内のコールに応答する（ピックアップ）

自分のコールピックアップグループ内の別の電話機で鳴っているコールに応答することができます。ピックアップ対象のコールが複数ある場合、呼び出し時間が最も長いコールに応答することになります。

### 手順


**ステップ1** （任意） 回線ボタンを押します。

**ステップ2** 自分のピックアップグループ内の着信コールを自分の電話機に転送するには、[ピックアップ (PickUp)]を押します。

## コールのミュート

コール中に音声をミュートすると、自分の声が相手に聞こえず、相手の声だけを聞くことができます。

### 手順

**ステップ1** [ミュート (Mute)] を押します。

ステップ2 再度 [ミュート (Mute)] を押すと、ミュートはオフになります。

---


## コールの保留


### コールを保留にする

アクティブ コールを保留にして、いつでも再開できます。

#### 手順

---

ステップ1 [保留 (Hold)]  または [保留 (Hold)] を押します。

ステップ2 保留中の通話を再開するには、[保留 (Hold)]  または [再開 (Resume)] を押します。

---


### 長時間にわたって保留されているコールに応答する

電話機は、長時間コールを保留している場合に知らせるキューを提供するように設定されています。

- 赤色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージ インジケータ
- 電話画面上の視覚的な通知
- 保留リマインダが電話機の Web ページで設定されている場合の電話機での着信通知

#### 手順

---

保留中の通話を再開するには、[保留 (Hold)]  または [再開 (Resume)] を押します。

---

### アクティブ通話と保留通話の切り替え

アクティブコールと保留中の通話の間を簡単に切り替える事ができます。



## 手順

保留コールの回線ボタンを押して[再開 (Resume)]を押すと保留コールが再開され、もう1つのコールが自動的に保留になります。

## コールパーク

電話を使用して通話をパーク保留にすることができます。その後、自身の電話機または別の電話機（同僚のデスクや会議室にある電話機など）からその通話を受けられます。

パーク保留された通話は、忘れないようにネットワークによって監視されます。コールがパーク保留状態になっている時間が長すぎる場合、アラートが発せられます。その後、元の電話で応答、拒否、または無視することができます。引き続き、別の電話機から通話を受けることもできます。

所定の時間内にコールに応答しない場合、管理者が設定した別の接続先（ボイスメールまたはその他の宛先）に通話がルーティングされます。

## コールパークを使用してコールを保留にする

電話機で応答したアクティブ コールをパークした後、コール制御システム内の他の電話機を使ってそのコールを取得することができます。

自分の電話機にコールをパークすることもできます。その場合、録音を聞くことができないことがあります。

コールパーク番号にパークできるコールの数は1つだけです。

### 始める前に

コールがアクティブでなければなりません。

## 手順

- ステップ 1** パークを押します。  
パークされた通話の番号を尋ねる録音メッセージが再生されます。
- ステップ 2** （任意） キー拡張モジュール上でコールパークが構成されている場合は、コールパークラインキーを押します。
- ステップ 3** 番号を入力してシャープ (#) を押します。
- ステップ 4** （任意） パークされた番号を、コールを取得する担当者に伝達します。

## コールパークを使用して保留中コールを取得する

ネットワークの任意の場所から、パークされたコールをピックアップできます。

### 始める前に

コールのパークに使用された番号が必要です。

### 手順

- 
- ステップ1 [保留解除 (Unpark)] を押します。
  - ステップ2 (任意) 保留中のコールを取得するように設定されたコールピックアップでランプフィールドがビジー状態のラインキーを押します。
  - ステップ3 コールがパークされている番号とシャープ (#) を入力します。  
また、シャープ (#) を入力して、パークされているコールを取得することもできます。自分の電話でパークされたコールを取得する場合は、数字の入力が不要な場合があります。
- 

## 1つのラインキーを使用したコールのパークとパーク解除

管理者が、**prk**機能を使用してビジーランプフィールド(回線ステータス) リストを設定している場合は、アクティブコールをパークおよびパーク解除ができます。アイドルおよびパークされたコールアイコンについては、[同僚の回線のステータス \(19ページ\)](#) を参照してください。

この機能は電話機Cisco IP Phone 7811には適用されません。

### 始める前に

[BLF リストのモニタリングを有効化または無効化する \(21 ページ\)](#)

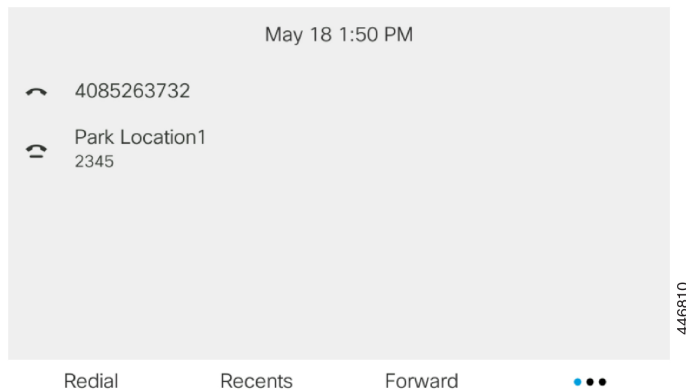
### 手順

- 
- ステップ1 ユーザを監視するラインキーを押して、アクティブコールをパークします。
  - ステップ2 コールをパーク解除するには、次の3つのいずれかを実行します。
    - パークされたコールを表示している監視対象のユーザを押します。
    - 内線ラインキーを押して、パークされているコールを表示している監視対象のユーザを押します。
    - 内線ラインキーに絞ったナビゲーションボタンを使用して、パークされているコールを表示している監視対象のユーザを押します。
-

## コールパーク内線番号とステータス

管理者は、専用コールパーク内線に対して通話のパークをサポートするようにコールパークを設定できます。これらの内線番号は、コールパークにのみ使用され、コールルーティングには使用されません。

図 4: コールパーク拡張機能のコールパーク



上記の例では、電話機がパーク ロケーション 1 を監視しています。管理者は、コールパーク エクステンション、パーク ロケーション 1 を設定しています。コールパークの内線番号が正常に登録されている場合、コールパーク関数にラインキーが割り当てられ、モニタ対象の内線番号のステータスが取得されます。

次の表に、コールパークのステータスと、コールパークの内線番号の横に表示される関連アイコンを示します。

表 5: コールパークのステータスとアイコン

ステータス (Status)	アイコン
アイドル	
パーク	

## コールの転送

電話機の回線にかかってきたコールを別の番号に転送することができます。コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。

機能キー同期および通話転送が設定された回線が有効な場合、通話転送 アイコンがラインキーラベルの横に表示されます。

不在転送サービスには次の 3 つがあります。

- 不在転送 — すべての着信コールを特定の電話番号に転送します。
- 話中転送 — 話し中の時、着信通話を特定の電話番号に転送します。
- 応答なし転送 (Forward no answer) — コールが応答されない時、着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。

特定のソフトキーを使用して、コール転送サービスを設定できます。

## 手順

**ステップ 1** [転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] を押します。

[不在転送 (Forward all)] が表示されている場合は、不在転送サービスのみを設定できます (話中転送サービスおよび無応答時転送サービスを除く)。ソフトキーを押した後、不在転送サービスを設定するためのメニューのみが表示されます。ステップ 3 に進みます。

[話中転送] および [応答なし転送] サービスを設定する場合は、[電話機からのコール転送 \(115 ページ\)](#) または [電話機の Web ページによるコール転送 \(57 ページ\)](#) を参照してください。

管理者が通話転送の同期を有効にしている場合、[不在転送設定 (Call forward settings)] 画面ではなく [全通話転送 (Call forward all)] 画面が表示されます。このシナリオでは、[機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する \(57 ページ\)](#) を参照してください。


**ステップ 2** 次のいずれかのコール転送サービスを選択します。

- 不在転送 (Forward all)
- 話中転送 (Forward busy)
- 無応答時転送 (Forward no answer)

**ステップ 3** 次のいずれかを行います:

- この電話回線から着信コールを転送する、転送先番号を入力します。
- [連絡先 (Contacts)] ソフトキーを押して、連絡先ディレクトリから連絡先を選択します。

**ステップ 4** 設定を押して、設定内容を適用します。

**ステップ 5** コールが転送されていることを確認するには、回線または電話画面の上部にあるコール転送  アイコンを探します。

## 関連トピック

[電話機の Web ページ \(24 ページ\)](#)

[電話機からのコール転送 \(115 ページ\)](#)

# 機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する

[転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] ソフトキーを押すと、[不在転送 (Call Forward All)] 画面が表示され、すべてのコールを転送するように電話機を設定できます。

## 始める前に

管理者は、電話機をサーバと同期させてすべての通話転送する機能アクティベーションコードを有効にします。



(注) 機能アクティベーションコード同期機能は、[すべて不在転送 (Call Forward All)] サービスのみをサポートします。話中転送および不在転送サービスはサポートされていません。

管理者が同期用の機能アクティベーションコードを有効にすると、[コール転送設定 (Call forward settings)] 画面は [準備完了 (Ready-only)] になります。

## 手順


**ステップ 1** [転送 (Forward)] または [すべて転送 (Forward all)] を押します。

**ステップ 2** 次のいずれかを実行します。

- この電話回線から着信コールを転送する、転送先番号を入力します。
- [連絡先 (Contacts)] を押して、連絡先ディレクトリから連絡先を選択します。
- [リダイヤル (Redial)] を押して、[発信履歴 (Placed calls)] リストからエントリを選択します。

**ステップ 3** [コール (Call)] を押して、すべてのコールを指定された番号に転送します。

**Clr fwd** または **Clf fwd all** を押してコール転送設定を解除できます。

**ステップ 4** コールが転送されていることを確認するには、回線または電話画面の上部にあるコール転送  アイコンを探します。

## 電話機の Web ページによるコール転送

電話機の Web ページを使用して、通話を転送するように電話機を設定できます。

また、通話転送も電話機の画面でセットアップできます。詳細については、[コールの転送 \(55 ページ\)](#) または [電話機からのコール転送 \(115 ページ\)](#) を参照してください。

### 始める前に

管理者は、通話転送サービスを有効にする必要があります。それ以外の場合、電話機のウェブページの設定は有効になりません。

### 手順

**ステップ 1** 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** をクリックします。

**ステップ 2** [コール転送 (Call Forward)] セクションで、[不在転送 (Cfwd All)]、[話中転送 (Cfwd Busy)]、[応答なし転送 (Cfwd No Answer)] を [はい (Yes)] に設定して、有効にする各通話転送サービス用の電話番号を入力します。

- **Cfwd All/Cfwd All Dest** : すべての通話を転送します。
- **Cfwd Busy/Cfwd Busy Dest** : 回線が話中の場合にのみ通話を転送します。
- **Cfwd No Answer/Cfwd No Ans Dest** : 回線の応答がない場合にのみコールを転送します。
- **Cfwd No Answer/Cfwd No Ans Delay** : 応答遅延時間を割り当てます。

管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) および通話転送の XSI 同期を無効にした場合、コールが転送となるまでの時間を秒数として入力できます。

管理者が電話機の機能キー同期 (FKS) または通話転送用の XSI 同期を有効にした場合、コールが転送となるまでの呼出音の回数を入力できます。

電話機のウェブページの着信転送設定は、FKS と XSI が無効になっている場合にのみ有効になります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

### 関連トピック

[設定](#) (113 ページ)

## 通話の転送

アクティブコールを別の人に転送することができます。


管理者が、ラインアピランスごとに 1 コールのみをサポートを設定している場合、アクティブコールを転送するオプションは表示されません。

## 別の担当者にコールを転送する

コールを転送した場合、他の担当者が応答するまでは、元のコールに接続した状態を保つことができます。これにより、通話から自分を切断する前に、相手と個人的に話す機会ができます。話す必要がない場合は、他の担当者が応答する前に通話を転送します。

また、通話から自分を切断する前に、両方の通話者の間で切り替えて、両者とそれぞれ個別に話し合うこともできます。

#### 手順

- 
- ステップ 1** 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)]  を押します。
  - ステップ 2** 別の担当者の電話番号を入力して、[コール (Call)] を押します。
  - ステップ 3** (任意) 着信音が鳴るか、相手がコールに応答するまで待ちます。
  - ステップ 4** (任意) 回線キーを押して、保留したコールに戻る。
- 

## 転送を行う前の会話

コールを転送する前に、転送先の相手と会話することができます。



管理者がラインアピランスごとに1つのコールのみをサポートするように設定しており、内線が1つだけ設定されている場合、次のことはできません。

- アクティブコールがある場合に、新しい通話を発信すること。
- アクティブコールがある場合に、転送すること。
- アクティブコールを電話会議にすること。

#### 始める前に

アクティブ コールを転送しなければならない場合があります。

#### 手順


- 
- ステップ 1** 保留中ではないコールで、[転送 (Transfer)]  を押します。
  - ステップ 2** 相手が応答すると、相手と話すことができます。
  - ステップ 3** (任意) ラインキーを押して、保留したコールに戻る。
  - ステップ 4** (任意) 回線キーを押して、転送先の電話番号に戻ります。
  - ステップ 5** 再度 [転送 (Transfer)]  または [転送 (Transfer)] を押します。
- 

## 電話会議とミーティング


1つのコールで複数の相手と話し合うことができます。別のユーザにダイヤルして、そのユーザをコールに追加することができます。複数の電話回線を使用している場合は、2つの回線をまたいで2つのコールに参加できます。参加者全員が電話を切ると、会議は終了します。

## 他の人をコールに追加する

### 手順

- 
- ステップ1 アクティブコールから、[会議 (Conference)]  を押します。
  - ステップ2 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール (Call)] を押します。
  - ステップ3 もう一度 [会議 (Conference)] を押します。
- 


## スターコードを使用した会議

[会議 (Conference)]  ボタンを1回だけ押すと、多数のアクティブコールが電話会議に統合され、1コールで複数の相手と話すことができます。

### 始める前に

管理者は、電話機のウェブページで [会議 (Conference)]  ボタンにスターコードを追加しています。

### 手順

- 
- ステップ1 回線からコールを発信し、応答を待ちます。
  - ステップ2 同じ回線を使用して別の番号に発信し、応答を待ちます。同じ回線を使用して他の番号に発信できます。
  - ステップ3 [電話会議 (Conference)]  を1回だけ押します。  
すべての番号が電話会議に追加され、アクティブコールのいずれかを含む会議ブリッジ URL を表すスターコードが表示されます。
- 

## アドホック会議で参加者リストをホストとして表示する

アドホック会議のホストであれば、参加者のリストを表示できます。

### 始める前に

[参加者 (Participants)] ソフトキーを利用できます。



### 手順

- ステップ1 回線から（たとえばユーザ A が）電話をして応答を待ちます。
- ステップ2 [会議（Conference）] を押して、別のユーザ（たとえばユーザ B）を会議に招待します。
- ステップ3 ユーザ B が通話に応答したた、再度 [会議（Conference）] を押して、ユーザ B を会議にマージします。  
同じ方法で、さらに参加者を会議に追加できます。
- ステップ4 [参加者（Participants）] ソフトキーを押します。会議に参加している参加者全員の名前が [参加者（Participants）] 画面に表示されます。
- ステップ5 （任意） [終了（Exit）] を押と、[参加者（Participants）] 画面から退出します。

## 参加者リストを参加者として表示する

アドホック会議の参加者の一覧を表示できます。

### 始める前に

[参加者（Participants）] ソフトキーを利用できます。

### 手順

- ステップ1 ホスト側から通話に応答します。  
ホストによって会議にマージされると、[参加者（Participants）] ソフトキーが表示されます。
- ステップ2 [参加者（Participants）] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。
- ステップ3 （任意） [終了（Exit）] を押と、[参加者（Participants）] 画面から退出します。

## アドホック会議でホストである参加者を削除する

ホストユーザーは参加者リストから参加者を削除できます。ホストと参加者は複数の参加者を会議に招待できますが、招待された参加者を削除できるのは、その参加者を招待した人のみです。たとえば、アドホック会議のホストであるユーザ A が、ユーザ B、ユーザ C、ユーザ D を会議に招待したとします。その場合、ユーザ A はユーザ B、ユーザ C、ユーザ D を削除できますが、仮にユーザ C がユーザ D を会議電話に招待した場合、ユーザー C による ユーザ D の削除は可能ですが、ユーザ A はユーザ D を削除できません。

### 始める前に

アドホック会議にホストとして参加します。

## 手順

- 
- ステップ1 アドホック会議で **[参加者 (Participants)]** を押して参加者名を表示します。
  - ステップ2 会議用電話に招待した参加者を選択し、**[削除 (Remove)]** を押します。
  - ステップ3 電話機に表示される削除のメッセージを確認します。
- 

## 通話の録音

通話中に録音することが可能です。コールの録音時に、通知トーンが聞こえることがあります。

録音中は、さまざまなアイコンで録音状態が表示されます。[コール (Calls)] 画面にアイコンが表示されます。コールを録音しているラインキーにも表示されます。

表 6: 録音アイコン

アイコン	意味
	録音中
	録音の一時停止

## 始める前に

管理者は、電話機でのコールの録音を有効にします。

## 手順

- 
- ステップ1 アクティブ コール中に **[録音 (Record)]** を押します。
  - ステップ2 (任意) 録音中に **[録音の一時停止 (PauseRec)]** を押すと、録音を一時停止できます。
  - ステップ3 (任意) 録音を再開するには、**[録音の再開 (ResumeRec)]** を押します。
  - ステップ4 (任意) 録音を停止するには、**[録音の停止 (StopRec)]** を押します。
  - ステップ5 コールを終了するには、**[通話終了 (End Call)]** を押します。
- 

## インスタントメッセージおよびプレゼンスの連絡先

インスタントメッセージおよびプレゼンス (IM&P) の連絡先には、それらのプレゼンス情報が表示されます。ユーザが利用可能、ビジー、利用不可能、または応答不可かどうかを確認できます。

連絡先のリストを管理するには、UC-One Communicator を使用します。電話機は、UC-One Communicator サーバから連絡先のリストを取得します。

電話機を使用すると、電話機は UC-One Communicator にステータス情報を送信します。

## プレゼンス

会社で「UC-One Communicator」サービスを使用し、電話機とこのサービスを統合することができます。このサービスを使用すると、連絡先のステータスを表示できます。

自分のステータスは電話機のステータス行に表示されます。次のいずれかが表示されます。

- 応答可能
- 不在
- 取り込み中
- オフライン

「UC-One Communicator」サービスの詳細については、Broadsoft のドキュメントを参照してください。

## IM およびプレゼンスの連絡先に対するコールの発信


IM&P の連絡先に含まれる相手にコールを発信する場合、相手のプレゼンス状態が通話履歴に表示されます。

### 始める前に

管理者が電話機の IM&P ディレクトリを有効にします。

### 手順

---

**ステップ 1** [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。

**ステップ 2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ 3** **IM&P 連絡先** を選択します。

**ステップ 4** ディレクトリを選択します

**ステップ 5** エントリを選択します。

エントリに連絡先のステータスが表示されます。

**ステップ 6** (任意) 連絡先の詳細を表示するには **[詳細 (Detail) ]** を押し、連絡先リストに戻るには **[戻る (Back) ]** を押します。

**ステップ 7** [通話] を押します。

---


## プレゼンス状態の変更

電話機は常に利用可能なため、電話機でプレゼンスを手動設定する必要があります。

### 始める前に

管理者が電話機の IM&P ディレクトリを有効にします。

### 手順

- 
- ステップ 1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
  - ステップ 3 **IM&P 連絡先**を選択します。
  - ステップ 4 ディレクトリをハイライトします。たとえば、**お気に入り**、**非グループ**、**すべての連絡先**などです。
  - ステップ 5 [プレゼンス (Presence) ]を押します。
  - ステップ 6 リストからプレゼンスを選択します。
    - [利用可能 (Available) ]: 電話に出ることができます。
    - [退席中 (Away) ]: 短時間、電話機から離れています。
    - [応答不可 (Do not disturb) ]: 電話に出ません。
    - [オフライン (Offline) ]: 電話に出ることができません。通常、長時間電話機から離れるときにこのプレゼンスを使用します。
- 

## 電話機のグループのページング (マルチキャストページング)

管理者は、電話機をページンググループの一部として設定できます。ページンググループ内では、お使いの電話機は、電話機システムの他のマルチプラットフォーム電話機からのページングに自動的に応答できます。各ページンググループには、それに関連付けられた固有の番号があります。管理者は、設定されたページンググループ番号を提供します。電話機がページングされると、短いビープ音が3回鳴ります。電話機が、あなたとあなたにコールした電話機の間で片通話を確立します。ページを承認する必要はありません。

### 手順

---

ページンググループの番号をダイヤルします。

---

## XML アプリケーションとマルチキャストページング

ページンググループ XML アプリケーションが有効な場合、お使いの電話は、サーバーからマルチキャストページを受信すると、画像またはメッセージを表示します。ユニキャストおよびマルチキャストページングまたはブロードキャスト中に、ページンググループの電話は次の動作を示します。

- 電話（送信者）がページを開始し、XML アプリケーションメッセージを表示しません。
- 管理者がサービスを設定している場合、ページングが開始されると、ページを受信する電話（受信者）は画面に XML アプリケーションメッセージ（着信ページ）を表示します。
- タイムアウト（管理者が設定）または管理者により XML アプリケーションが閉じた場合、受信者には受信ページが表示されます。しかし、タイムアウトが設定されていない場合、ページングコールが終了すると、XML アプリケーションは終了します。

管理者は、マルチキャストページングから XML サービスを呼び出すことができます。

## XML アプリケーションの詳細を表示する


お使いの電話がサポートする Cisco XML オブジェクトのリストを表示することができます。

始める前に

- 管理者が XML アプリケーションを設定しています。

手順

---

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [設定 (Settings)] を押します。

**ステップ 3** [情報と設定 (Information and settings)] 画面で、[XML アプリケーション (XML applications)] を選択します。

サポートされている Cisco XML オブジェクトのリストが表示されます。たとえば、**CiscoIPPhoneMenu**、**CiscoIPPhoneDirectory** などです。

(注) [XML アプリケーション (XML applications)] メニューは、お使いの電話で管理者により無効にされている場合は利用できません。

---

## 複数の回線

他のユーザと電話番号を共有する場合、複数の回線を電話機で使用できます。複数の回線を使用するときには、より多くのコール機能を利用できます。

### プライマリ回線でのすべてのコールの表示

プライマリ回線上の現在のコールと不在着信のリストを表示することができます。

この機能は、複数の回線を使用しており、すべての回線上のすべてのコールを単一の画面で確認したい場合に使用します。特定の回線をフィルタリングすることもできます。

管理者がこの機能をセットアップします。

### 最も古いコールから応答

電話機のすべての回線における最も古いコールに応答できます。これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留またはパーク復帰コールよりも常に優先されます。

複数の回線を操作しているときには、通常、応答したい着信コールの回線ボタンを押します。回線に関係なく最も古い着信に応答する場合は、**[応答 (Answer)]**を押します。

### 電話機ですべてのコールを表示

全てのアクティブコール（全ての電話回線から）のリストを、古いものからの順番に表示できます。

リストは、全ての通話がまとめて表示されるため、複数の回線を使用している場合や他のユーザと回線を共有している場合に便利です。リストには、すべての通話が一緒に表示されます。

### マルチプラットフォーム デスクフォンの共有電話

同じ電話番号を1人または複数の同僚と共有できます。たとえば、管理者のアシスタントは、管理者のためにコールの発信者名確認を担当することがあります。

電話番号を共有すると、他の通常の電話回線と同じようにその回線を使用できますが、共有電話に特有の次のような動作に注意してください。

- 共有電話番号は、最大 35 デバイスに表示するように設定できます。
- 共有された電話番号は、その番号を共有しているすべての電話機に表示されます。
- 同僚がコールに応答した場合、手元の電話機の共有電話ボタンとセッションボタンが赤色に点灯します。

- 自分が通話を保留にした場合、自分の回線ボタンが赤色に点灯し、セッションボタンが赤色に点滅します。同僚の回線ボタンも赤色に点灯し、セッションボタンは赤色に点滅します。

## 共有回線のコールに参加する

自分または同僚は、共有電話上のコールに参加できます。管理者が電話機の機能を有効にする必要があります。

回線を共有しているユーザがプライバシーをオンにしている場合、その回線設定は表示されず、自分の電話に自分自身を追加することはできません。

### 手順

**ステップ 1** 共有電話の回線ボタンを押します。

**ステップ 2** 電話で \*33 と入力します。

(注) この方法で設定すると、システムがアクセスコードを認識していることを知らせるトーンが鳴ります。

**ステップ 3** 電話をかけたい相手の電話番号を入力します。

(注) 接続すると、現在の通話から離れます。

## コールセンター機能

管理者は、ご使用の電話機をコールセンターの電話機として設定します。

管理者は、電話機で自動着信呼分配 (ACD) 機能を有効にできます。この電話機は、コールセンターエージェントの電話機として機能し、顧客のコールをトレースする、緊急の場合に任意の顧客のコールをスーパーバイザにエスカレーションする、廃棄コードを使用して連絡先番号を分類する、顧客のコールの詳細を表示するなどのことができます。

電話機は、次のように ACD ステータスを持つことができます。

- サインイン
- サインアウト
- 応答可能
- 連絡不可能
- ラップアップ

初期の ACD ステータスは、次の 2 つの方法で管理者によって制御されます。

- 最後のローカルステータスはACDの初期ステータスとして復元できます。電話機が起動すると、ステータスが「未登録」または「登録失敗」から「登録済み」に変更されます。
- ACD初期ステータスは、サーバから取得できます。

## コールセンターエージェントとしてのサインイン

コールセンターエージェントとしての業務を開始する準備ができたなら、電話機にサインインしてステータスを設定します。


管理者は、電話機にログインしたときにステータスが自動的に利用可能に設定されるように、電話機を設定することができます。この場合は、手動でステータスを設定する必要はありません。

### 手順

---

**ステップ1** [Agtサインイン (AgtSgnIn)]を押します。

**ステップ2** コールセンターエージェントとしてのステータスを確認します。

ステータスが利用可能な場合は、電話番号の横にアイコン  が表示されます。それ以外の場合は、次の手順を実行して、手動でステータスを設定します。

**ステップ3** [Agtステータス (Agt status)]を押します。

**ステップ4** [利用可能 (Available)]ステータスを強調表示します。

**ステップ5** [選択 (Select)]を押します。

---

## コールセンターエージェントとしてのサインアウト

コールセンターエージェントとしての業務を終了する準備ができたなら、ステータスを変更して電話機からサインアウトします。サインアウトすると、コールセンターコールを受信しません。

通話中にその通話が終了したらすぐにサインオフすることがわかっている場合、ステータスを[ラップアップ (Wrap-up)]に変更できます。

### 手順

---

[Agtサインアウト (AgtSgnOut)]を押します。

---



## コールセンター エージェントとしてのステータス変更

往々にして、短い休憩が必要な場合があります。そのためには、ステータスを変更して、その通話により電話機の呼出音が鳴らないようにします。

### 手順

**ステップ 1** [Agtステータス (Agt status)] を押します。

**ステップ 2** [利用不可 (Unavailable)] ステータスを強調表示します。

[利用不可 (Unavailable)] メニューのテキストボックスを使用して、利用不可の理由を追加できます。

必要に応じて、管理者は電話機の Web インターフェイスから電話機のテキストボックスを非表示にできます。

**ステップ 3** [選択 (Select)] を押します。

**ステップ 4** [Agtステータス (Agt status)] を押します。

**ステップ 5** [利用可能 (Available)] ステータスを強調表示します。

**ステップ 6** [選択 (Select)] を押します。

**ステップ 7** [ラップアップ (Wrap-up)] ステータスを強調表示します。

**ステップ 8** [選択 (Select)] を押します。

## コールセンター コールの受信

コールセンター エージェントとして電話機にサインインして、電話機のステータスが利用可能に設定されている場合、電話機はコールセンター コールを受信できます。コールに応答する前に、コールに関する情報が表示されます。

### 手順

**ステップ 1** 通話を受信すると、通話情報ページが表示されます。終了するには [戻る (Back)] を押し、受信するには [応答 (Answer)] を押します。

**ステップ 2** コールの詳細を表示するには、[コール情報 (Call Info)] を押します。

**ステップ 3** 通話を終了するときには、[通話終了 (End call)] を押します。

## エージェント コールの保留

コールセンター コール中に、発信者を保留したりコールに戻ったりすることができます。コールを長時間保留すると、電話画面でリマインダ音やリング スプラッシュが鳴ります。

### 手順

---

ステップ1 [保留 (Hold) ] ボタンを押す。

ステップ2 戻り準備ができたなら、保留中のコールを選択して [再開 (Resume) ]を押します。

---

## コールセンターコール中の処置コードの設定

廃棄コードをアクティブな顧客の通話、または通話の後で状態を [ラップアップ (Wrap-up) ] に設定した後に割り当てる事ができます。廃棄コードは、通話を説明する通話レコードに適用される簡易ラベルです。これは、コールにラベルを付けて、コールに関する詳細を見落とさないよう顧客への連絡履歴を追跡する簡単な方法です。

### 始める前に

管理者は、電話機に処置コードを追加できます。

### 手順

---

ステップ1 [廃棄コード (Disp Code) ] を押す。

ステップ2 [OK]を押します。

---

## コールをトレースする

アクティブコールとエージェントステータスで最後の着信コールをトレースできます。

### 始める前に

管理者は、電話機でコールのトレースを有効にします。

### 手順

---

アクティブコールから、またはコール後に [トレース (Trace) ]を押します。

---

## スーパバイザへのコールのエスカレーション

コールのエスカレーションが必要な場合、ユーザや発信者とともにスーパバイザを電話会議に追加できます。

### 始める前に

管理者が電話機で緊急エスカレーションを有効にします。

### 手順

---

**ステップ 1** アクティブ コールから、[緊急 (Emergency) ]を押します。

**ステップ 2** [緊急エスカレーション (Emergency Escalation) ]ウィンドウで、[OK]をクリックします。

優先する緊急エスカレーション番号を入力できます。または、スーパーバイザ設定がない場合は空のままにすることができます。緊急エスカレーション番号は表示されません。

---





## 第 3 章

# 連絡先

---

- [個人用アドレス帳（73 ページ）](#)
- [の \[すべてのディレクトリ\] 画面で連絡先を検索（76 ページ）](#)
- [社内ディレクトリ \(Corporate Directory\)（79 ページ）](#)
- [着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ（94 ページ）](#)

## 個人用アドレス帳

### 個人用アドレス帳に新しい連絡先を追加


#### 始める前に

管理者によって、電話機で個人用アドレス帳を有効にする必要があります。それ以外の場合、**[個人用アドレス帳 (Personal address book)]** メニュー項目は表示されません。

管理者によって、新しい連絡先を保存するターゲットディレクトリとして個人用アドレス帳が設定されていること。

#### 手順

---

- ステップ 1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ 2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ** を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ 3** 個人用アドレス帳に連絡先を追加する。
  - a) **[個人用アドレス帳 (Personal address book)]** を選択する。
  - b) **[ツイカ (Add)]** を押します。
  - c) 名前と1つ以上の電話番号を入力します。
  - d) (任意) 連絡先のカスタム着信音を選択します。
  - e) **[保存 (Save)]** を押して連絡先を追加します。

**ステップ 4** その他のディレクトリの連絡先を個人用アドレス帳に追加する。

- a) すべてのディレクトリ、BroadSoft ディレクトリ、または LDAP ディレクトリを選択します。
- b) 追加する連絡先を検索します。
- c) 連絡先を強調表示します。
- d) **オプション** を押し、**連絡先の追加** を選択します。
- e) 名前と1つ以上の電話番号を入力します。
- f) (任意) 連絡先のカスタム着信音を選択します。
- g) **[保存 (Save)]** を押して連絡先を追加します。

---

#### 関連トピック

[の \[すべてのディレクトリ\] 画面で連絡先を検索 \(76 ページ\)](#)

[Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索 \(83 ページ\)](#)

[LDAPディレクトリにて連絡先を検索 \(90 ページ\)](#)

## 電話機の Web ページによる個人用アドレス帳への新規連絡先の追加

### 始める前に

管理者によって、電話機で個人用アドレス帳を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

### 手順

- 
- ステップ 1** 電話機の Web ページで、**[ユーザログイン (User Login)]** > **[パーソナルディレクトリ (Personal Directory)]** を選択します。
  - ステップ 2** **[パーソナルディレクトリに追加 (Add to Personal Directory)]** をクリックします。
  - ステップ 3** 名前と関連番号または番号を追加します。番号には、名前、勤務先の番号、携帯電話の番号、自宅の番号が含まれます。
  - ステップ 4** **[すべての変更の送信 (Submit All Changes)]** をクリックします。
- 



## 個人用アドレス帳での連絡先の検索

### 始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

## 手順

---

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ2 表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
  - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal address book) ] を選択する。
  - ステップ4 [オプション (Option) ] > [検索 (Search) ] を選択します。
  - ステップ5 検索するアドレスエントリを入力し、 を押します。一致した連絡先が電話機に表示されます。  
名前でのみ検索できます（大文字と小文字は区別されません）。番号による検索には対応していません。
- 


## 個人用アドレス帳の連絡先へのコール

### 始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

### 手順

---

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
  - ステップ2 表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
  - ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal address book) ] を選択し、エントリを検索します。
  - ステップ4 ダイヤルする個人アドレス帳のエントリをハイライトします。
  - ステップ5 [通話]を押します。
- 

### 関連トピック


[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (74 ページ)

## 個人用アドレス帳の連絡先の編集

### 始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

## 手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal address book) ] を選択し、**エントリ**を検索します。
- ステップ4 変更するエントリをハイライトします。
- ステップ5 **オプション**を押し、**編集**を選択します。
- ステップ6 エントリの情報を変更します。
- ステップ7 [保存]を押します。

## 関連トピック


[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (74 ページ)

# 個人用アドレス帳から連絡先を削除する

## 始める前に

管理者は、電話機のパーソナルディレクトリ機能を有効にする必要があります。それ以外の場合、個人用アドレス帳メニューは表示されません。

## 手順

- ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。
- ステップ2 表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ3 [個人アドレス帳 (Personal address book) ] を選択する。
- ステップ4 削除する連絡先を検索します。
- ステップ5 連絡先のアドレスエントリをハイライトし、[オプション (Option) ]>[削除 (Delete) ]を押してエントリを削除します。

## 関連トピック

[個人用アドレス帳での連絡先の検索](#) (74 ページ)

# の [すべてのディレクトリ] 画面で連絡先を検索

[すべてのディレクトリ (All directories) ] は、連絡先のランディングページです。通常は、個人アドレス帳および Bluetooth 対応電話機から連絡先を自動的に取得します。



表示されているディレクトリに対象の連絡先が存在しない場合は、画面で手動検索を実行できます。検索範囲は、次のディレクトリをカバーします (有効な場合)。

- 個人用アドレス帳
- 次のサブディレクトリを含む BroadSoft ディレクトリ。
  - エンタープライズ
  - グループ (Group)
  - 個人データ(Personal)
  - 企業共通
  - グループ共通
- LDAP ディレクトリ

手動検索では、次の順序でディレクトリから連絡先の取得を試みます。

- 個人用アドレス帳
- BroadSoft ディレクトリ
- LDAP ディレクトリ




(注) 管理者は、アクセス可能なディレクトリを制御します。連絡先が無効なディレクトリにある場合は、そのエントリは検索結果に表示されません。

検索結果から、連絡先の詳細を表示したり、連絡先を発信、電話をかける前に番号を編集したりすることができます。管理者が電話機のパーソナルディレクトリを有効にしている場合は、パーソナルディレクトリに連絡先を追加することもできます。

#### 始める前に

管理者は、すべてのディレクトリ検索を有効にする必要があります。それ以外の場合、すべてのディレクトリ画面は表示されません。

#### 手順

**ステップ 1** [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。

**ステップ 2** ナビゲーションクラスタを使用して、画面にすでに表示されている連絡先を選択します。

画面に連絡先が見つからない場合は、次の手順に進みます。

**ステップ 3** 検索する連絡先の名前を入力します。

名前の任意の箇所に検索文字列を含む姓または名が検索されます。

キーワードを指定せずに連絡先を検索すると、電話機はすべての連絡先を取得します。

**ステップ 4** [検索 (Search)] を押します。

検索結果には、名前の完全一致と部分一致の両方が表示されます。

デフォルトでは、電話機には連絡先のうち最大 50 のレコードが表示されます。管理者は、連絡先の最大数を設定できます。

**ステップ 5** (任意) 連絡先の詳細を表示するには、検索結果内の連絡先を強調表示し、[詳細 (Details)] を押します。

**ステップ 6** (任意) 電話機のターゲットディレクトリに連絡先を追加するには、次の手順を実行します。

a) 連絡先の詳細を表示しながら、[オプション (Option)] を押します。

b) [連絡先の追加 (Add Contact)] を選択します。

メニューラベルには、連絡先を追加するターゲットディレクトリが表示されます。

- [個人アドレスエントリの追加 (Add Personal address entry)] メニューが表示された場合は、連絡先をローカルの個人用アドレス帳に追加します。

- [BroadSoft 個人連絡先の追加 (Add BroadSoft Personal contact)] メニューが表示された場合は、連絡先を BroadSoft 個人ディレクトリに追加します。

管理者は、ターゲットディレクトリを変更できます。

[連絡先の追加 (Add Contact)] オプションが表示されない場合は、管理者に問い合わせてください。

c) 連絡先の詳細を入力し、[保存 (Save)] を押します。

**ステップ 7** 連絡先に電話をかけるには、次の手順を実行します。

a) 検索結果で連絡先をハイライト表示にします。

b) [詳細 (Details)] を押します。

c) ダイアルする作業番号をハイライト表示します。

d) [通話] を押します。

**ステップ 8** (任意) ダイアルする番号を変更してから連絡先に電話をかけるには、次の手順に従います。

a) 検索結果で連絡先をハイライト表示にします。

b) [詳細 (Details)] を押します。

c) 変更する作業番号をハイライト表示します。

d) [通話の編集] をクリックします。

e) 必要に応じて番号を編集します。

f) [通話] を押します。

---

## 関連トピック

[個人用アドレス帳での連絡先の検索 \(74 ページ\)](#)

[Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索 \(83 ページ\)](#)

[LDAPディレクトリにて連絡先を検索 \(90 ページ\)](#)

## 社内ディレクトリ(Corporate Directory)

電話機で同僚の番号を検索して簡単に電話をかけることができます。管理者がこのディレクトリを設定し、保守します。

お使いの電話機は、LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリ、Broadsoft Directory、および Cisco XML Directory の 3 種類の企業ディレクトリをサポートしています。

### Webex ディレクトリ

Webex ディレクトリを使用して、連絡先を検索できます。管理者がお使いの電話機に Webex ディレクトリを設定します。Webex 連絡先を検索して表示することで、電話をかけやすくなります。Webex 連絡先の表示名を編集できます。管理者が Webex の連絡先をラインキーまたはプログラム可能なソフトキーとして設定すると、電話ホーム画面にラインキーまたはソフトキーにディレクトリ名が表示され、ディレクトリ検索画面に直接アクセスしやすくなります。

### Webex ディレクトリ名の編集

Webex ディレクトリの表示名は変更できます。

#### 始める前に

管理者が Webex のサポートを設定します。

#### 手順

- ステップ 1 Webex ディレクトリ を強調表示します。
- ステップ 2 [オプション] をクリックします。
- ステップ 3 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。
- ステップ 4 [Webex ディレクトリ設定] 画面で、[ディレクトリ名] ボックスで名前を編集します。入力した名前は、ディレクトリリストの下に Webex ディレクトリ名として表示されます。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。

### Webex ディレクトリにて連絡先を検索

Webex ディレクトリ内の連絡先を電子メールまたは名前で検索できます。

#### 始める前に

管理者は Webex ディレクトリを有効にします。

## 手順

**ステップ1** [ディレクトリ] 画面で、Webex ディレクトリを選択します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は**Webex ディレクトリ**です。

**ステップ2** [Webex ディレクトリの検索] 画面で、名前または電子メールのいずれかで検索条件を入力します。

**ステップ3** [検索 (Search)] をクリックします。

(注) 名前または電子メールを入力して、[すべてのディレクトリ]検索画面から Webex 連絡先を検索することもできます。詳細については、[すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索 \(81 ページ\)](#) を参照してください。

- 検索操作では、同じ名前、勤務先の電話番号、および携帯電話番号の連絡先が取得される場合があります。このような場合、Webex ディレクトリには連絡先が1つだけ表示され、残りの連絡先は重複していると見なされます。

次に例を示します。

- 検索で A (名前: "abc"、勤務先電話: "123456") と B (名前: "abc"、勤務先電話は "123456") が取得された場合、ディレクトリには A のみが表示されます。
- 検索で A (名前: "abc"、勤務先電話: "123456"、携帯電話: "8888") と B (名前: "abc"、勤務先電話は "123456"、携帯電話: "8888") が取得された場合、ディレクトリには A のみが表示されます。
- 検索で A (名前: "abc"、勤務先電話: "123456"、携帯電話: "8888") と B (名前: "abc"、勤務先電話は "123456"、携帯電話: "2222") が取得された場合、ディレクトリには A と B の両方が表示されます。

**ステップ4** (任意) 検索されたリストから連絡先を選択し、[詳細]を押します。氏名、仕事用電話番号、携帯電話番号、電子メール、部署などの詳細が表示されます。

**ステップ5** (任意) 連絡先を選択して電話をかけます。

- 連絡先に仕事用電話番号と携帯電話番号の両方がある場合、ディレクトリには仕事用電話番号が電話番号として表示されます。仕事用電話番号は、携帯電話番号よりも優先順位が高いです。詳細画面で、名前または仕事用電話番号を選択してコールを発信すると、電話機は仕事用の電話番号をダイヤルします。ただし、携帯電話番号を選択して電話を発信すると、電話機は携帯電話番号をダイヤルします。
- 連絡先に携帯電話番号のみ設定されている場合、ディレクトリに携帯電話番号が電話番号として表示されます。
- 連絡先に仕事用電話番号と携帯電話番号がない場合、ディレクトリには電話番号のない名前だけが表示されます。この連絡先に電話をかけることはできません。

- ステップ 6** (任意) 連絡先を選択して **[通話の編集]** を押して、**[新しいコール]** 画面にアクセスします。この画面で、連絡先番号を仕事用電話番号または携帯電話番号に変更してから、新しいコールを行います。連絡先に電話番号が設定できない場合は、**[通話の編集]** が機能しません。



- (注) 電話機が連絡先を検索している間は、電話機が最終結果を取得する前に、**[キャンセル]** を押して検索操作をキャンセルできます。

Webex ディレクトリ検索には、次の条件とエラーシナリオがあります。

- **[名前/電子メール]** ボックスに最小 3 文字を入力する必要があります。3 文字未満を入力すると、「無効な入力」というメッセージが表示されます。3 文字以上入力してください
- 正しい検索条件を入力しても、電話機から値が返されない場合。「一致するものが見つかりません」というメッセージが表示されます。
- 管理者が最大表示値に 100 を超える値を設定しても、Webex ディレクトリまたはすべてのディレクトリで検索される連絡先のうち 100 件のみが検索結果に表示されます。検索結果のカウントが許可された表示レコード値を超えると、「一致するものが多すぎます。検索を絞り込みます」というメッセージが表示されます。
- 検索中に、ネットワークの問題またはドメインネームサーバ (DNS) の応答に失敗し、次のメッセージが表示される場合。ディレクトリアクセスが失敗しました。設定とネットワーク設定を確認し、管理者に問い合わせてください。

## すべてのディレクトリにて Webex 連絡先を検索

[すべてのディレクトリ] 画面から Webex の連絡先を検索できます。



- (注) 管理者が最大表示値に 100 を超える値を設定しても、すべてのディレクトリで検索される連絡先のうち 100 件のみが検索結果に表示されます。検索結果のカウントが許可された表示レコード値を超えると、「一致するものが多すぎます。検索を絞り込みます」というメッセージが表示されます。

### 始める前に

- 管理者は Webex ディレクトリを有効にします。
- 管理者は、すべてのディレクトリ検索を有効にします。

## 手順

---

**ステップ1** [ディレクトリ]画面で、[すべてのディレクトリ]を選択します。

**ステップ2** [すべてのディレクトリを検索]画面で、Webex連絡先の検索条件を入力します。名前または電子メールアドレスを入力できます。

すべてのディレクトリ検索で検索入力として1文字がサポートされ、連絡先の名前だけを入力できます。ただし、Webexの連絡先検索するには、最低3文字を入力する必要があり、名前または電子メールを入力して検索できます。したがって、この検索で入力する文字が3文字未満の場合、電話機はWebexの連絡先を検索しません。

**ステップ3** [検索 (Search)] をクリックします。

検索操作では、同じ名前、勤務先の電話番号の連絡先が検索される場合があります。このような場合、[すべてのディレクトリ]リストに、優先順位が最も高い連絡先が1つしか表示されません。残りの連絡先は重複しているとして無視されます。検索操作では、ディレクトリから次の順序で連絡先を取得しようとし、個人アドレス帳が最も優先されます。

- 個人アドレス帳 (PAB)
- Webex ディレクトリ
- BroadSoft ディレクトリ
- LDAP ディレクトリ

**ステップ4** (任意) 検索されたリストから連絡先を選択し、[詳細]を押します。[検索結果の詳細]画面に、氏名、仕事用電話番号、携帯電話番号、電子メール、部署などの詳細が表示されます。

[検索結果の詳細]画面に、Webexの連絡先を個人アドレス帳に追加できます。追加するには、名前を選択し、[オプション]>[連絡先の追加]>を選択し、[個人アドレスの追加]入力画面で詳細を選択して保存します。[個人アドレス帳]画面にアクセスして、追加されたWebex連絡先を検索すると、連絡先がPABに追加された则表示されます。BroadSoftディレクトリで追加された連絡先を検索すると、追加されたWebex連絡先を取得します。

連絡先を検索する場合は、[Webex]か[XSI サーバー (XSI Server)]のいずれかを選択することをお勧めします。Webexの連絡先とXSIサーバーの連絡先を同時に検索することはできないためです。

---

## Broadsoft ディレクトリ

Broadsoftディレクトリ内で個人、グループ、または企業の連絡先を検索したり表示したりできるため、簡単に電話をかけることができます。管理者がお使いの電話機にBroadsoftディレクトリを設定します。このアプリケーション機能は、BroadSoftのExtended Services Interface (XSI)を使用します。

## Broadsoft ディレクトリにて連絡先を検索

### 始める前に

- 管理者は、BroadSoft XSI サービスを有効にします。
- 管理者は、BroadSoft ディレクトリを有効にして、ディレクトリを適切に設定します。
- 管理者は、ディレクトリのブラウズモードを有効にします。

このモードが有効になっている場合は、プリロード操作がディレクトリからすべての連絡先を取得するために自動的に開始されます。

### 手順

**ステップ 1** [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。

**ステップ 2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。 それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ 3** [Broadsoft ディレクトリ (BroadSoft directory) ] を選択する。 デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通

(注) 管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft ディレクトリ**のみ表示されます。

ディレクトリを入力した後、プリロード処理が完了するまで待機します。 **キャンセル**を押して、プリロード操作を停止できます。

**ステップ 4** **オプション**を押し、**検索**を選択します。

管理者がディレクトリのブラウズモードを無効にすると、代わりに電話機に**検索**ソフトキーが表示されます。

**ステップ 5** 検索条件を選択します。

- BroadSoft の企業ディレクトリまたはグループディレクトリでは、姓、名、ユーザー ID、電話番号、内線、携帯電話、部署、またはメールアドレスによって連絡先を検索できます。
- Broadsoft 企業共通、グループ共通、または個人ディレクトリでは、連絡先を名前または番号によって検索できます。

ステップ6 検索条件を入力し、**検索** を押します。

---

## BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプの編集

### 始める前に

管理者は、BroadSoft XSI サービスのディレクトリの個別のモードを無効にします。

### 手順

---

ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。

ステップ2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ** を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ3 **BroadSoft ディレクトリ** を強調表示します。

ステップ4 [オプション (Option) ] を押します。

ステップ5 [設定を編集 (Edit Settings) ] を選択します。

ステップ6 [タイプ (Type) ] フィールドを選択します。

BroadSoft ディレクトリの連絡先タイプとして企業、グループ、個人、企業共通またはグループ共通を選択できます。

ステップ7 [保存 (Save) ] を押して、変更内容を適用します。

---

## BroadSoft 個人ディレクトリで連絡先を管理する

BroadSoft 個人ディレクトリに連絡先を追加、編集、または削除できます。


### 始める前に

- 電話機が BroadSoft XSI サービスに接続します。
- 管理者が BroadSoft 個人ディレクトリを有効にします。
- 管理者が、BroadSoft 個人ディレクトリを新しい連絡先を保存するターゲットディレクトリに設定します。
- 管理者がディレクトリのブラウズモードを有効にします。

このモードが有効になっている場合は、プリロード操作がディレクトリからすべての連絡先を取得するために自動的に開始されます。

### 手順

---

ステップ1 [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。



- ステップ2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ3** BroadSoft 個人ディレクトリに連絡先を追加するには、次の手順を実行します。
- BroadSoft 個人ディレクトリを選択します。デフォルト名は **Personal** です。  
(注) 管理者がディレクトリ個別モードを無効にしている場合、電話機にはディレクトリ個別モードではなくメニュー項目 **[BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft directory)]** が表示されます。これを選択します。
  - プリロード操作が完了するまで待機するか、**[キャンセル (Cancel)]** を押してプリロード操作を停止します。  
管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にしている場合、ディレクトリ ブラウズ モードではなく **[パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal directory)]** メニューが表示されます。検索条件を入力し、**検索** を押します。
  - オプション** を押し、**追加** を選択します。
  - 連絡先の詳細を入力します。
  - [保存]** を押します。
- ステップ4** 他のディレクトリ (有効な場合) の連絡先を BroadSoft 個人ディレクトリに追加するには：
- すべてのディレクトリ、BroadSoft ディレクトリ、LDAP ディレクトリ、または個人用アドレス帳を選択します。
  - 追加する連絡先を検索します。
  - 連絡先を強調表示します。
  - オプション** を押し、**連絡先の追加** を選択します。
  - 連絡先の詳細を入力します。
  - [保存]** を押します。
- ステップ5** BroadSoft パーソナルディレクトリの連絡先を編集するには、次の手順を実行します。
- BroadSoft 個人ディレクトリを選択します。デフォルト名は **Personal** です。  
(注) 管理者がディレクトリ個別モードを無効にしている場合、電話機にはディレクトリ個別モードではなくメニュー項目 **[BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft directory)]** が表示されます。これを選択します。
  - プリロード操作が完了するまで待機するか、**[キャンセル (Cancel)]** を押してプリロード操作を停止します。  
管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にしている場合、ディレクトリ ブラウズ モードではなく **[パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal directory)]** メニューが表示されます。検索条件を入力し、**検索** を押します。
  - 編集する連絡先を強調表示します。
  - オプション** を押し、**編集** を選択します。  
相互トランスポート レイヤ セキュリティの **[選択 (Select)]** ボタンを押して連絡先を編集することもできます。

- e) 連絡先の詳細を編集します。
- f) [保存]を押します。

**ステップ 6** BroadSoft 個人ディレクトリから連絡先を削除するには、次の手順を実行します。

- a) BroadSoft 個人ディレクトリを選択します。デフォルト名は **Personal** です。  
 (注) 管理者がディレクトリ個別モードを無効にしている場合、電話機にはディレクトリ個別モードではなくメニュー項目 **[BroadSoft ディレクトリ (BroadSoft directory)]** が表示されます。これを選択します。
- b) プリロード操作が完了するまで待機するか、**[キャンセル (Cancel)]** を押してプリロード操作を停止します。  
 管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にしている場合、ディレクトリ ブラウズ モードではなく **[パーソナルディレクトリの検索 (Search Personal directory)]** メニューが表示されます。検索条件を入力し、**検索** を押します。
- c) 削除する連絡先を強調表示します。
- d) **[オプション (Option)]** を押して、**[削除 (Delete)]** を選択します。

## BroadSoft ディレクトリ名の編集

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft ディレクトリ** のみ表示されます。

管理者がディレクトリの個別のモードを有効にすると、電話機には、デフォルトの名前またはカスタマイズした名前を含む有効なディレクトリがすべて表示されます。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通



- (注) 管理者が有効にしているディレクトリだけが **[ディレクトリ (Directories)]** 画面に表示されます。

### 手順

**ステップ 1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。

**ステップ2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ3** 次のいずれか1つの処理を実行します。

- **BroadSoft ディレクトリ**を強調表示します。
- 設定されているディレクトリのいずれかを強調表示します。

**ステップ4** [**オプション (Option)**]を押します。

**ステップ5** [**設定を編集 (Edit Settings)**]を選択します。

**ステップ6** [**ディレクトリ名 (Directory Name)**]フィールドを編集します。

**ステップ7** [**保存 (Save)**]を押して、変更内容を適用します。

---

## Broadsoft ディレクトリのサーバ名の編集

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft ディレクトリ**のみ表示されます。

管理者がディレクトリの個別のモードを有効にすると、電話機には、デフォルトの名前またはカスタマイズした名前を含む有効なディレクトリがすべて表示されます。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ(Personal)
- 企業共通
- グループ共通



---

(注) 管理者が有効にしているディレクトリだけが [**ディレクトリ (Directories)**]画面に表示されません。

---

### 手順

---

**ステップ1** [**連絡先 (Contacts)**] ボタン  を押します。

**ステップ2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ3** 次のいずれか1つの処理を実行します。

- **BroadSoft ディレクトリ**を強調表示します。

- 設定されているディレクトリのいずれかを強調表示します。

ステップ 4 [オプション (Option)] を押します。

ステップ 5 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ 6 [ホストサーバー (Host Server)] フィールドを編集します。

ステップ 7 [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

## のログイン情報のユーザ ID 編集

管理者がディレクトリを個別に無効にした場合、電話機には **BroadSoft** ディレクトリのみ表示されます。

管理者がディレクトリの個別のモードを有効にすると、電話機には、デフォルトの名前またはカスタマイズした名前を含む有効なディレクトリがすべて表示されます。デフォルトの名前は次のとおりです。

- エンタープライズ
- グループ (Group)
- 個人データ (Personal)
- 企業共通
- グループ共通



(注) 管理者が有効にしているディレクトリだけが [ディレクトリ (Directories)] 画面に表示されません。

### 手順

ステップ 1 [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。

ステップ 2 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

ステップ 3 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- **BroadSoft** ディレクトリを強調表示します。
- 設定されているディレクトリのいずれかを強調表示します。

ステップ 4 [オプション (Option)] を押します。

ステップ 5 [設定を編集 (Edit Settings)] を選択します。

ステップ 6 (任意) ログイン情報または **SIP** 資格情報の認証タイプを設定します。

**ステップ7** 認証タイプに基づいて、ユーザのログイン情報を入力します。

- ログイン情報: **ユーザー ID** と **パスワード** のフィールドを編集します。
- SIP 資格情報: **Sip auth ID** と **SIP パスワード** フィールドを編集します。

**ステップ8** [保存 (Save)] を押して、変更内容を適用します。

## LDAP ディレクトリ

Cisco IP 電話は Lightweight ディレクトリ アクセス プロトコル (LDAP) v3 に対応しています。名前、電話番号、またはその両方の指定された LDAP ディレクトリを検索できます。Microsoft Active Directory 2003 や OpenLDAP ベースのデータベースなどの、LDAP ベースのディレクトリがサポートされています。

電話機の LDAP ディレクトリにアクセスするには、少なくとも1回はユーザログイン情報を入力してください。管理者は、電話機の管理ウェブページでユーザのログイン情報を設定することができます。LDAP ディレクトリに正常にアクセスすると、電話機はユーザのログイン情報を保存します。次回から、ユーザログイン手順をスキップすることができます。電話機は、ホストユーザまたはゲストユーザのユーザログイン情報を保存できます。これらのユーザは、柔軟な座席またはエクステンションモビリティ機能を備えた電話機にサインインします。

## LDAP ディレクトリのログイン情報の編集

電話機の LDAP ディレクトリにアクセスすると、ユーザの資格情報の入力求められる場合があります。事前にログイン情報を編集して、サインイン手順を回避することができます。また、ユーザのログイン情報を編集して LDAP アカウントを変更することもできます。

電話機は、さまざまなタイプのユーザのログイン情報を保存します。たとえば、柔軟な座席またはエクステンションモビリティ機能を備えた電話機にサインインしているユーザがいるとします。電話機でユーザを切り替えた後、電話機はユーザのログイン情報を保持します。したがって、サインインする必要がなくても LDAP ディレクトリにアクセスできます。

### 始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

### 手順

**ステップ1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。

**ステップ2** (任意) [カテゴリ (Category)] を押します。

管理者がディレクトリ ブラウズ モードを無効にした場合、そのソフトキーは電話機に表示されません。

**ステップ3** LDAP ディレクトリを強調表示します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (LDAP)」です。

**ステップ4** オプションを押し、設定の編集を選択します。

**ステップ5** ユーザクレデンシャルを入力します。

表示されるフィールドは、管理者が選択した認証方法に応じて異なります。

- 認証方法が「シンプル」の場合、電話機は **クライアント DN**と **パスワード**のログイン情報を要求します。
- 認証方法が「DIGEST-MD5」の場合、電話機は **ユーザ名**と **パスワード**のログイン情報を要求します。

**ステップ6** 保存をクリックしてログイン情報を保存します。

---

## LDAPディレクトリにて連絡先を検索

始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

手順

---

**ステップ1** [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。

**ステップ2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ3** [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory) ] を選択します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (LDAP)」です。

**ステップ4** (任意) プロンプトが表示されたら、ユーザのログイン情報を使用してログインします。

電話機は、LDAPディレクトリにアクセスするために次のいずれかのログイン情報を要求します。

- **クライアント DN** と **パスワード**
- **ユーザ名**と **パスワード**

詳細については、管理者に連絡してください。

電話機のローカルキャッシュにユーザのログイン情報が含まれている場合は、ユーザのサインイン手順を自動的にスキップします。

ディレクトリを入力すると、電話機はディレクトリからすべての連絡先の取得を開始する場合があります。

**ステップ5** (任意) 自動ロードを停止するには、**キャンセル**を押します。

**ステップ6** オプションを押して、次のいずれかの方法を選択します。

- **管理検索**: 連絡先の名前と名字を使って検索できます。
- **詳細検索**: 連絡先の姓、名、および電話番号で検索できます。

**ステップ7** 検索条件を入力し、**検索**を押します。

---

#### 関連トピック

[LDAP ディレクトリの連絡先に電話する](#) (91 ページ)

[LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集](#) (92 ページ)

## LDAP ディレクトリの連絡先に電話する

### 始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

### 手順

---

**ステップ1** LDAP ディレクトリの連絡先の検索は、[LDAPディレクトリにて連絡先を検索](#) (90 ページ) を参照してください。

検索が完了すると、一致した連絡先が検索結果リストのエントリの形式で表示されます。

**ステップ2** **[会社ディレクトリ (LDAP) 結果一覧]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。

通常、電話には、連絡先番号と共にエントリが表示されます。ただし、エントリに連絡先番号がない場合は、連絡先番号フィールドは空です。

**ステップ3** **[通話]**を押します。

(注) 電話でダイヤルアウトするエントリの最初の利用可能な連絡先番号が選択されます。エントリに複数の連絡先番号が含まれている場合に、他の連絡先番号を呼び出す場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、残りの手順はスキップしてください。

**ステップ4** ハイライトされたエントリの詳細情報を表示するには、**[詳細]**を押します。

**ステップ5** **[会社ディレクトリ (LDAP) アドレスエントリ]** 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して詳細をスクロールします。

エントリの詳細に特定の属性が複数回表示され、各属性に連絡先番号が含まれていることを確認できます。

**ステップ6** ダイヤルアウトできる連絡先の電話番号をハイライト表示し、**[通話]**を押します。

**[通話]** ソフトキーは、編集できる連絡先番号についてのみ表示します。

---

## LDAP ディレクトリの連絡先番号の編集

電話をかける前に、選択した既存の番号に基づいて連絡先番号を編集できます。

### 始める前に

管理者は LDAP ディレクトリを有効にします。

### 手順

---

**ステップ 1** LDAP ディレクトリの連絡先の検索は、[LDAPディレクトリにて連絡先を検索 \(90 ページ\)](#) を参照してください。

検索が完了すると、一致した連絡先が検索結果リストのエントリの形式で表示されます。

**ステップ 2** [\[会社ディレクトリ \(LDAP\) 結果一覧\]](#) 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。

通常、電話には、連絡先番号と共にエントリが表示されます。ただし、エントリに連絡先番号がない場合は、連絡先番号フィールドは空です。このシナリオでは、エントリの連絡先番号を編集することはできません。

**ステップ 3** [\[通話の編集\]](#) をクリックします。

(注) エントリに複数の連絡先番号 (コンマで区切られた番号) が含まれている場合に、そのうちの 1 つの連絡先番号を編集するには、[ステップ 4](#) ~ [ステップ 6](#) を実行します。それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ 4** ハイライトされたエントリの詳細情報を表示するには、[\[詳細\]](#) を押します。

**ステップ 5** [\[会社ディレクトリ \(LDAP\) アドレスエントリ\]](#) 画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して詳細をスクロールします。

エントリの詳細に特定の属性が複数回表示され、各属性に連絡先番号が含まれていることを確認できます。

**ステップ 6** 連絡先の電話番号をハイライト表示し、[\[通話の編集\]](#) を押します。

[\[通話の編集\]](#) ソフトキーは、編集できる連絡先番号についてのみ表示します。

**ステップ 7** 必要に応じて番号を編集します。

**ステップ 8** [\[通話\]](#) を押します。

---

## XML ディレクトリ

管理者が電話の XML ディレクトリを設定した後、電話は XML ディレクトリサービスまたはアプリケーションから連絡先を取得できます。このようにして、XML ディレクトリ内の連絡



先を表示および呼び出すことができます。通常、電話では、XML ディレクトリに最大 200 件の連絡先（またはエントリ）を表示できます。

## XML ディレクトリの連絡先に電話する

### 始める前に

管理者が XML ディレクトリを構成しました。

### 手順

**ステップ 1** [連絡先 (Contacts) ] ボタン  を押します。

**ステップ 2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。

**ステップ 3** XML ディレクトリを選択します。

デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (XML)」です。

**ステップ 4** [ディレクトリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。

電話には、1 つ以上の連絡先番号と共にエントリが表示されます。

**ステップ 5** [通話]を押します。

(注) 複数の連絡先番号が含まれるエントリの場合、電話機は常に最初にダイヤルアウトする連絡先番号を選択します。エントリの他の連絡先番号を呼び出す場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、残りの手順はスキップしてください。

**ステップ 6** ナビゲーションクラスタの [選択] ボタンを押して、ハイライト表示されたエントリの詳細を表示します。

**ステップ 7** [コーポレートディレクトリ (XML) アドレスエントリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して詳細をスクロールします。

エントリには、最大 5 つの連絡先番号を含めることができます。

**ステップ 8** 連絡先の電話番号をハイライト表示し、[通話] を押します。


## XML ディレクトリの連絡先番号の編集

電話をかける前に、選択した既存の番号に基づいて連絡先番号を編集できます。

### 始める前に

管理者が XML ディレクトリを構成しました。

## 手順

- 
- ステップ 1** [連絡先 (Contacts)] ボタン  を押します。
- ステップ 2** 電話機に表示されている場合は、**カテゴリ**を押します。それ以外の場合は、手順を省略します。
- ステップ 3** XML ディレクトリを選択します。  
デフォルトでは、ディレクトリ名は「企業ディレクトリ (XML)」です。
- ステップ 4** [ディレクトリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用してエントリをハイライト表示します。  
電話には、1つ以上の連絡先番号と共にエントリが表示されます。
- ステップ 5** 次のいずれか1つの処理を実行します。
- エントリに連絡先番号が1つだけ含まれている場合：
    1. [通話の編集] をクリックします。
    2. 必要に応じて番号を編集します。
    3. [通話]を押します。
  - エントリに複数の連絡先番号（コンマで区切られた番号）が含まれている場合、そのうちの1つの連絡先番号を編集します。
    1. ナビゲーションクラスタの[選択] ボタンを押して、ハイライト表示されたエントリの詳細を表示します。
    2. [企業ディレクトリ (XML) アドレスエントリ]画面で、ナビゲーションクラスタの外側のリングを使用して、連絡先番号をハイライト表示します。  
エントリには、最大5つの連絡先番号を含めることができます。
    3. [通話の編集] をクリックします。
    4. 必要に応じて番号を編集します。
    5. [通話]を押します。
- 

## 着信コールおよび発信コールの名前の逆引きルックアップ

着信コール、発信コール、電話会議、コール転送で、番号の名前を逆引きルックアップ検索をします。電話機がサービスプロバイダーディレクトリ、通話履歴、または連絡先を使用して

名前を検索できない場合、名前の逆引きルックアップが機能します。名前の逆引きルックアップには、有効な LDAP ディレクトリ設定または XML ディレクトリ設定が必要です。

名前の逆引きルックアップでは、電話機の外部ディレクトリを検索します。検索が成功すると、コールセッションと通話履歴に名前が表示されます。同時に複数のコールがある場合、名前の逆引きルックアップでは1つ目の電話番号と一致する名前が検索されます。2つ目のコールが接続または保留されたとき、名前の逆引きルックアップでは2つ目のコールに一致する名前が検索されます。

名前の逆引きルックアップは、デフォルトで有効になっています。

名前の逆引きルックアップでは、次の順序でディレクトリが検索されます。

1. 電話連絡先
2. コール履歴
3. LDAP ディレクトリ
4. XML ディレクトリ





## 第 4 章

# 通話履歴

- [最近の通話リスト \(97 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴を表示する \(97 ページ\)](#)
- [Webex 通話記録時間の表示 \(100 ページ\)](#)
- [Webex 通話のスパムの表示 \(100 ページ\)](#)
- [サーバーからの通話履歴を表示 \(101 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴に戻る \(101 ページ\)](#)
- [最近の通話履歴を消去する \(102 ページ\)](#)
- [通話履歴レコードからの連絡先の作成 \(103 ページ\)](#)
- [通話履歴を削除する \(104 ページ\)](#)
- [全ての通話履歴を削除 \(104 ページ\)](#)

## 最近の通話リスト

履歴リストを使用すると、最近の 180 件の個別コールおよびコールグループを確認できます。履歴リストが最大サイズに到達すると、次の新しいエントリによりリスト内の最も古いエントリが上書きされます。

サーバ上で STIR/SHAKEN のサポートが実装されている場合、電話機は発信者の STIR/SHAKEN 検証結果に基づいて、発信者 ID の横に追加のアイコンを表示します。検証結果に基づいて、電話機に 3 種類のアイコンが表示されます。アイコンの詳細については、[最近の通話履歴を表示する \(97 ページ\)](#) を参照してください。

## 最近の通話履歴を表示する


最近誰からコールがあったかを確認できます。




(注) 各回線には不在着信バッジがあります。電話機の画面で、回線ごとの不在着信件数を表示できます。最大不在着信のバッジは 99 です。特定の回線の電話画面で [全通話 (All calls)] または [不在着信 (Missed calls)] リストを表示すると、選択した回線の不在着信バッジが消去されます。

履歴リストに表示されるコールは 180 件までに制限されているため、不在着信バッジと実際の不在着信数は異なる場合があります。この制限は、発信コール、不在着信、および着信コールで構成されます。また、古い不在着信が不在着信バッジのカウントに追加されている場合があります。これは履歴リストで上書きできます。

## 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** 以下のいずれかの操作を行います。

- デスクフォン: 表示する回線を選択肢、[アプリケーション (Applications)]  を押します。
- 会議用電話: [設定 (Settings)] を押します。

**ステップ 3** [最近 (Recents)] を選択して、[最近 (Recents)] 画面にアクセスします。

電話機のホーム画面で [最近 (Recents)] ソフトキーを押しても同じ画面にアクセスできます。管理者が電話機の Web インターフェイスで設定している場合にのみ、このソフトキーが表示されます。

[通話履歴 (Recents)] ソフトキーを押すと、自動的に [全通話 (All calls)] 画面に直接移動します。

**ステップ 4** [通話履歴 (Recents)] 画面で、すべての最近の通話を表示するか、次の通話リストから特定の種類の最近の通話を表示するかを選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

[通話履歴を表示 (Display recents from)] オプションで通話履歴を表示する方法については、[サーバーからの通話履歴を表示 \(101 ページ\)](#) を参照してください。




管理者は、すべての通話、着信、受信、および着信のリストに対して、**オプション、通話、通話の編集、フィルタ**、および**バック** ソフトキーを画面で設定します。これらのソフトキーは、設定されると、上記のコールリストのメニューにアクセスした際に表示されます。ソフトキーは、設定に基づいて、コールリストの [オプション (Option)] メニューの 1 つとしても表示できます。

管理者は、Webex コールをログに記録するサポートを有効にします。[すべての通話]画面で、コールが電話番号で表されている場合は、[通話]と[通話の編集]ソフトキーが表示されます。コールが電話番号で表されていない場合、電話機にはどちらのソフトキーも表示されません。上記のコールリストの各メニューには、次のメニューを含むオプションソフトキーが含まれています。

- フィルタ (Filter) - 押すと、[最近 (Recents)] 画面にアクセスします。  
このメニューを利用できるかどうかは、電話機の Web インターフェイスでの管理者のソフトキー設定によって決定します。
- 通話の編集 (Edit call) - 押すと、通話エントリの詳細を編集できるようになります。  
このメニューを利用できるかどうかは、電話機の Web インターフェイスでの管理者のソフトキー設定によって決定します。
- エントリの削除 (Delete entry) - 押すと、選択したエントリが削除されます。
- リストの削除 (Delete list) - 押すと、選択したメニューのすべてのエントリが削除されます。
- 名前順 (Sort by name) - 選択すると、発信者の名前に従って並べ替えられます。
- 連絡先の追加 (Add contact) - 新しい連絡先がディレクトリに追加されます。

管理者が Webex コールのログを記録するサポートを有効にし、[全通話 (All calls)] 画面でコールが電話番号で表されている場合は、[連絡先の追加 (Add contact)] オプションを表示できます。コールが電話番号で表されていない場合、オプションメニューには[連絡先の追加] オプションは含まれません。

(注)

- 電話の発信者 ID の横に表示される追加のアイコン  は、検証済みコールを示します。  
任意の通話の通話詳細に移動すると、その通話が不在着信、または応答済み通話かを確認できます。
- 発信者 ID の横に、不正な発信者を示す追加のアイコン  が電話機に表示されません。
- 発信者 ID の横に、確認されていないコールを示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。

## Webex 通話記録時間の表示

受信および発信 Webex 通話の時間を表示できます。

### 始める前に

- 電話が Webex クラウドサーバーで作動します。
- 管理者は、電話機のメニューから[最近の履歴の表示 (Display recents)]を追加します。
- 管理者が Webex コールからログを表示することを有効にすると、Webex オプションが[次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)]で使用できるようになります。

### 手順

**ステップ 1** [最近 (Recents)] を選択して、[最近 (Recents)] 画面にアクセスします。

電話機のホーム画面で[最近 (Recents)] ソフトキーを押しても同じ画面にアクセスできます。管理者が電話機の Web インターフェイスで設定している場合にのみ、このソフトキーが表示されます。



[最近 (Recents)] ソフトキーを押すと、自動的に[すべてのコール (All calls)] 画面に直接移動します。

**ステップ 2** [すべての通話 (All calls)] 画面で、通話記録を選択します。


発信した通話または着信した通話を選択すると、[通話時間 (Duration)] フィールドに通話時間が表示されます。不在着信の場合、通話時間情報は表示されません。

## Webex 通話のスプアの表示

電話機が Webex サーバーに登録されている場合、電話機のコールセッション、ローカルコールログ、および Webex コールログに、次のアイコンが検証用に表示されます。

- 電話の発信者 ID の横に表示される追加のアイコン  は、検証済みコールを示します。任意の通話の通話詳細に移動すると、その通話が不在着信、または応答済み通話かを確認できます。
- 発信者 ID の横に、不正な発信者を示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。



- 発信者 ID の横に、確認されていないコールを示す追加のアイコン  が電話機に表示されます。

## サーバーからの通話履歴を表示

選択に応じて、BroadWorks XSI サーバーの通話ログとローカル通話ログ、市内通話のログ、および Webex クラウドサーバーからの個別リストを表示できます。

電話機は、ユーザが電話機の BroadWorks コールログに移動したときに、ローカルのパーソナルディレクトリに対する逆引き名前ルックアップを行います。


### 始める前に

管理者は、電話機のメニューから[最近の履歴の表示 (Display recents)] を追加します。

管理者が Webex コールからログを表示することを有効にすると、Webex オプションが [次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)] で使用できるようになります。

### 手順

**ステップ 1** 表示する回線を選択します。

**ステップ 2** [アプリケーション (Applications)]  を押します。

**ステップ 3** [通話履歴 (Recents)] を選択します。

**ステップ 4** [最近の通話履歴を表示 (Display recents from)] を選択し、オプションの一つを選びます。

- [XSI サーバー (XSI Server)] : サーバーに格納されていて、サーバーから転送された通話ログを表示します。
- [電話機 (Phone)] : 電話機に保存された通話ログを表示します。
- [Webex] : Webex クラウドサーバーに格納されている通話ログを表示します。


**ステップ 5** [設定 (Set)] をクリックします。

すべての通話、不在着信、受信した通話、発信通話のリストを吸表示できます。

## 最近の通話履歴に戻る

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- デスクフォン：アプリケーションボタン  を押します。
- ConferenCEPhone：[設定 (Settings)] を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recents)] を押します。

管理者が[不在 (Missed)] ソフトキーを設定し、回線に不在着信があると、電話のホーム画面の[不在 (Missed)] ソフトキーを使用して[不在着信 (Missed calls)] リストにアクセスできます。

ステップ3 ダイヤルするコールレコードを選択します。

ステップ4 (任意) 通話履歴を編集するには[コールの編集 (Edit call)] を押します。

ステップ5 必要な回線ボタンを押すか[コール (call)] を押して発信します。


---

## 最近の通話履歴を消去する


### 手順

---

ステップ1 表示する回線を選択します。

ステップ2 アプリケーション  を押します。

ステップ3 次のいずれか1つの処理を実行します。

- デスクフォン：アプリケーションボタン  を押します。
- ConferenCEPhone：[設定 (Settings)] を押します。

ステップ4 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ5 削除するリストを選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

ステップ6 [オプション (Option)] を押して、[すべて削除 (Delete all)] を押します。


ステップ7 OK を押します。

---

# 通話履歴レコードからの連絡先の作成

## 手順

**ステップ 1** 表示する回線を選択します。

**ステップ 2** アプリケーション  を押します。

**ステップ 3** [通話履歴 (Recent)] を選択します。

**ステップ 4** リスト項目を選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- 次からの最近の通話履歴を表示

[次からの最近の通話履歴を表示 (Display recents from)] オプションで通話を表示するには、[サーバーからの通話履歴を表示 \(101 ページ\)](#) を参照してください。

**ステップ 5** 追加する個々のレコードを強調表示します。

**ステップ 6** [オプション (Option)] を押します。

**ステップ 7** [連絡先の追加 (Add contact)] を押します。

メニューラベルには、連絡先を追加するターゲットディレクトリが表示されます。

- [個人アドレスエントリの追加 (Add Personal address entry)] メニューが表示された場合は、連絡先をローカルの個人用アドレス帳に追加します。
- [BroadSoft 個人連絡先の追加 (Add BroadSoft Personal contact)] メニューが表示された場合は、連絡先を BroadSoft 個人ディレクトリに追加します。


管理者は、ターゲットディレクトリを変更できます。

**ステップ 8** [保存 (Save)] を押して連絡先を追加します。


[BroadSoft 個人連絡先の追加] 画面で、連絡先の詳細フィールドが空の場合、またはフィールドに無効な値を入力した場合、[保存] ソフトキーは表示されません。

## 通話履歴を削除する

### 手順

ステップ1 [アプリケーション (Applications)]  を押します。

ステップ2 次のいずれかの処理を実行します。

- デスクフォン：アプリケーション ボタン  を押します。
- 会議用電話：[設定 (Settings)] を押します。

ステップ3 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ4 すべての通話履歴の表示、または特定の種類の通話履歴の表示を選択します。

- すべてのコール
- 不在履歴
- 受信コール
- 発信コール
- 発信者履歴の表示

ステップ5 削除する個々のレコードまたはコールグループを強調表示します。

ステップ6 [オプション (Option)] を押します。

ステップ7 [エントリの削除 (Delete entry)] を選択します。


ステップ8 [OK] を押します。

(注) 詳細については、『[6800](#)、[7800](#)、[8800](#)、[7832](#) および [8832](#) マルチプラットフォーム電話機ユーザーガイド』を参照してください。

## 全ての通話履歴を削除

電話機すべての通話履歴レコードを削除できます。

### 手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [通話履歴 (Recent)] を選択します。

ステップ3 [すべてのコール (All calls)] を選択します。

ステップ4 [オプション (Option)] を押して、[すべて削除 (Delete all)] を押します。

ステップ5 **OK** を押します。

---

■ 全ての通話履歴を削除




## 第 5 章

# ボイスメール

- [パーソナルボイスメール アカウント \(107 ページ\)](#)
- [新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するあなたのパーソナル \(108 ページ\)](#)
- [Your Personal 音声メールにアクセス \(108 ページ\)](#)
- [パーソナル音声ボイスメールへのアクセス \(109 ページ\)](#)
- [ボイスメールを設定した電話機の動作 \(109 ページ\)](#)
- [ボイスメールと不在着信を設定した電話機の動作 \(110 ページ\)](#)
- [監視されているボイスメールアカウントのボイスメッセージステータス \(111 ページ\)](#)

## パーソナルボイスメール アカウント

電話機からパーソナル ボイスメッセージに直接アクセスすることができます。ただし、管理者はボイスメールアカウントを設定する必要があります。ボイスメールシステムにアクセスするように電話機を設定することもできます。

電話機の[メッセージ (Messages)]  ボタンは、ボイスメールシステムへの短縮ダイヤルとして機能します。


着席していない場合は、ボイスメールシステムを呼び出してボイスメールにアクセスすることができます。管理者は、ボイスメールシステムの電話番号を提供できます。

ボイスメール システムはそれぞれ異なっているため、お使いのボイスメール システムの使用方を説明することはできません。お使いのボイスメール コマンドの詳細については、そのボイスメール システムのユーザ マニュアルを参照するか、管理者にお問い合わせください。

## 電話機でのボイスメールのセットアップ

管理者が電話で個人用ボイスメールの電話番号を設定していない場合は、自分で設定することができます。

## 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preferences)] を選択します。
- ステップ3 ボイスメールにボイスメール電話番号を入力します。
- ステップ4 [設定 (Set)] を押します。

## 新しいボイスメールメッセージがあるかどうかを確認するあなたのパーソナル

新しいボイスメールメッセージが届いているかどうか確認するには、次のいずれかの表示を調べます。



- ハンドセットのライトストリップが赤色に点灯している。
- 不在着信の数とボイスメールメッセージの数が画面上に表示されている。新しいメッセージの数が 99 を超えると、プラス (+) 記号が表示されます。
- 感嘆符 (!) は、緊急のボイスメールメッセージを示します。

Cisco IP 電話 6800 シリーズ、7800 シリーズ、および 8800 シリーズ：また、電話回線を使用する際に、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカーフォンからスタッター音が聞こえます。この断続トーンは回線によって異なります。断続トーンは、ボイスメッセージがある回線を使用しているときにのみ聞こえます。

Cisco IP 会議用電話 7832 および 8832：電話回線を使用する際に、スピーカーフォンからスタッター音が聞こえます。回線にボイスメッセージがある場合にのみ断続トーンが聞こえます。

## Your Personal 音声メールにアクセス

## 手順

- ステップ1 [メッセージ (Messages)] ボタン  を押します。
- ステップ2 次のいずれか 1 つの処理を実行します。
  - 6800：[メッセージ (Messages)]  または [メッセージ (Messages)] を押します。
  - 7800 および 8800：[メッセージ (Messages)]  を押します。
  - 7832 および 8832：[メッセージ (Messages)] を押します。



**ステップ3** 音声プロンプトに従います。

(注) ボイスメール機能とPINルールの詳細については、「[ボイスメールの設定と管理](#)」を参照してください。

## パーソナル音声ボイスメールへのアクセス

管理者による電話機のセットアップ方法によっては、メッセージ一覧を確認しなくてもパーソナルボイスメールを取得できる可能性があります。ボイスメールメッセージの一覧を使用するものの、ビジュアルガイダンスなしでメッセージにアクセスすることもある場合には、このオプションが便利です。

### 手順

**ステップ1** スクリーン上で、**[音声 (Audio)]** ソフトキーを押します。

**ステップ2** 要求されたら、ボイスメール資格情報を入力します。

## ボイスメールを設定した電話機の動作

この表は、構成ユーティリティの**[ハンドセット LED アラート (Handset LED Alert)]** フィールドが**[ボイスメール (Voicemail)]** に設定されているときの、さまざまなシナリオにおける電話機の動作の一覧を示します。

開始状態 (Starting State)	イベント	イベント後 LED 状態	LED オンおよびオフ条件
ボイスメールなし、不在着信なし	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オフ	-
ボイスメールなし、不在着信なし	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。
ボイスメール	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。

開始状態 (Starting State)	イベント	イベント後 LED 状態	LED オンおよびオフ条件
不在履歴	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。
ボイスメールなし、不在着信なし	イベントなし	LED オフ	-

## ボイスメールと不在着信を設定した電話機の動作

この表は設定ユーティリティのハンドセット LED アラート 欄がボイスメール、不在着信に設定されている場合のさまざまなシナリオでの電話機の挙動の一覧です。

開始状態 (Starting State)	イベント	イベント後 LED 状態	LED オンおよびオフ条件
ボイスメールなし、不在着信なし	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オン	ユーザーは電話機で会話をします。
ボイスメールなし、不在着信なし	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーはボイスメールに電話をしてメッセージを受け取ります。
ボイスメール	アクティブコールがなく不在着信になった、または保留で不在着信になりました。	LED オン	ユーザーは電話で会話をし、ボイスメールに電話をし、メッセージを受け取ります。
不在履歴	ボイスメール着信	LED オン	ユーザーは電話で会話をし、ボイスメールに電話をし、メッセージを受け取ります。
ボイスメールなし、不在着信なし	イベントなし	LED オフ	-





# 監視されているボイスメールアカウントのボイスメッセージステータス

ラインキー、ボイスメールメッセージのユーザまたはグループのボイスメールメッセージの状態を確認できます。

監視対象のボイスメールアカウントの有効範囲:

- 電話機で設定されている内線に関連付けられたボイスメールアカウント
  - 内線に関連付けられたボイスメールアカウントと異なるボイスメールアカウント
- SIP プロキシがサポートを提供しているかどうかを確認するには、管理者に問い合わせてください。

監視対象のボイスメールアカウントは、ラインキーの横に次のいずれかのアイコンを表示します。

- : 監視されているアカウントのボイスメールメッセージはありません。
- : 新しいボイスメールメッセージがあります。メッセージ数は、監視対象のアカウントの名前の横に表示されます。たとえば、(4) VM 3300 は、監視しているアカウント VM 3300 に関する 4 つのボイスメールメッセージがあることを示しています。
- !: 新しいボイスメールメッセージには、少なくとも 1 つの緊急メッセージが含まれています。
- : 回線がボイスメールサーバに登録できませんでした。

回線ボタン LED は、監視対象回線のステータスを示すために色も変わります。デフォルトの LED 色とその状態のパターンは次のとおりです。

- メッセージなし: 緑色に点灯
- 新着メッセージ: 赤色に点灯
- 緊急メッセージ: 赤色に点灯
- 登録失敗: オレンジ点灯

LED の動作をカスタマイズするには、管理者に問い合わせてください。

## 監視対象のボイスメールアカウントのメッセージへのアクセス

### 始める前に

- 管理者は、電話機のラインキーを設定するかを使用してボイスメールアカウントを監視する必要があります。
- 管理者は、設定されたキーに短縮ダイヤルを割り当てる必要があります。
- 監視されているボイスメールアカウントの到着メッセージがあります。

### 手順

---

**ステップ 1** 電話機で、ラインキーを押します。

監視対象のボイスメールアカウント ID と暗証番号を入力するように求められる場合があります。

**ステップ 2** 音声プロンプトに従います。

---



## 第 6 章

# 設定

- 電話設定の概要 (114 ページ)
- 呼出音の変更 (114 ページ)
- 電話機の Web ページによる着信音の割り当て (114 ページ)
- 呼出音の音量調節 (115 ページ)
- 電話機からのコール転送 (115 ページ)
- 特定の回線に対して [サイレント (Do Not Disturb)] をオンにします。 (117 ページ)
- 電話機のウェブページから DND をオンにする (118 ページ)
- 非通知着信の拒否 (118 ページ)
- 発信者 ID のブロック (118 ページ)
- 通話を安全化する (119 ページ)
- 自動応答ページのセットアップ (119 ページ)
- コール待機を有効にする (120 ページ)
- ボイスメールのセットアップ (120 ページ)
- [HTTP プロキシ設定 (HTTP Proxy Settings)] (121 ページ)
- VPN 接続設定 (124 ページ)
- 表示モードの変更 (129 ページ)
- 時間形式を変更する (129 ページ)
- 日付形式の変更 (130 ページ)
- スクリーンセーバーの変更 (130 ページ)
- 電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定 (131 ページ)
- 電話機の背景としてロゴを追加する (132 ページ)
- 電話スクリーンのコントラストの調整 (133 ページ)
- 電話画面のバックライトの調整 (133 ページ)
- 電話機の Web ページからバックライトタイマーを調整する (134 ページ)
- 通話用オーディオデバイスの指定 (134 ページ)
- 言語の設定 (134 ページ)
- パスワードの設定 (135 ページ)
- 電話機のウェブページからのパスワードの設定 (135 ページ)
- プロフィールアカウントのセットアップ (136 ページ)

- [BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加](#) (137 ページ)
- [電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする](#) (138 ページ)
- [電話機の Web ページからコール待機を有効にする](#) (138 ページ)
- [電話機の再起動](#) (138 ページ)


## 電話設定の概要

管理者は電話機を設定して、電話画面または電話機の Web インターフェイスで設定のメニューを使用できるようにすることができます。特定のメニューが見つからない場合は、管理者に問い合わせてください。

## 呼出音の変更

着信通話の着信音を設定できます。

### 手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [ユーザー設定 (User preferences)] > [着信音 (Ringtone)] > [内線 (n) の着信音 (Ext (n) - Ring tone)] (n は内線番号) を選択します。
- ステップ 3 呼出音のリストをスクロールし、[再生]を押してサンプルを聞きます。
- ステップ 4 [選択 (Select)] を押してから [設定 (Set)] を押して選択内容を保存します。

## 電話機の Web ページによる着信音の割り当て

### 手順

- ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > Ext(n)** を選択します。(n) は内線番号です。
- ステップ 2 **Call Feature Settings** エリアで、**Default Ring** ドロップダウンリストから呼出音を選択します。  
電話回線の呼出音を指定しない場合、**No ring** を選択します。着信コール受信時に電話は鳴りません。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## 呼出音の音量調節

電話または電話管理 Web ページから着信コールの着信音量を制御できます。



管理者が呼び出し音の音量を制御する機能を制限している場合、電話の音量キーまたは電話管理 Web ページからこのタスクを実行することはできません。

### 始める前に

管理者は、呼び出し音の音量を制御できる必要があります。

### 手順

呼び出し音の音量を制御するには、次のいずれかを実行します。

- 電話で音量  または  ボタンを押して音量を減らすか、音量を上げます。

(注) 管理者が呼び出し音の音量を制御する機能を制限すると、呼び出し音のボリュームを変更する権限がないことを示すメッセージが表示されます。

- 電話管理 Web ページで、[ユーザーログイン]>[詳細]にアクセスし、[音声]>[ユーザー]>[音量調整]を選択します。着信音量 パラメータの値を入力し、[すべての変更を保存]をクリックします。

着信音量パラメータの有効値は、0~15 の範囲です。

(注) 管理者が呼び出し音の音量を制御する機能を制限している場合、[着信音量] パラメータは [音量調節] セクションに表示されません。

## 電話機からのコール転送

[通話転送設定] 画面に移動した後に着信コールを転送するように電話を設定できます。


通話転送サービスを設定する方法は他に2つあります。特定のソフトキーを使用して、コール転送サービスをセットアップできます。[コールの転送 \(55 ページ\)](#) を参照してください。電話 Web ページから通話転送サービスを設定するには、[電話機の Web ページによるコール転送 \(57 ページ\)](#) を参照してください。

### 始める前に

管理者は、通話転送サービスを有効にする必要があります。

管理者がコール転送の機能アクティベーションコードの同期を無効にします。有効になっている場合、画面の **[不在転送 (Call Forward All)]** 設定はユーザー専用です。ただし、**[転送 (Forward)]** サービスの設定は、メイン画面で **[転送 (Forward)]** または **[すべて転送 (Forward all)]** を押して変更できます。詳細については、[機能アクティベーションコード同期の不在転送をアクティブ化する \(57 ページ\)](#) を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** ユーザ設定の > 通話設定の > 通話転送を選択して、通話転送設定画面にアクセスします。

**ステップ 3** コール転送サービスを選択します。

- **すべて転送**：すべての着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。
- **話中転送**：話中の時、すべての着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。
- **応答なし転送**：コールが応答されない時、すべての着信通話を特定の電話番号に転送するか決定します。

**ステップ 4** コール転送サービスを有効にするには、ナビゲーションクラスタの **[選択 (Select)]** ボタンを押します。

**ステップ 5** コール転送サービスの特定の番号を割り当てます。

- **すべての番号を転送**：すべての着信通話の転送先となる特定の電話番号を指定します。
- **話中の番号を転送**：話中の時、すべての着信通話の転送先となる特定の電話番号を指定します。
- **応答なしの番号を転送**：コールが応答されない時、すべての着信通話の転送先となる特定の電話番号を指定します。
- **応答なし転送の遅延**：応答がない場合のシナリオの応答遅延時間を割り当てます。

- (注)
- 管理者がお使いの電話機の機能キー同期 (FKS) およびコール転送の XSI 同期を無効にした場合、通話の転送が必要となるまでの時間を秒数として入力できます。
  - 管理者がお使いの電話機の FKS または通話転送の XSI 同期を有効にした場合、コールの転送が必要となるまでに鳴る着信音の回数を入力できます。

電話機のコール転送の設定は、FKS と XSI が無効になっている場合にのみ有効になります。詳細については、管理者にお問い合わせください。


**ステップ 6** (任意) 連絡先ソフトキーを使用して、特定の電話番号を割り当てます。

- a) **[コール転送の設定(Call Forward Settings)]** 画面で、いずれかのコール転送サービスを選択します。
- b) 選択したコール転送サービスに基づいて、**[転送番号 (Forward all number)]**、**[話中転送番号 (Forward busy number)]**、または **[無応答時転送番号 (Fwd no answer number)]** を選択し、**[連絡先 (Contacts)]** ソフトキーを押します。



- c) 連絡先を検索します。詳細については、の [\[すべてのディレクトリ\] 画面で連絡先を検索 \(76 ページ\)](#) を参照してください。
- d) **通話**を押して、特定の電話番号を割り当てます。  
コール転送サービスの横に電話番号が表示されていることを確認できます。

**ステップ7** **設定**を押して、設定内容を適用します。

**ステップ8** コール転送  アイコンを検索して、設定が有効になっているかどうかを確認します。アイコンは、電話画面の左上または中央に特定の番号を表示します。

いずれかのタイプのコール転送サービスを有効にすると、**[転送 (Forward)]** または **[不在転送 (Forward all)]** ソフトキーが **[Clr fwd]** または **[Clf fwd all]** に変更されます。ソフトキーを押して、通話転送サービスを無効にし、特定の電話番号はそのままにすることができます。

**Clf fwd all** は、不在転送サービスのみを無効にし、**Clf fwd** はすべての転送サービスを無効にします。


電話機でのコール転送の設定が有効になっていない場合は、管理者に問い合わせてください。

## 特定の回線に対して[サイレント (Do Not Disturb)]をオンにします。

集中したい時はサイレント (DND) に設定すれば、電話機をサイレント状態にして着信通話通知を抑止できます。すべての着信コール通知を抑止することも、特定の通話者の通知を抑止することもできます。

### 手順

**ステップ1** ナビゲーションクラスターを使用して電話回線を選択します。

**ステップ2** アプリケーション  を押します。

**ステップ3** **[ユーザ設定 (User preferences)]** > **[コールの設定 (Call preferences)]** > **[応答不可 (Do not disturb)]** を選択します。

(注) **[応答不可 (Do not disturb)]** メニューが画面に表示されない場合は、管理者に問い合わせてください。

**ステップ4** **[オン (On)]** を選択して DND をオンにするか、**[オフ (Off)]** を選択して DND をオフにします。

**ステップ5** **[設定 (Set)]** を押して設定を保存します。

## 電話機のウェブページから DND をオンにする

### 手順


- ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。
- ステップ 2 **Supplementary Services** の下で、**DND Settings** を **Yes** に設定します。
- ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ]をクリックします。

## 非通知着信の拒否

特定の回線またはすべての回線について、発信者情報のない着信をブロックできます。

管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間での非通知着信拒否の同期を有効にしている場合は、あなたの設定はすべての回線ではなく特定の回線にのみ適用されます。通常、この設定は、同期が有効になっている回線を除き、すべての回線に適用されます。

### 手順

- ステップ 1 ナビゲーションクラスタの上または下を押して、電話回線を選択します。
- ステップ 2 アプリケーション  を押します。
- ステップ 3 [ユーザ設定 (User preferences) ] > [通話の設定 (Call preference) ] > [匿名通話をブロック (Block anonymous call) ]を選択します。
- ステップ 4 [オン (On) ] を選択して発信者情報が無い通話をブロックするか、[オフ (Off) ] を選択して通話を許可します。
- ステップ 5 [設定 (Set) ] を押して設定を保存します。

## 発信者 ID のブロック


電話をかけるときにあなたの名前と電話番号が受信者の画面に表示されないように、発信者識別をブロックすることができます。この機能はプライバシー保護に役立ちます。

### 始める前に

管理者が、お使いの電話機でこのブロックCID機能を有効にします。

管理者が、XSI BroadWorksサーバーでブロックCID機能を有効にします。

## 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preferences)] を選択します。
- ステップ3 [発信者IDのブロック (Block caller ID)] を選択します。
- ステップ4 [選択 (Select)] を押して、発信者IDブロックをオンまたはオフに切り替えます。


管理者が発信者 ID のブロック機能を XSI BroadWorks サーバで有効にした場合、お使いの電話機がサーバから値を取り戻し、管理者がサーバに設定した値が表示されます。この値は電話機の [発信者IDブロック (Block caller ID)] メニューから変更できます。

- ステップ5 [設定 (Set)] を押して、変更を保存します。

## 通話を安全化する


コールを暗号化して、盗聴者から保護することができます。すべての発信通話または特定の通話に対してセキュアコール機能を設定できます。

## 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preference)] > [セキュア通話 (Secure Call)] を選択します。
- ステップ3 セキュアコール機能を有効にする場合は [オン (On)] を選択し、セキュアコール機能を無効にする場合は [オフ (Off)] を選択します。
- ステップ4 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。

## 自動応答ページのセットアップ

## 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User Preferences)] > [通話設定 (Call Preference)] > [オートアンサーページ (Auto Answer Page)] を選択します。
- ステップ3 [オン (On)] を選択して自動応答ページを有効にするか、[オフ (Off)] を選択して自動応答ページを無効にします。

ステップ4 [設定 (Set)] を押して変更を保存します。

---


## コール待機を有効にする

特定の回線またはすべての回線のコール待機を有効にできます。有効にすると、アクティブコール中にコール通知（1回のビーブ音と、回線ボタンが赤色に点滅）を受信します。

管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間でのコール待機の同期を有効にしている場合は、あなたの設定はすべての回線ではなく特定の回線にのみ適用されます。通常、この設定は、同期が有効になっている回線を除き、すべての回線に適用されます。

### 手順



---

- ステップ1 ナビゲーションクラスタの上または下を押して、電話回線を選択します。
  - ステップ2 アプリケーション  を押します。
  - ステップ3 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [コールウェイトイング (Call waiting)] を選択します。
  - ステップ4 別のコール中に呼出音が鳴った着信コールに応答するには [オン (On)] を選択し、この機能を無効にするには [オフ (Off)] を選択します。
  - ステップ5 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。
- 

## ボイスメールのセットアップ

### 手順

---

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
  - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [コールの設定 (Call preferences)] > [ボイスメール (Voice mail)] を選択します。
  - ステップ3 ボイスメールを確認する電話番号を入力します。  
  
[メッセージ (Messages)]  ボタンを押したら、ボイスメールの番号がダイヤルされ、ボイスメッセージリストが表示されます。
  - ステップ4 [設定 (Set)] を押して、割り当てられた番号を確認します。
  - ステップ5 [戻る (Back)] を押して終了します。
-

## [HTTPプロキシ設定(HTTP Proxy Settings)]

電話機の HTTP プロキシは、[ネットワーク設定 (Network configuration)] メニューの [HTTP プロキシ設定 (HTTP proxy settings)] メニューから設定できます。HTTP プロキシ設定は、電話機のウェブページでも利用できます。

### 関連トピック

[電話機の Web ページ \(24 ページ\)](#)

[自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ \(121 ページ\)](#)

[手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ \(121 ページ\)](#)

[電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ \(122 ページ\)](#)

## 自動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ

自動プロキシモードを選択して、電話機で HTTP プロキシサーバーをセットアップできます。

### 手順

- ステップ 1** [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [HTTP プロキシ設定 (HTTP proxy settings)] > [プロキシモード (Proxy mode)] を選択します。
- ステップ 2** ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して、[自動 (Auto)] モードを選択します。
- ステップ 3** [自動検出 (WPAD) (Auto discovery (WPAD))] を強調表示し、[オン (On)] を選択して PAC ファイルを自動的に取得するために使用される Web プロキシ自動検出 (WPAD) をオンにするか、[オフ (Off)] を選択して WPAD をオフにします。  
デフォルトでは、電話機は自動プロキシモードで WPAD を使用します。
- ステップ 4** (任意) 前の手順で WPAD をオフにした場合は、さらに [PAC URL] に有効なプロキシ自動設定 (PAC) URL を入力する必要があります。次に例を示します。  
`http://proxy.department.branch.example.com/pac`  
PAC URL がない場合は、管理者に問い合わせてください。
- ステップ 5** 設定を押して、設定内容を適用します。

## 手動プロキシモードを使用したプロキシサーバーのセットアップ

手動プロキシモードを選択して、電話機で HTTP プロキシサーバーをセットアップできます。

### 始める前に

プロキシサーバーのサーバーアドレスとポートは管理者が提供します。

### 手順

- 
- ステップ1 [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [HTTP プロキシ設定 (HTTP proxy settings)] > [プロキシモード (Proxy mode)] を選択します。
  - ステップ2 ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して、[手動 (Manual)] モードを選択します。
  - ステップ3 [プロキシホスト (Proxy host)] にプロキシサーバーの有効なホスト名または IP アドレスを入力します。  
(注) プロキシホストにスキーム (http:// または https://) を指定しないでください。
  - ステップ4 指定されたプロキシサーバーの有効なサーバーポートを [プロキシポート (Proxy port)] に入力します。
  - ステップ5 (任意) プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[プロキシ認証 (Proxy authentication)] を強調表示し、[オン (On)] を選択します。
  - ステップ6 (任意) ユーザー名とパスワードを入力し、プロキシサーバーにアクセスします。  
ユーザー名とパスワードがわからない場合は、管理者に問い合わせてください。
  - ステップ7 設定を押して、設定内容を適用します。
- 

## 電話機のウェブページからのプロキシサーバーのセットアップ

電話機のウェブページから自動プロキシモードまたは手動プロキシモードを選択して HTTP プロキシサーバーをセットアップできます。

### 手順

- 
- ステップ1 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。
  - ステップ2 [HTTP プロキシ設定 (HTTP Proxy Settings)] セクションで、次の表に記載されているようにパラメータを設定します。

表 7: [HTTPプロキシ設定 (HTTP Proxy Settings)]

パラメータ	説明
プロキシモード	<p>HTTPプロキシ設定のプロキシモードを選択します。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動</li> <li>• 手動</li> <li>• オフ</li> </ul> <p>デフォルト: Off</p>
自動ディスカバリ(WPAD)を使用	<p>[はい (Yes)] を選択すると、Webプロキシ自動検出 (WPAD) メカニズムが使用され、プロキシ自動設定 (PAC) ファイルが自動的に取得されます。</p> <p>このパラメータを [いいえ (No)] に設定する場合は、[PAC URL] を設定する必要があります。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [自動 (Auto)] に設定した場合に使用できます。</p> <p>デフォルト: はい (Yes)</p>
PAC URL	<p>PAC ファイルを特定する URL。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [自動 (Auto)]、[自動検出を使用 (WPAD) (Use Auto Discovery (WPAD)) ] を [いいえ (No)] に設定した場合に使用できます。</p>
プロキシホスト	<p>プロキシサーバーのサーバーアドレス (ホスト名または IP アドレス)。</p> <p>スキーム (http:// または https://) は指定しないでください。</p> <p>このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)] に設定した場合に使用できます。</p>

パラメータ	説明
プロキシポート	プロキシサーバーのポート番号。 このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)] に設定した場合に使用できます。
プロキシサーバーに認証が必要 (Proxy Server Requires Authentication)	プロキシサーバーで認証が必要な場合は、[はい (Yes)] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ (No)] を選択します。パラメータの設定は、プロキシサーバーの実際の動作によって異なります。 このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)] に設定した場合に使用できます。
ユーザ名	プロキシサーバーの資格情報を持つユーザーのユーザー名を入力します。 このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)]、[プロキシサーバーに認証が必要 (Proxy Server Requires Authentication)] を [はい (Yes)] に設定した場合に使用できます。
[パスワード (Password)]	プロキシ認証用に指定されたユーザー名のパスワードを入力します。 このパラメータは、[プロキシモード (Proxy Mode)] を [手動 (Manual)]、[プロキシサーバーに認証が必要 (Proxy Server Requires Authentication)] を [はい (Yes)] に設定した場合に使用できます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## VPN 接続設定

電話機の [ネットワーク設定 (Network configuration)] メニューの [VPN 設定 (VPN settings)] から、VPN 接続をセットアップして有効化できます。設定を容易にするために、電話機のウェブページで VPN の設定に関連したパラメータを設定することもできます。VPN 接続を有効にする場合は、電話機を再起動する必要があります。



### 関連トピック

- [VPN 接続のセットアップ](#) (125 ページ)
- [VPN 接続の有効化](#) (126 ページ)
- [VPN 接続の無効化](#) (126 ページ)
- [電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする](#) (127 ページ)
- [VPN ステータスを表示する](#) (128 ページ)

## VPN 接続のセットアップ


電話機上で VPN 接続をセットアップできます。このトピックで説明する手順を実行すると、VPN 設定のみが完了します。電話機を手動または自動で再起動して、VPN 接続を有効にする必要があります。

電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする場合は、[電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする](#) (127 ページ) を参照してください。

### 始める前に

管理者が VPN 接続を確立するために必要な情報を提供します。

### 手順

- 
- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
  - ステップ 2** [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [VPN 設定 (VPN settings)] を選択します。
  - ステップ 3** [VPN サーバー (VPN server)] に VPN サーバーの IP アドレスまたは FQDN を入力します。
  - ステップ 4** [ユーザー名 (Username)] と [パスワード (Password)] にユーザーの資格情報を入力します。
  - ステップ 5** (任意) 必要に応じて、[トンネルグループ (Tunnel group)] にトンネルグループの名前を入力します。  
このフィールドが空の場合、この VPN 接続に使用されるトンネルグループはありません。
  - ステップ 6** [起動時に VPN へ接続する (Connect to VPN on bootup)] を強調表示し、ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して [オン (On)] を選択します。
  - ステップ 7** [設定 (Set)] を押して設定を保存します。
- VPN 設定が完了しました。VPN 接続を有効にする方法については、[VPN 接続の有効化](#) (126 ページ) を参照してください。
-


## VPN 接続の有効化

電話機を自動的に再起動することによって、設定済みの VPN 接続を有効にできます。電話機を手動で再起動して VPN 接続を有効にする場合は、[電話機の再起動 \(138 ページ\)](#) を参照してください。

### 始める前に


VPN 設定が完了しました。詳細については、[VPN 接続のセットアップ \(125 ページ\)](#) または [電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする \(127 ページ\)](#) を参照してください。

### 手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [VPN 設定 (VPN settings)] を選択します。
- ステップ 3 [VPN 接続を有効にする (Enable VPN connection)] を強調表示し、ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して [オン (On)] を選択して変更内容を適用します。

(注) [VPN 接続を有効にする (Enable VPN connection)] を [オン (On)] に設定すると、電話機はすぐに VPN サーバーとの接続を試行します。このプロセスの間に電話機は自動的に再起動します。

VPN の接続にかかる時間は約 1 分です。

電話機の再起動後、電話画面の右上隅にある VPN 接続アイコン  は、VPN 接続が正常に確立されたことを示します。

VPN 接続が失敗した場合、[VPN 接続を有効にする (Enable VPN connection)] は [オフ (Off)] のままです。

- ステップ 4 (任意) VPN 接続の詳細を表示します。たとえば、現在の VPN 接続ステータスや VPN IP アドレスなどです。詳細については、[VPN ステータスを表示する \(128 ページ\)](#) を参照してください。


## VPN 接続の無効化

電話機を自動または手動で再起動するによって VPN 接続を無効にできます。

### 始める前に

電話機で VPN 接続が有効になっています。

## 手順


- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [ネットワーク設定 (Network configuration)] > [VPN 設定 (VPN settings)] を選択します。
- ステップ 3 [起動時に VPN へ接続する (Connect to VPN on bootup)] を強調表示し、ナビゲーションクラスタの [選択 (Select)] ボタンを押して [オフ (Off)] を選択します。
- ステップ 4 [設定 (Set)] を押して設定を保存します。
- ステップ 5 次のいずれか 1 つの処理を実行します。

- [VPN 接続を有効にする (Enable VPN connection)] を強調表示し、[オフ (Off)] を選択します。

(注) [VPN 接続を有効にする (Enable VPN connection)] を [オフ (Off)] に設定すると、電話機はすぐに VPN サーバーとの接続の切断を試行します。このプロセスの間に電話機は自動的に再起動します。

- 手動で電話機を再起動します。電話機の再起動 (138 ページ) を参照してください。

VPN の切断にかかる時間は約 1 分です。

電話機の再起動後、電話画面の VPN 接続アイコン  の表示が消えます。これは VPN 接続が無効になったことを意味します。

- ステップ 6 (任意) VPN 接続が Disconnected になっていることを確認します。詳細については、VPN ステータスを表示する (128 ページ) を参照してください。

## 電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップする

電話機のウェブページから VPN 接続をセットアップできます。

電話機で同じ設定を行うことができます。VPN 接続のセットアップ (125 ページ) を参照してください。

## 手順

- ステップ 1 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。
- ステップ 2 [VPN 設定 (VPN Settings)] セクションで、次の表に記載されているようにパラメータを設定します。

表 8: VPN の設定 (SIP Settings)

パラメータ	説明
VPN Server	VPN サーバーの IP アドレスまたは FQDN。 デフォルト：空
VPN ユーザー名 (VPN User Name)	VPNサーバーの資格情報を持つユーザーのユーザー名を入力します。 デフォルト：空
LDAPパスワード(VPN Password、半角英数字のみ)	VPN サーバーにアクセスするための指定されたユーザー名のパスワードを入力します。 デフォルト：空
VPN トンネルグループ (VPN Tunnel Group)	VPN ユーザーに割り当てられているトンネルグループを入力します。 トンネルグループは、VPN 接続のグループポリシーを識別するために使用されます。 デフォルト：空
起動時に接続する (Connect on Bootup)	電話機の再起動後に電話機がVPNサーバーに自動的に接続するかどうかを選択します。 デフォルト：[いいえ (No) ]

**ステップ 3** [すべての変更内容を送信 (Submit All Changes) ]をクリックして、変更内容を保存します。


VPN 設定が完了しました。VPN 接続を有効にする方法については、[VPN 接続の有効化 \(126 ページ\)](#) を参照してください。

## VPN ステータスを表示する

VPN 接続の詳細を確認できます。たとえば、電話機の現在の VPN ステータスや VPN IP アドレスなどです。

電話機のウェブページで [情報 (Info) ] > [ステータス (Status) ] > [VPN ステータス (VPN Status) ] を選択して、ステータスを表示することもできます。

### 手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [ステータス (Status) ] > [VPN ステータス (VPN status) ] を選択します。


以下の情報を確認できます。

- **[VPN 接続 (VPN connection)]** : 電話機が VPN サーバーに接続しているかどうかを示します。ステータスは [接続済み (Connected)] か [接続解除 (Disconnected)] のいずれかです。
- **[VPN IP アドレス (VPN IP address)]** : VPN IP サーバーから割り当てられた VPN IP アドレス。
- **[VPN サブネットマスク (VPN subnet mask)]** : VPN サーバーから割り当てられた VPN サブネットマスク。
- **[送信バイト数 (Sent bytes)]** : 電話機が VPN サーバー経由でネットワークに送信した合計バイト数。
- **[受信したバイト数 (Received bytes)]** : 電話機が VPN サーバー経由でネットワークから受信した合計バイト数。

## 表示モードの変更

この機能は、Cisco IP 電話 7821、7841、7861 でサポートされています。

手順

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [ユーザ設定 (User preferences)] > [アテンダントコンソール設定 (Attendant console preferences)] > [表示モード (Display mode)] を選択します。

次のオプションを使用できます。


- 名前
- Ext
- 両方

**ステップ 3** 表示モードを選択して [設定 (Set)] を押します。

## 時間形式を変更する

電話機の画面に表示される現在の時間形式を変更できます。


## 手順

- 
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [時間形式 (Time format)] を選択します。
- サマータイムを設定するには、[デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [サマータイム (Daylight savings)] を選択します。サマータイムをオンにするには [オン (On)] を選択し、オフにするには [オフ (Off)] を押します。
- ステップ3 (任意) [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [タイムゾーン (Time zone)] を選択します。
- ステップ4 時間形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更を適用します。
- 

## 日付形式の変更

電話機の画面に表示する日付の形式を変更することができます。


## 手順

- 
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [日時 (Date/Time)] > [日付形式 (Date format)] を選択します。
- ステップ3 日付形式を選択し、[設定 (Set)] を押して変更を適用します。
- 

## スクリーンセーバーの変更

電話機のスクリーンセーバーを有効にして、スクリーンセーバーの種類とスクリーンセーバーが表示される前に電話機がアイドル状態になるまでの時間を指定できます。

## 手順

- 
- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [画面設定 (Screen preferences)] > [スクリーンセーバー (Screen saver)] を選択します。
- ステップ3 [オン (On)] を選択してスクリーンセーバーをオンにし、[オフ (Off)] を選択してオフにします。

ステップ4 次の設定を選ぶには[スクリーンセーバーの設定 (Screen saver settings)]を選択します:

- [スクリーンセーバーのタイプ (Screen saver type)]: 次のオプションのいずれかを選択します。
  - [クロック (Clock)]: 円形の時計が描かれた壁紙を背景に表示します。
  - [ダウンロード画像 (Download Picture)]: 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。
  - [ロゴ (Logo)]: 電話機のスクリーンセーバーとしてロゴを表示します。この画像は、電話機の Web ページの [ロゴの URL (Logo URL)] フィールドで追加されます。
  - [ロック (Lock)]: 電話画面の壁紙の上にロックアイコンを表示します。
- [トリガー間隔 (Triggerinterval)]: スクリーンセーバーがオンになるまでの、電話機がアイドル状態となっている秒数を入力します。
- [更新間隔 (Refreshinterval)]: スクリーンセーバーが更新されるまでの秒数を入力します (画像のローテーションを選択した場合など)。

ステップ5 [設定 (Set)] を押します。

## 電話機のウェブインターフェースによるスクリーンセーバーの設定

電話機のスクリーンセーバーを設定できます。電話機が指定された期間アイドル状態が続くと、スクリーンセーバーモードに入ります。

ボタンを押すと、電話機が通常モードに戻ります。

### 手順

ステップ1 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択する。

ステップ2 **Screen** セクションで、次の表の説明に従ってフィールドをセットアップします。

パラメータ	説明
Screen Server Enable	電話機でスクリーンセーバーを有効にするには、 <b>Yes</b> を選択します。 スクリーンセーバーモードに入ります。 デフォルト: [いいえ (No)]

パラメータ	説明
Screen saver type	スクリーンセーバーの種類。次のオプションを選択できます： <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Clock</b> : 単色背景にデジタル時計を表示します。</li> <li>• <b>Download Picture</b> : 電話機の Web ページから取得された画像を表示します。</li> <li>• <b>Logo</b> : 電話画面にロゴを表示します。 <b>Logo URL</b> フィールドでロゴの URL を入力します。</li> <li>• <b>Lock</b> : スクリーンセーバーのロックを有効にします。</li> </ul>
Screen Saver Wait	スクリーンセーバーが表示されるまでのアイドル時間の長さです。 スクリーンセーバーが開始されるまでのアイドル時間の秒数を入力します。 デフォルト : 300
Picture Download URL	電話画面の背景に表示する (.png) ファイルを示す URL です。写真をスクリーンセーバーとして表示され、スクリーンセーバーとして表示されます。 新しい壁紙をダウンロードするために正しくない URL を入力すると、電話画面に既存のダウンロードされた壁紙を表示します。電話機にダウンロード済みの壁紙がない場合は、電話画面にスクリーンセーバーとして表示されます。
Logo URL	ロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。ロゴ URL が正しくない場合は、電話画面にスクリーンセーバーとして表示されます。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。

## 電話機の背景としてロゴを追加する

電話画面の背景としてロゴアイコンを追加するには、電話機の Web ページから追加します。

### 手順

ステップ 1 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

ステップ 2 [画面 (Screen)] セクションで、[電話機の背景 (Phone Background)] フィールドから [ロゴ (Logo)] を選択し、[ロゴ URL (Logo URL)] フィールドにロゴ画像が保存されている場所の URL またはパスを入力します。

ステップ 3 [すべての変更の送信 (Submit All Changes)] をクリックします。


電話機の背景にロゴを追加した後で、[電話機の背景 (Phone Background)] リストから [デフォルト (Default)] を選択して変更を保存すると、電話画面のロゴアイコンは消えます。



## 電話スクリーンのコントラストの調整

### 手順

---


- ステップ1 アプリケーション  を押します。
  - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [画面設定 (Screen preferences)] > [コントラスト レベル (Contrast level)] を選択します。
  - ステップ3
  - ステップ4 [保存]を押します。
- 

## 電話画面のバックライトの調整

バックライトを調整して、電話スクリーンを読みやすくできます。

### 手順

---

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
  - ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [バックライトタイマー (Backlight Timer)] を選択します。
  - ステップ3 バックライト モードを変更するには、[編集 (Edit)] を押します。
  - ステップ4 [オン (On)] を押してバックライトをオンにするか、[オフ (Off)] を押してバックライトをオフにします。  
  
バックライトをオンにしておく期間を設定するための時間をリストから選択することもできます。
  - ステップ5 (オプション) リストから時間を選択して、バックライトをオフにしておく期間を設定します。  
  
バックライトを常にオンにしておくオプションも選択できます。
  - ステップ6 [選択 (Select)] を押して、選択したバックライト モードを適用します。
-

## 電話機の Web ページからバックライトタイマーを調整する

あらかじめ設定した時間に電話機のバックライトを無効にすることで、省エネできます。バックライトがオフの状態でも、電話機のデスクトップは表示されたままです。


### 手順

- ステップ 1 電話機の Web ページで、[ユーザ ログイン (User Login)] > [詳細 (Advanced)] > [音声 (Voice)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ステップ 2 [画面 (Screen)] の下で、[バックライト タイマー (Back Light Timer)] パラメータの期間を選択します。
- ステップ 3 [LCD コントラスト (LCD Contrast)] フィールドで、目的の明るさの数値を入力します。

## 通話用オーディオ デバイスの指定

電話機に複数のヘッドセットを接続している場合、通話に使用するオーディオ デバイスを選択できます。ラインキーまたは対応するソフトキーで通話を発信または着信通話に応答した場合、あなたの選択が適用されます。


### 手順

- ステップ 1 アプリケーション  を押します。
- ステップ 2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [オーディオ設定 (Audio preferences)] > [優先オーディオ デバイス (Preferred audio device)] を選択します。
- ステップ 3 [選択 (Select)] を押して、次のオプションのいずれかを選びます。
  - [無し (None)] : 最後に使用したオーディオ デバイスを選択します。
  - [スピーカー (Speaker)] : オーディオ デバイスとしてスピーカフォンを選択します。
  - [ヘッドセット (Headset)] : オーディオ デバイスとしてヘッドセットを選択します。
- ステップ 4 選択を保存するには、[設定 (Set)] を押します。

## 言語の設定

お使いの携帯電話の設定によっては、お使いの携帯電話の言語を変更することができます。

### 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [言語 (Language)] を選択します。
- ステップ3 使用可能な言語のリストから言語を選択します。
- ステップ4 保存を選択します。


## パスワードの設定

電話機のパスワードは定期的に再設定して、ネットワークのセキュリティを維持してください。

### 始める前に

パスワードが必要です。

### 手順

- ステップ1 アプリケーション  を押します。
- ステップ2 [デバイス管理 (Device administration)] > [パスワードの設定 (Set password)] を選択します。
- ステップ3 [旧パスワード (Old password)] フィールドに現在使用しているパスワードを入力します。
- ステップ4 [新規パスワード (New password)] フィールドと [新規パスワードの再入力 (Reenter new password)] フィールドに新しいパスワードを入力します。
- ステップ5 保存を選択します。

### 関連トピック

[電話機のウェブページからのパスワードの設定](#) (135 ページ)

## 電話機のウェブページからのパスワードの設定

パスワードは電話機ウェブページから更新できます。

### 始める前に

現在のパスワードが必要です。

## 手順

---

- ステップ 1** 電話機のウェブページで、[音声 (Voice)] > [システム (System)] を選択します。
- ステップ 2** [システム設定 (System Configuration)] セクションで、[ユーザーパスワード (User Password)] パラメータを見つけて、パラメータの横にある [パスワードの変更 (Change Password)] をクリックします。
- ステップ 3** [古いパスワード (Old Password)] フィールドに、現在のパスワードを入力します。  
パスワードがない場合は、このフィールドを空のままにします。
- ステップ 4** [新しいパスワード (New Password)] フィールドに、新しいパスワードを入力します。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックします。

「パスワードが正常に変更されました。(Password has been changed successfully.)」というメッセージがウェブページに表示されます。

---

# プロフィールアカウントのセットアップ

[プロフィールアカウントの設定 (Profile account setup)] 画面でプロンプトが表示されたら、プロビジョニングプロフィールと電話機を再同期するために、認証資格情報を入力する必要があります。

プロフィールアカウントの設定画面がわからなくなった場合、電話メニューまたは、利用可能な場合はセットアップからもアクセスできます。


電話機がサインインに失敗する場合、管理者にお問い合わせください。

## 始める前に

管理者は、電話機でプロフィール認証タイプを指定し、認証資格情報を提供します。

## 手順

---

- ステップ 1** アプリケーション  を押します。
- ステップ 2** [デバイス管理 (Device administration)] > [プロフィールアカウント設定 (Profile account setup)] を選択する。  
あなたのユーザ名とパスワードは自動的に入力されます。以前にユーザ名とパスワードが追加されていない場合、これらの欄は空白です。
- ステップ 3** [サインイン (Sign in)] を押して、ユーザ名とパスワードを保存します。

(注) [ユーザー名 (Username)] フィールドまたは [パスワード (Password)] フィールドのいずれかが空白の場合、電話機の [サインイン (Sign in)] ソフトキーが灰色で表示され、ソフトキーを押すことができません。

[ユーザー名 (Username)] フィールドまたは [パスワード (Password)] フィールドのいずれかが空白の場合、[サインイン (Sign in)] ソフトキーは表示されません。両方のフィールドに値を入力すると、ログがサインインソフトキーで表示されます。

ステップ4 (任意) 別の認証情報でログインする場合は、新しいユーザー名とパスワードを入力します。


## BroadWorks XSIユーザー用に複数のロケーションを追加

ユーザは、電話機の内線に複数の場所を追加できます。このため、着信コールをユーザの電話機から、内線に追加した他のモバイルフォンまたはデスクフォンにシームレスに移動させることができます。

### 始める前に

管理者が、内線でエニウェア機能を有効にしています。

### 手順

ステップ1 アプリケーション  を押します。

ステップ2 [ユーザ設定 (User preferences)] > [通話の設定 (Call preferences)] を選択します。

ステップ3 [エニウェア (Anywhere)] を選択します。

ステップ4 (任意) BroadWorks エニウェアが複数の回線で構成されている場合は、回線を選択します。

ステップ5 [場所 (Locations)] 画面に連絡先の番号と名前を追加します。

入力可能な名前の最大長は 25 です。[名前 (Name)] フィールドは空のままにすることもできます。

入力可能な番号の最大長は 20 です。

ステップ6 場所を有効または無効にします。

ステップ7 [保存 (Save)] を押して、場所を [場所 (Locations)] リストに追加します。

## 電話機の Web ページから匿名コールブロックを有効にする

### 手順

---

**ステップ 1** 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

**ステップ 2** **Supplementary Services** の下で、**Block ANC Setting** を **Yes** に設定します。

この設定は、管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間の非通知着信拒否の同期を有効にしている回線を除き、すべての回線に適用されます。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ]をクリックします。

---

## 電話機の Web ページからコール待機を有効にする

### 手順

---

**ステップ 1** 電話機の Web ページで、**User Login > Voice > User** を選択します。

**ステップ 2** **Supplementary Services** の下で、**CW Setting** を **Yes** に設定します。

この設定は、管理者が回線と BroadSoft XSI サービス間のコール待機の同期を有効にしている回線を除き、すべての回線に適用されます。

**ステップ 3** [すべての変更の送信 (Submit All Changes) ]をクリックします。


---

## 電話機の再起動

ソフトウェアのアップグレードやその他の変更を有効にするには、電話を再起動する必要があります。設定やその他のカスタマイズは変更されません。

### 手順

---

**ステップ 1** アプリケーション  を押します。

**ステップ 2** [デバイス管理 (Device administration) ] > [再起動 (Restart) ] を選択します。

ステップ3 [はい (OK)] を選択して、電話機を再起動することを確認します。

---







## 第 7 章

# アクセサリ

- サポートされているアクセサリ (141 ページ)
- ヘッドセット (141 ページ)

## サポートされているアクセサリ

Cisco IP 電話 7800 シリーズは、シスコ製とサードパーティ製の両方のアクセサリをサポートします。

次の表で、X は特定の電話モデルでアクセサリがサポートされることを示し、ダッシュ (-) はサポートされないことを示します。

表 9: Cisco IP 電話 7800 シリーズのアクセサリ サポート

アクセサリ	タイプ (Type)	Cisco IP 電話 7811	Cisco IP 電話 7821	Cisco IP 電話 7841
サードパーティ製アクセサリ				
ヘッドセット	アナログ	-	X	X
	アナログ ワイドバンド	-	X	X
マイクロフォン	外部	-	-	-
スピーカー	外部	-	-	-
壁面取り付け	外部	X	X	X

## ヘッドセット

ご使用のシスコ電話機で使用可能かどうかを確認するには、ヘッドセットの製造者に問い合わせてください。

アクティブ 通話中にヘッドセットを電話機に差し込むと、オーディオパスが自動的にヘッドセットに切り替わります。

## 標準ヘッドセット

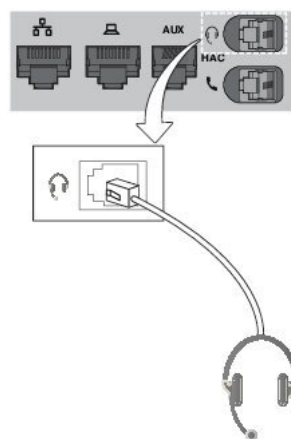
デスクの電話機では標準のヘッドセットを使用できます。標準のヘッドセットは、RJ タイプのコネクタで電話機の背面に差し込みます。

### 標準ヘッドセットの接続

#### 手順

ヘッドセットを電話機の背面にあるジャックに接続し、ケーブルをケーブルチャンネルに押し込みます。

図 5: 標準ヘッドセットの接続



**注意** 電話機のチャンネルにケーブルを押し込むことに失敗すると、電話機内部のプリント回路基板が損傷する可能性があります。ケーブルチャンネルにより、コネクタとプリント回路ボードにかかる負担が軽減されます。

## ワイヤレスヘッドセット

電話機でほとんどのワイヤレスヘッドセットを使用できます。サポートされているヘッドセットのリストについては、

『[http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html)』 [英語] を参照してください。

ヘッドセットの接続およびこの機能の使用については、ワイヤレスヘッドセットのマニュアルを参照してください。

## 通話中にヘッドセットを切り替える

アナログヘッドセットまたはワイヤレスヘッドセットを電話機に接続できます。両方のヘッドセットを同時に電話機に接続することはできません。

複数のヘッドセットを電話機に接続すると、電話機の[ヘッドセット (Headset)]キーを押すことによって、通話中にヘッドセットを切り替えることができます。電話機は複数のデバイスに接続されていますが、優先されるオーディオデバイスとして特定のヘッドセットが次の優先順位で選択されます。

- 電話機にワイヤレスヘッドセットを接続している場合、ワイヤレスヘッドセットを優先オーディオデバイスにできます。
- 電話機にアナログヘッドセットだけを接続している場合、アナログヘッドセットを優先オーディオデバイスにできます。

### 手順

- 
- ステップ1** 発信または応答する前に、[ヘッドセット (Headset)]を押します。
  - ステップ2** (任意) 発信する場合、番号をダイヤルします。
-





## 第 8 章

# 製品の安全性とセキュリティ

- [安全性とパフォーマンスの情報 \(145 ページ\)](#)
- [準拠宣言 \(147 ページ\)](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要 \(150 ページ\)](#)
- [重要なオンライン情報 \(151 ページ\)](#)

## 安全性とパフォーマンスの情報

### 停電

電話機を経由して緊急サービスにアクセスするには、その電話機が電力を受信する必要があります。停電が発生した場合、電源が復旧するまでは、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルが機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、電話サービスおよび緊急コールサービスダイヤルを利用する必要があります。

### 外部デバイス

不要な無線周波数 (RF) 信号および可聴周波数 (AF) 信号を遮断する高品質の外部デバイスを使用することをお勧めします。外部デバイスには、ヘッドセット、ケーブル、コネクタが含まれます。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次の方法で対処することをお勧めします。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、高品質なシールドおよびコネクタを備えたケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。

- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、およびコネクタのパフォーマンスを保証できません。



**注意** 欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部スピーカ、マイクロフォン、ヘッドセットだけを使用してください。

## 電話機への電力供給方法

次のいずれかの方法で携帯電話に電力を供給できます：

- 電話機に付属している電源アダプタを使用します。
- ネットワークがPower over Ethernet (PoE) に対応している場合、あなたの電話機をネットワークに接続することができます。イーサネットケーブルを、イーサネット電話ポートに差し込み、ネットワークに接続します。

ご使用のネットワークがPoEに対応しているかどうか不明な場合は、管理者に確認してください。

## ネットワーク輻輳時の電話機の挙動

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声に影響を及ぼすため、場合によっては、通話が中断される可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク。
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃。

## UL 警告

デバイスに接続されたLAN/イーサネットケーブルは、屋外に延長させないでください。

## ENERGYSTAR



次の電話機には EnergyStar 認定があります。

- Cisco IP Phone 7811
- Cisco IP Phone 7841

上のリストに記載されていない電話機モデラーは、認定されていません。

## 製品ラベル

製品ラベルは、デバイス底で確認できます。

## 準拠宣言

### EU への適合宣言

#### CE マーク

機器および包装に次の CE マークが貼付されています。



### 適合宣言（カナダ）

このデバイスは、カナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 規格に適合しています。次の 2つの条件に従って動作するものとします。（1）本製品が干渉の原因となることはありません。また、（2）本製品はデバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、

すべての干渉を受け入れる必要があります。この電話機を使用する場合、通信のプライバシーを確保できない可能性があります。

本製品は、該当する技術革新、科学および経済開発に関するカナダの技術仕様を満たしています。

### Avis de Conformité Canadien

Cet appareil est conforme aux normes RSS exemptes de licence RSS d'Industry Canada. Le fonctionnement de cet appareil est soumis à deux conditions : (1) ce périphérique ne doit pas causer d'interférence et (2) ce périphérique doit supporter les interférences, y compris celles susceptibles d'entraîner un fonctionnement non souhaitable de l'appareil. La protection des communications ne peut pas être assurée lors de l'utilisation de ce téléphone.

Le présent produit est conforme aux spécifications techniques applicables d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada.

デバイスは、RSS 102 の 2.5 項の定期的な評価制限および RSS-102 RF 被曝の準拠からの適用除外を満たしています。ユーザーは、RF 被曝とコンプライアンスに関するカナダの情報を取得できます。Le dispositif rencontre l'exemption des limites courantes d'évaluation dans la section 2.5 de RSS 102 et la conformité à l'exposition de RSS-102 rf, utilisateurs peut obtenir l'information canadienne sur l'exposition et la conformité de rf.

このトランスミッタは、他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に設置したり、一緒に操作したりすることはできません。本製品は、ラジエータと人体の間に 20 cm 以上の距離を空けて設置および使用する必要があります。

Cet émetteur ne doit pas être Co-placé ou ne fonctionnant en même temps qu'aucune autre antenne ou émetteur. Cet équipement devrait être installé et actionné avec une distance minimum de 20 centimètres entre le radiateur et votre corps.

5150 ~ 5250 MHz の帯域で動作するデバイスは、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な電波干渉が発生する可能性を減らすため、屋内でのみ使用するようになっています；

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスの場合、5250 ~ 5350 MHz および 5470 ~ 5725 MHz の帯域のデバイスで許容される最大アンテナゲインは、装置が e.i.r.p. の制限に準拠している必要があります；

取り外し可能なアンテナを備えたデバイスの場合、5725 ~ 5850 MHz の帯域のデバイスで許容される最大アンテナゲインは、装置が、必要に応じてポイント対ポイントおよび非ポイント対ポイント動作に指定されている e.i.r.p. の制限に準拠している必要があります。

les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5250 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux；

le gain maximal d'antenne permis pour les dispositifs utilisant les bandes 5250-5350 MHz et 5470-5725 MHz doit se conformer à la limite de p.i.r.e.；

le gain maximal d'antenne permis (pour les dispositifs utilisant la bande 5725-5850 MHz) doit se conformer à la limite de p.i.r.e. spécifiée pour l'exploitation point à point et non point à point, selon le cas.



## ニュージーランドへの適合宣言

### 接続許可（PTC）一般警告

端末装置の任意の品目に対する Telepermit の付与は、Spark NZ ネットワークに接続するための最低条件をその品目が満たしていることを Spark NZ が同意したことのみに示しています。Spark NZ が製品を推奨するものでも、いかなる種類の保証を提供するものでもありません。特に、ある品目が別のメーカーやモデルの Telepermit 許可済み装置と組み合わせてあらゆる局面で正常に動作することを保証するものではなく、ある製品が Spark NZ の全ネットワークサービスと互換性があることを示すものでもありません。

### 適合情報（ブラジル）

#### Art. 5º ~ 680

この装置は、有害な干渉から保護を受ける権利はなく、適切な認可システムで干渉を引き起こすことはできません。

詳細は、次のURLを参照してください。 <http://www.anatel.gov.br>

モデル (Model)	証明書番号
7811	0897-15-1086
7821	3844-13-1086
7841	3842-13-1086
7861	3844-13-1086

### 適合情報（日本）



クラス B 機器の VCCI コンプライアンス

### FCC 準拠宣言

Federal Communications Commission (FCC; 連邦通信委員会) は、次の項目に関するコンプライアンスに関する考慮事項を義務付けています。

#### FCC Part 15.19 宣言

本機器は、FCC ルール Part 15 に準拠しています。次の 2 つの条件に従って動作するものとします。(1) 本製品が、有害な干渉を発生することはありません。また、(2) 本製品は望まし

くない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、すべての干渉を受け入れなければなりません。

## FCC Part 15.21 宣言

装置に対し、準拠に責任を負う関係者によって明示的に承認されていない変更または修正を加えると、ユーザがこの装置を使用する権利は無効になります。

## FCC RF 被曝に関する宣言

この装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。エンドユーザは、特定の操作マニュアルに従い、RF 被曝に関する準拠事項を満たす必要があります。このトランスミッタは、ユーザから 20 cm 以上離して使用する必要があります。他のアンテナまたはトランスミッタと同じ場所に配置したり、同時に操作したりすることはできません。

## FCC レシーバーおよびクラス B デジタル装置に関する宣言

この製品はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス B デジタル装置の仕様に準拠しています。これらの制限は、住宅地で使用したときに、有害な干渉を防止する適切な保護を規定したものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、手順に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合、装置のオン/オフを切り替えると干渉を確認できます。その場合は、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 受信アンテナの方向または場所を変更する。
- 装置間の間隔を大きくする。
- 装置をレシーバーとは別のコンセントに接続する。
- 販売店または経験豊富なラジオまたは TV 技術者に支援を要請する。

## シスコ製品のセキュリティの概要

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律の対象となります。Cisco の暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意したものと見なされます。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、<https://www.bis.gov/ear> をご覧ください。

## 重要なオンライン情報

### エンドユーザライセンス契約書

エンドユーザライセンス契約書（EULA）は次の場所にあります。 <https://www.cisco.com/go/eula>

### 『Regulatory Compliance and Safety Information』

Regulatory Compliance and Safety Information（RCSI）は次の場所にあります。

[https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cuipph/7800-series/regulatory\\_compliance/RCSI-0312-book.pdf](https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cuipph/7800-series/regulatory_compliance/RCSI-0312-book.pdf)



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。